

度会町のまちづくりに関する アンケート調査 結果報告書

【住民アンケート調査結果】

令和2年2月

度 会 町

目 次

1	住民アンケート調査の概要.....	1
	（1）調査の目的.....	1
	（2）調査方法・実施期間.....	1
	（3）報告書の見方.....	1
2	住民アンケート調査の結果.....	2
	1 あなた自身のことについて.....	2
	2 度会町での暮らしについて.....	9
	3 まちづくりにおける分野別の取組について.....	26
	4 今後のまちづくりの方向性について.....	43
	5 共生・協働のまちづくりについて.....	54
	6 人口減少について.....	61
	7 行政情報の発信について.....	70

1 住民アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、「第7次度会町総合計画」および「次期度会町総合戦略」の策定にあたり、18歳以上の住民を対象として、市民の幅広い意見をお伺いし、計画に反映するために実施しました。

(2) 調査方法・実施期間

調査方法	郵送による配布・回収
調査対象者	18歳以上の住民 1,000人
調査期間	令和元年 12月1日～令和元年 12月13日
回収結果（回収率）	573件（57.3%）

(3) 報告書の見方

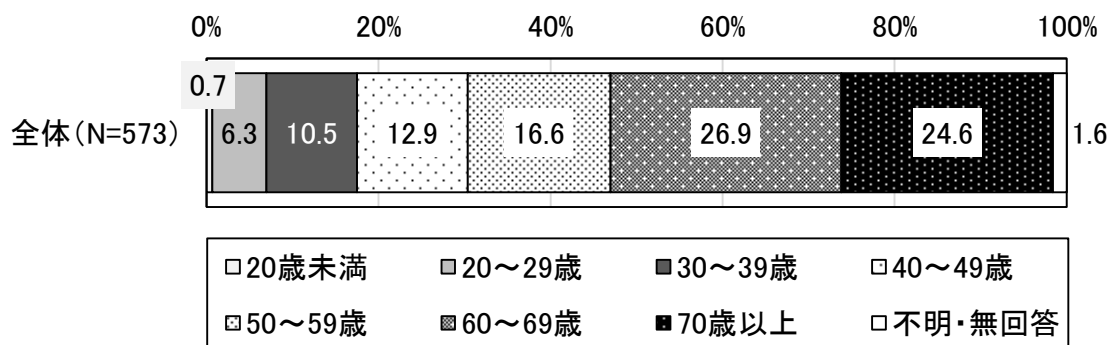
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

2 住民アンケート調査の結果

1 あなた自身のことについて

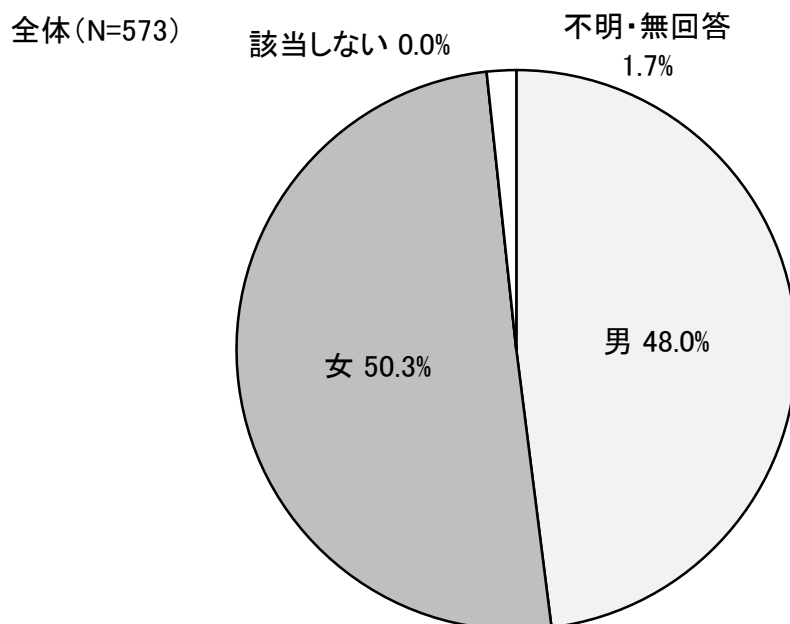
(1) あなたの年齢（令和元年4月1日時点）を教えてください。（単数回答）

年齢については、「60～69歳」が26.9%と最も高く、次いで「70歳以上」が24.6%、「50～59歳」が16.6%となっています。



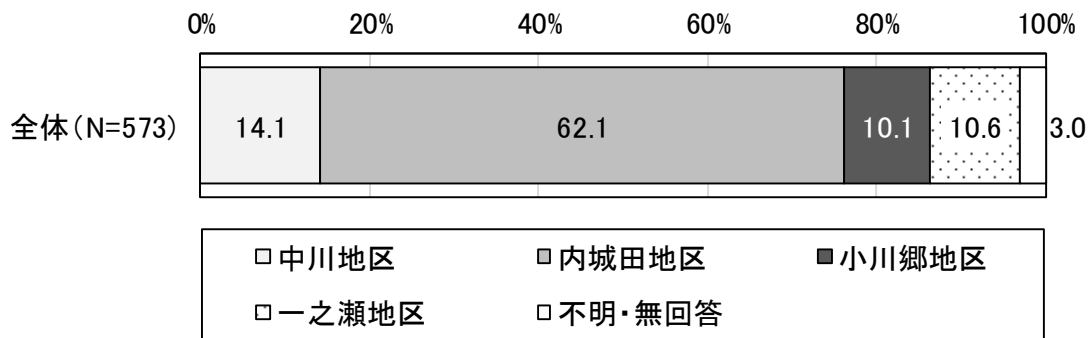
(2) あなたの性別を教えてください。（単数回答）

性別については、「男」が48.0%、「女」が50.3%となっています。



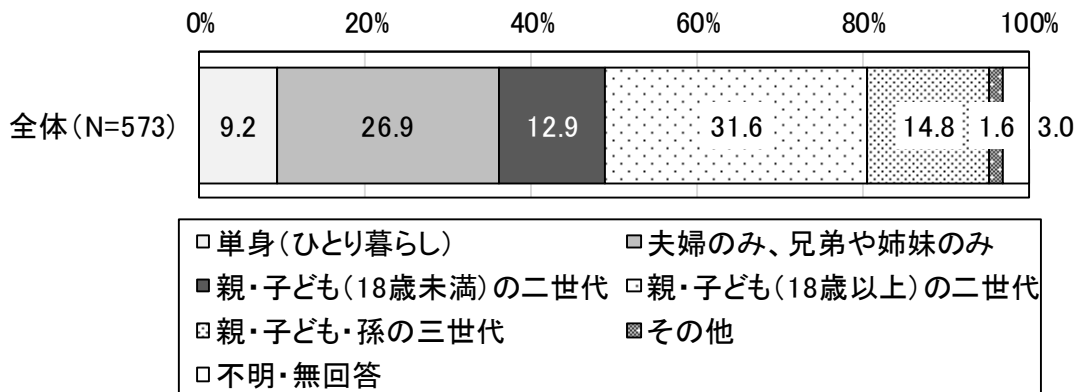
(3) あなたが現在お住まいの地区を教えてください。(単数回答)

居住地区については、「中川」が14.1%、「内城田」が62.1%、「小川郷」が10.1%、「一之瀬」が10.6%となっています。



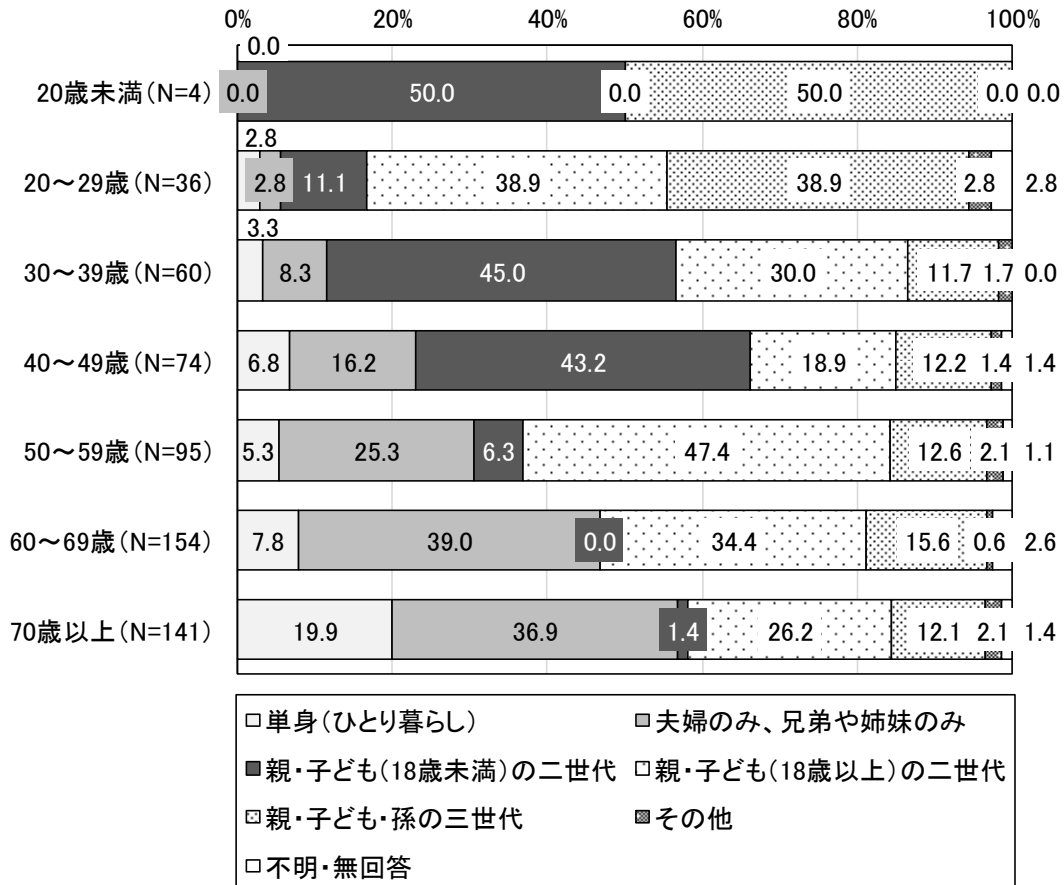
(4) あなたの世帯構成を教えてください。(単数回答)

世帯構成については、「親・子ども(18歳以上)の二世帯」が31.6%と最も高く、次いで「夫婦のみ、兄弟や姉妹のみ」が26.9%、「親・子ども・孫の三世帯」が14.8%となっています。



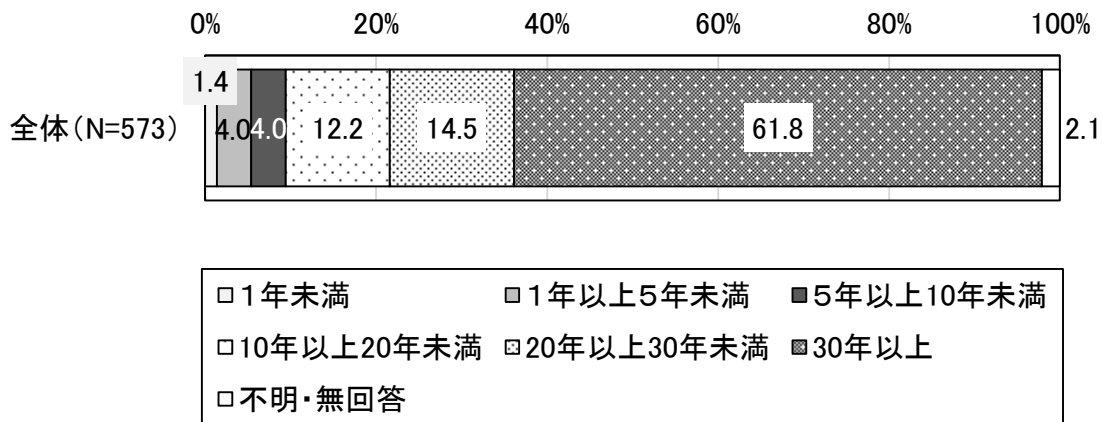
(4) ×年齢

年齢別にみると、20歳から29歳は「親・子ども（18歳以上）の二世代」「親・子ども・孫の三世代」がともに最も高くなっています。30歳から49歳は「親・子ども（18歳未満）の二世代」、60歳以上は「夫婦のみ、兄弟や姉妹のみ」が最も高くなっています。



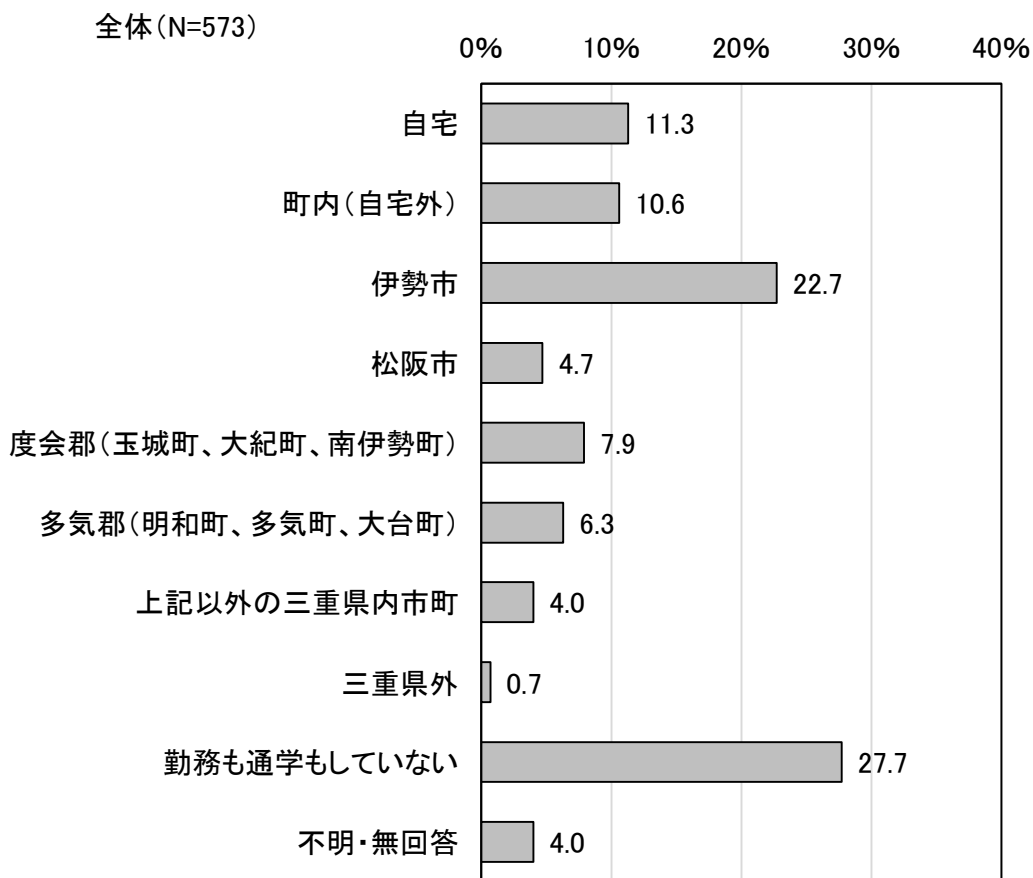
(5) 度会町における、これまでの居住年数の合計を教えてください。(単数回答)

居住年数については、「30年以上」が61.8%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」が14.5%、「10年以上20年未満」が12.2%となっています。



(6) あなたの通勤・通学先を教えてください。(単数回答)

通勤・通学先については、「勤務も通学もしていない」が27.7%と最も高く、次いで「伊勢市」が22.7%、「自宅」が11.3%となっています。



(6) ×年齢

年齢別にみると、20歳から59歳は「伊勢市」、60歳以上は「勤務も通学もしていない」が最も高くなっています。

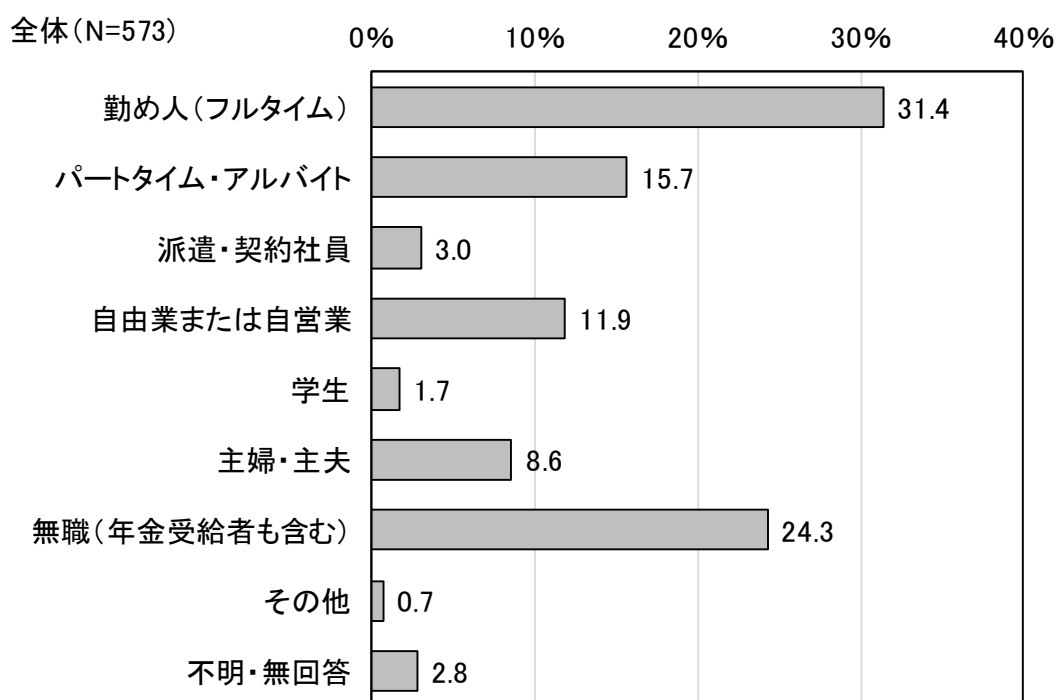
単位 (%)

	20歳未満 (N=4)	20~29歳 (N=36)	30~39歳 (N=60)	40~49歳 (N=74)
自宅	0.0	0.0	8.3	6.8
町内(自宅外)	0.0	5.6	15.0	8.1
伊勢市	25.0	44.4	30.0	33.8
松阪市	0.0	2.8	10.0	10.8
度会郡(玉城町、大紀町、南伊勢町)	25.0	11.1	10.0	16.2
多気郡(明和町、多気町、大台町)	25.0	5.6	11.7	8.1
上記以外の三重県内市町	0.0	5.6	5.0	4.1
三重県外	25.0	8.3	0.0	0.0
勤務も通学もしていない	0.0	16.7	10.0	10.8
不明・無回答	0.0	0.0	0.0	1.4

	50~59歳 (N=95)	60~69歳 (N=154)	70歳以上 (N=141)
自宅	7.4	12.3	20.6
町内(自宅外)	18.9	13.0	4.3
伊勢市	35.8	18.2	5.0
松阪市	4.2	2.6	2.8
度会郡(玉城町、大紀町、南伊勢町)	12.6	5.8	0.7
多気郡(明和町、多気町、大台町)	7.4	6.5	2.1
上記以外の三重県内市町	6.3	4.5	1.4
三重県外	0.0	0.0	0.0
勤務も通学もしていない	5.3	35.7	56.0
不明・無回答	2.1	1.3	7.1

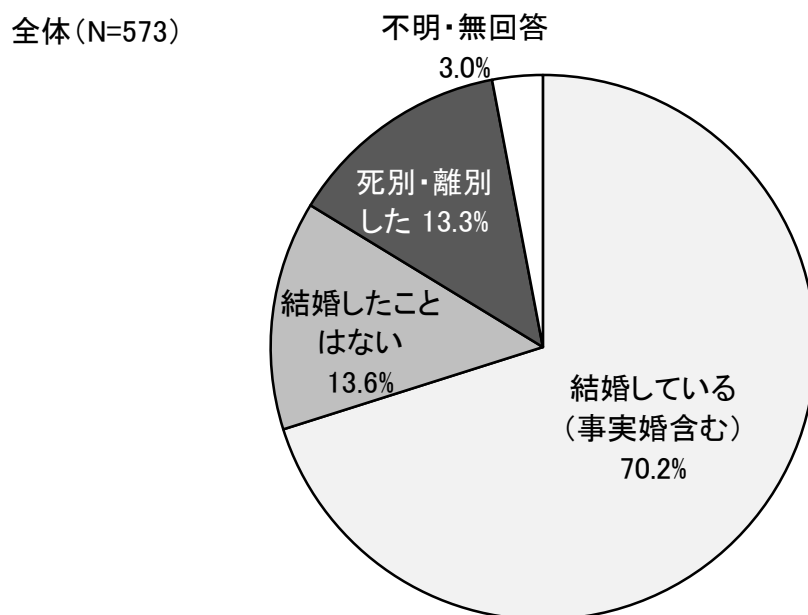
(7) あなたの就業形態を教えてください。(単数回答)

就業形態については、「勤め人(フルタイム)」が31.4%と最も高く、次いで「無職(年金受給者も含む)」が24.3%、「パートタイム・アルバイト」が15.7%となっています。



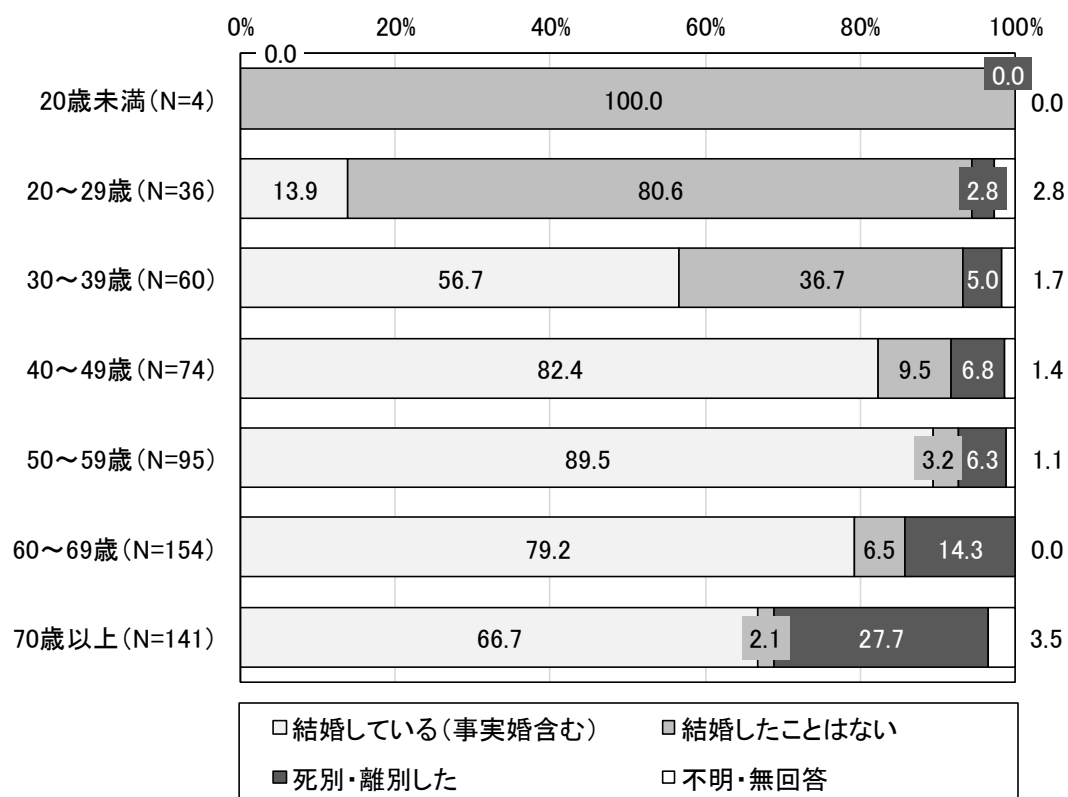
(8) あなたは現在、結婚されていますか。(単数回答)

結婚しているかについては、「結婚している(事実婚含む)」が70.2%と最も高く、次いで「結婚したことはない」が13.6%、「死別・離別した」が13.3%となっています。



(8) ×年齢

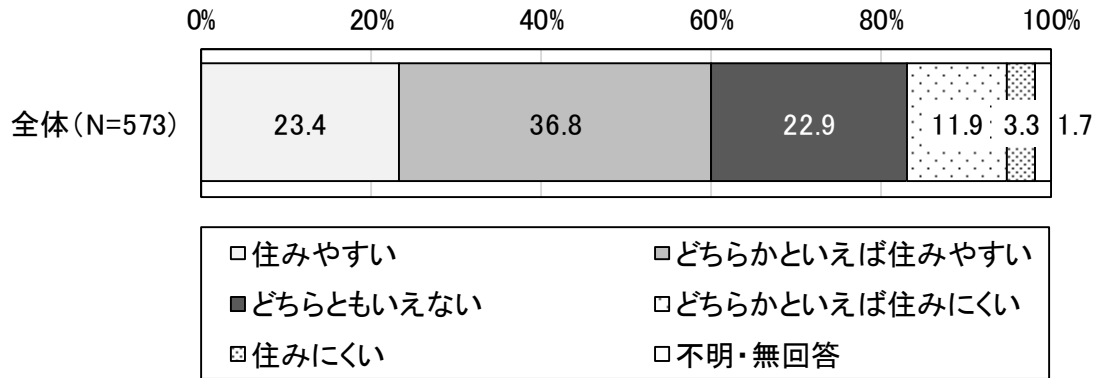
年齢別にみると、29歳以下は「結婚したことはない」、30歳以上は「結婚している（事実婚含む）」が最も高くなっています。



2 度会町での暮らしについて

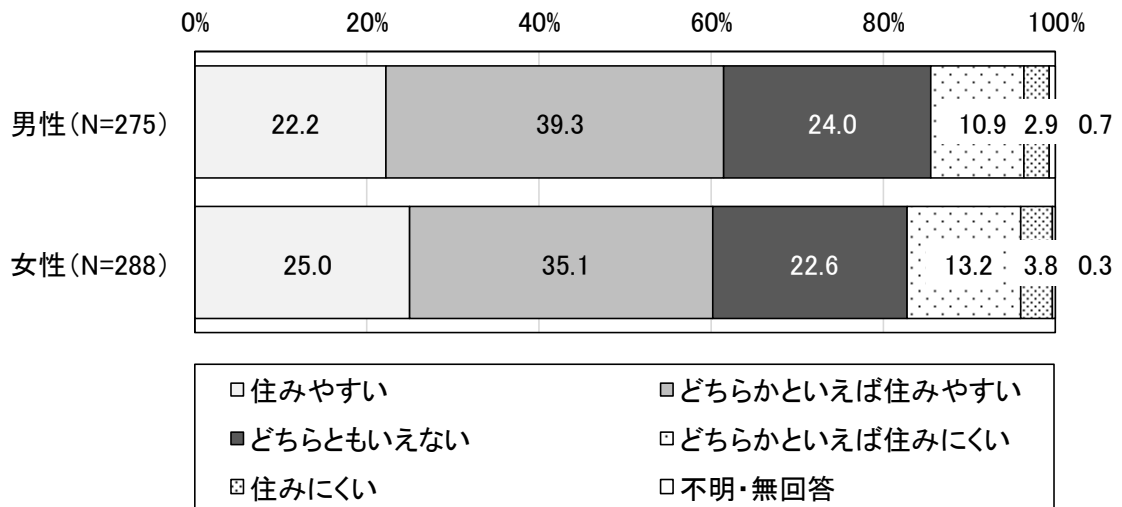
(1) あなたは、度会町の住みごちをどのように感じていますか。(単数回答)

度会町の住みごちについては、「どちらかといえば住みやすい」が36.8%と最も高く、次いで「住みやすい」が23.4%、「どちらともいえない」が22.9%となっています。



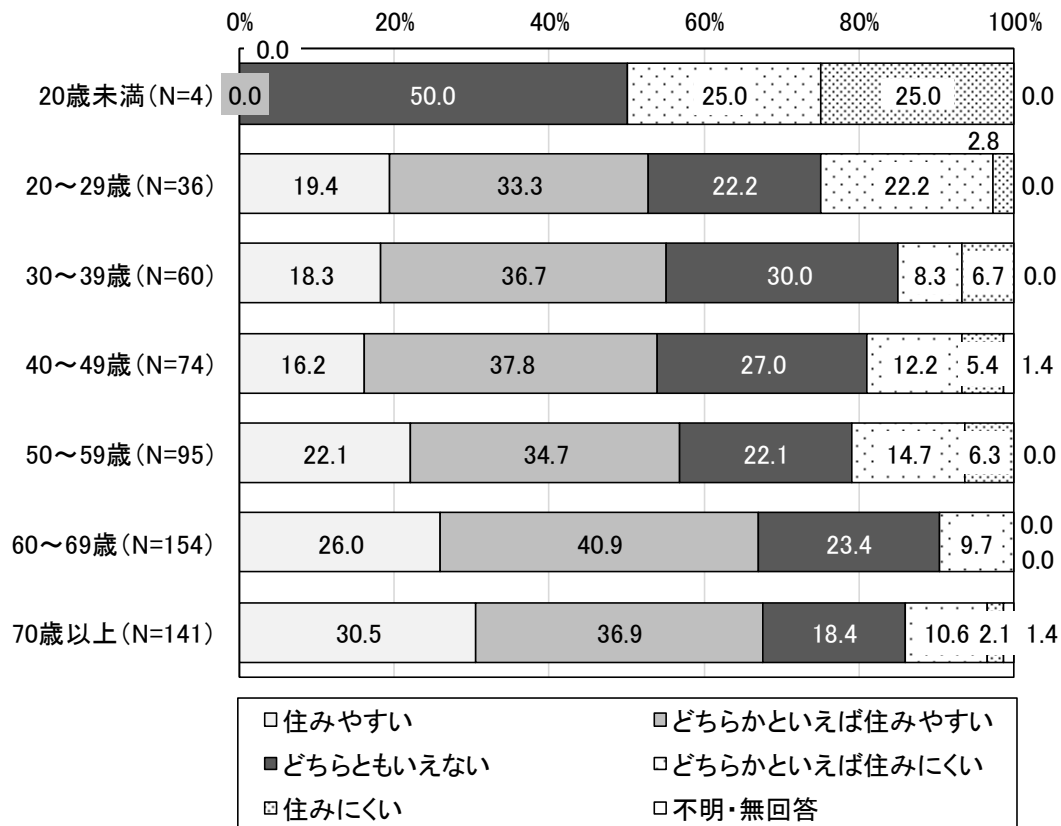
(1) ×性別

男女別にみると、男女ともに「どちらかといえば住みやすい」が最も高くなっています。



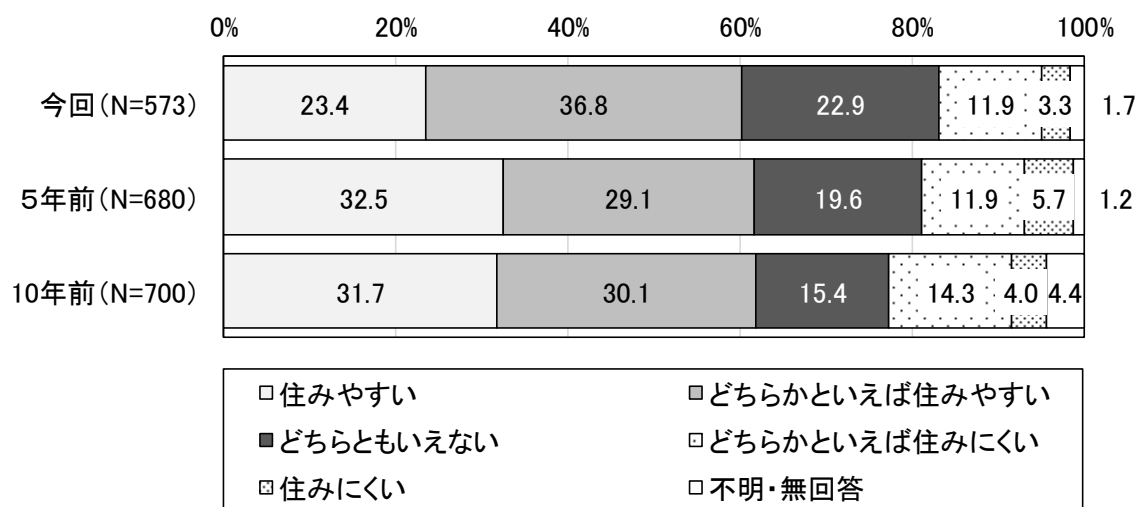
(1) ×年齢

年齢別にみると、20歳以上は「どちらかといえば住みやすい」が最も高くなっています。



(1) ×経年

経年でみると、今回調査は「どちらかといえば住みやすい」、5年前調査と10年前調査は「住みやすい」が最も高くなっています。

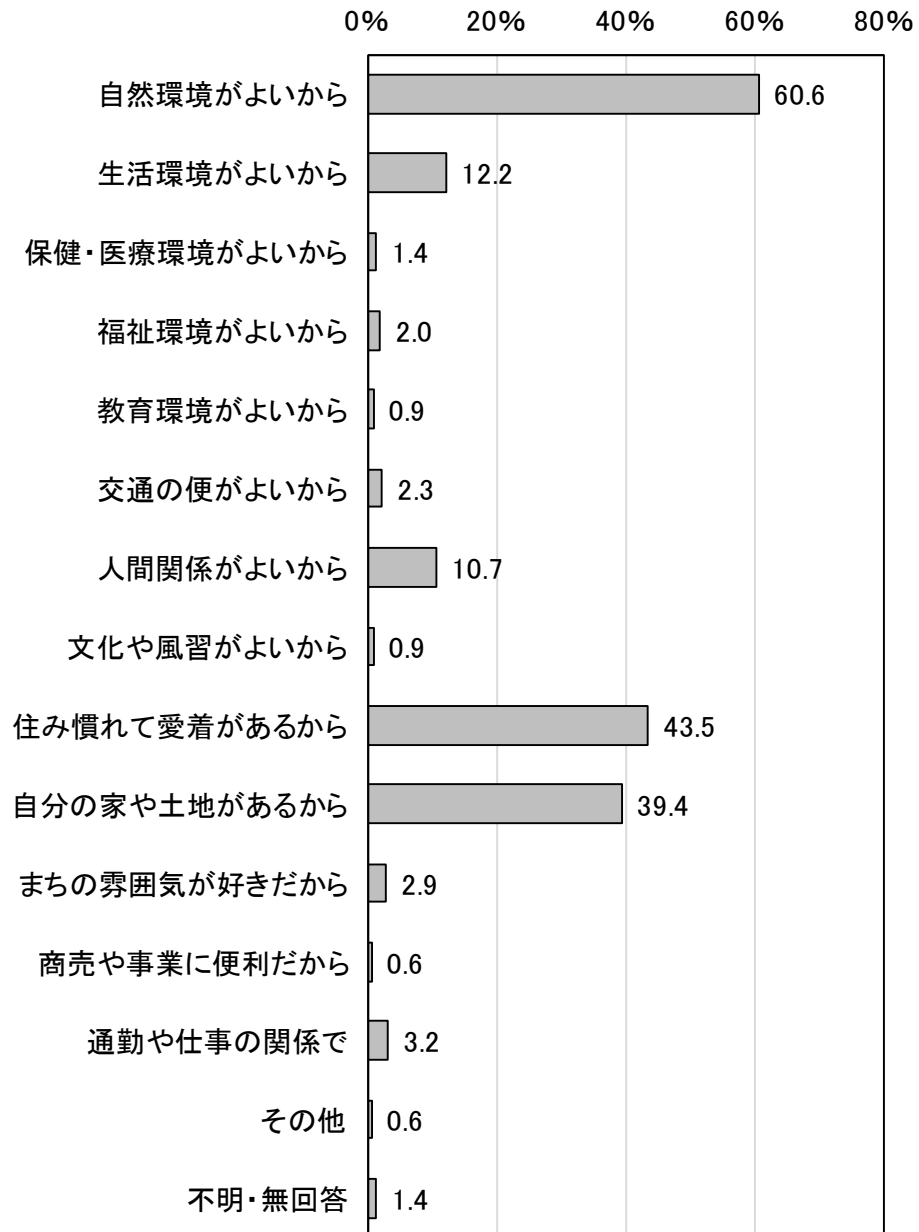


(1) で、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」を選んだ方

(1-1) 住みやすい理由は何ですか。(2つまで複数回答)

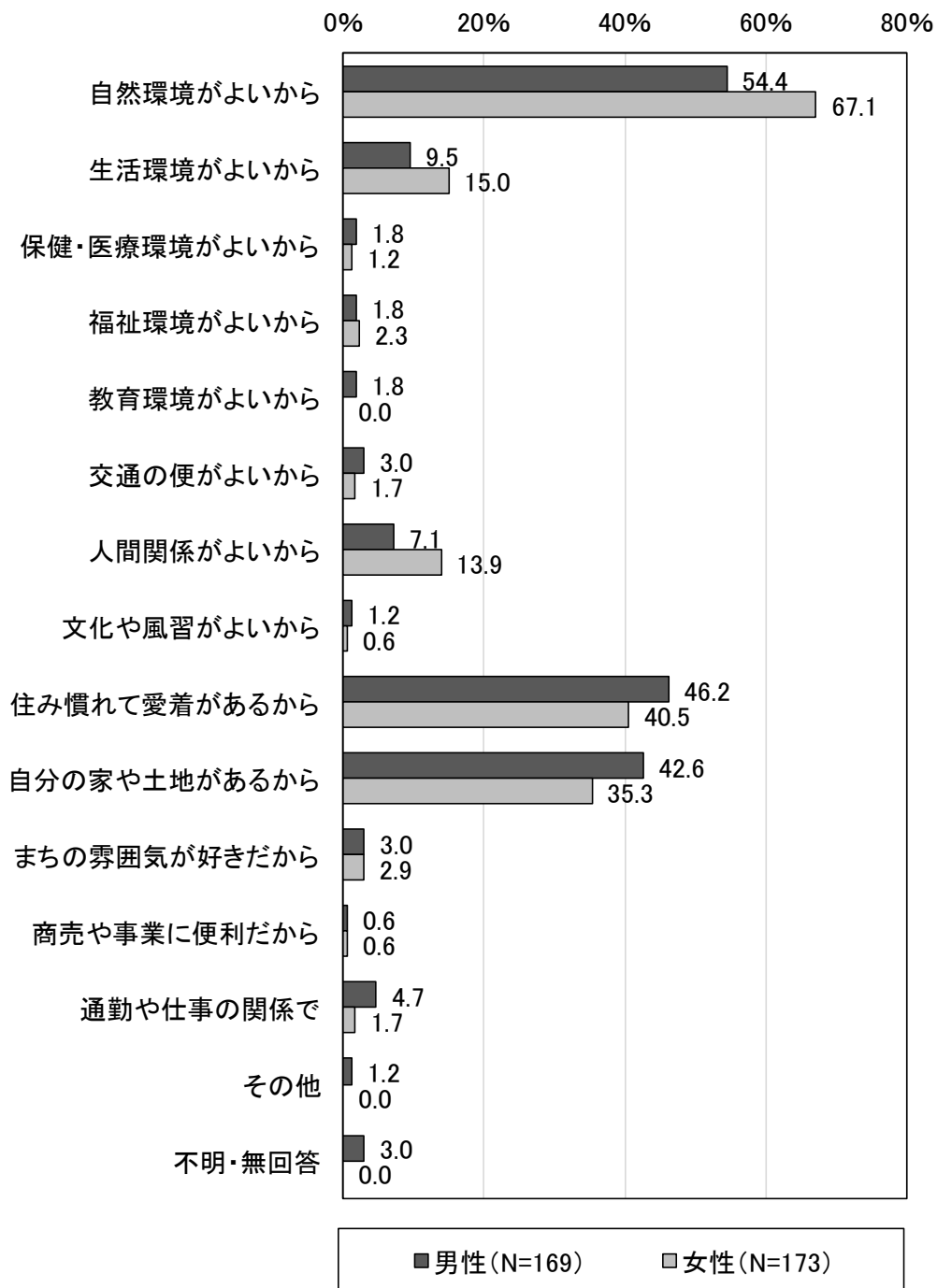
住みやすい理由については、「自然環境がよいから」が60.6%と最も高く、次いで「住み慣れて愛着があるから」が43.5%、「自分の家や土地があるから」が39.4%となっています。

全体(N=345)



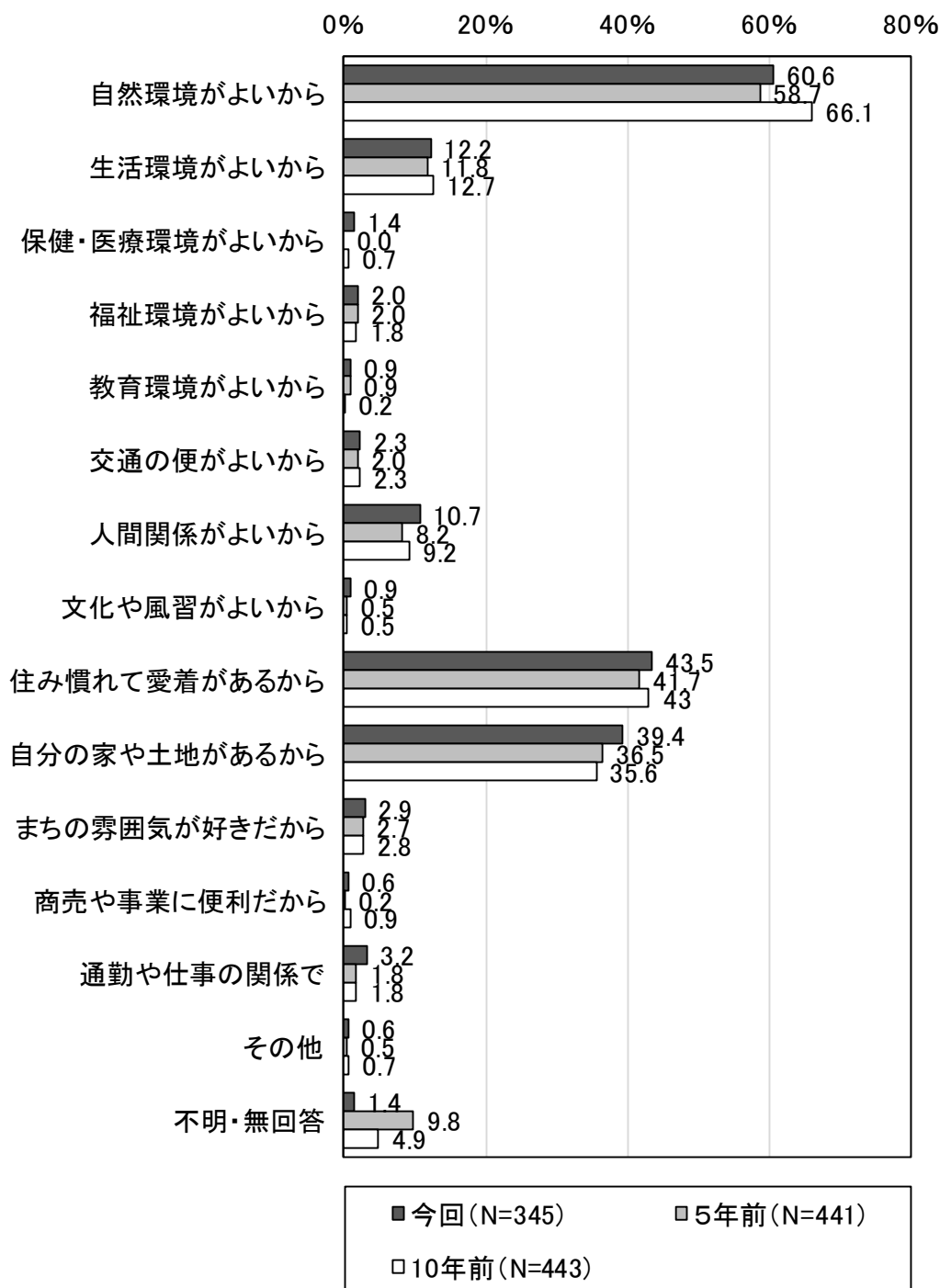
(1-1) ×性別

男女別にみると、男女ともに「自然環境がよいから」が最も高くなっています。



(1-1) ×経年

経年でみると、今回調査、5年前調査、10年前調査いずれも「自然環境がよいから」が最も高くなっています。

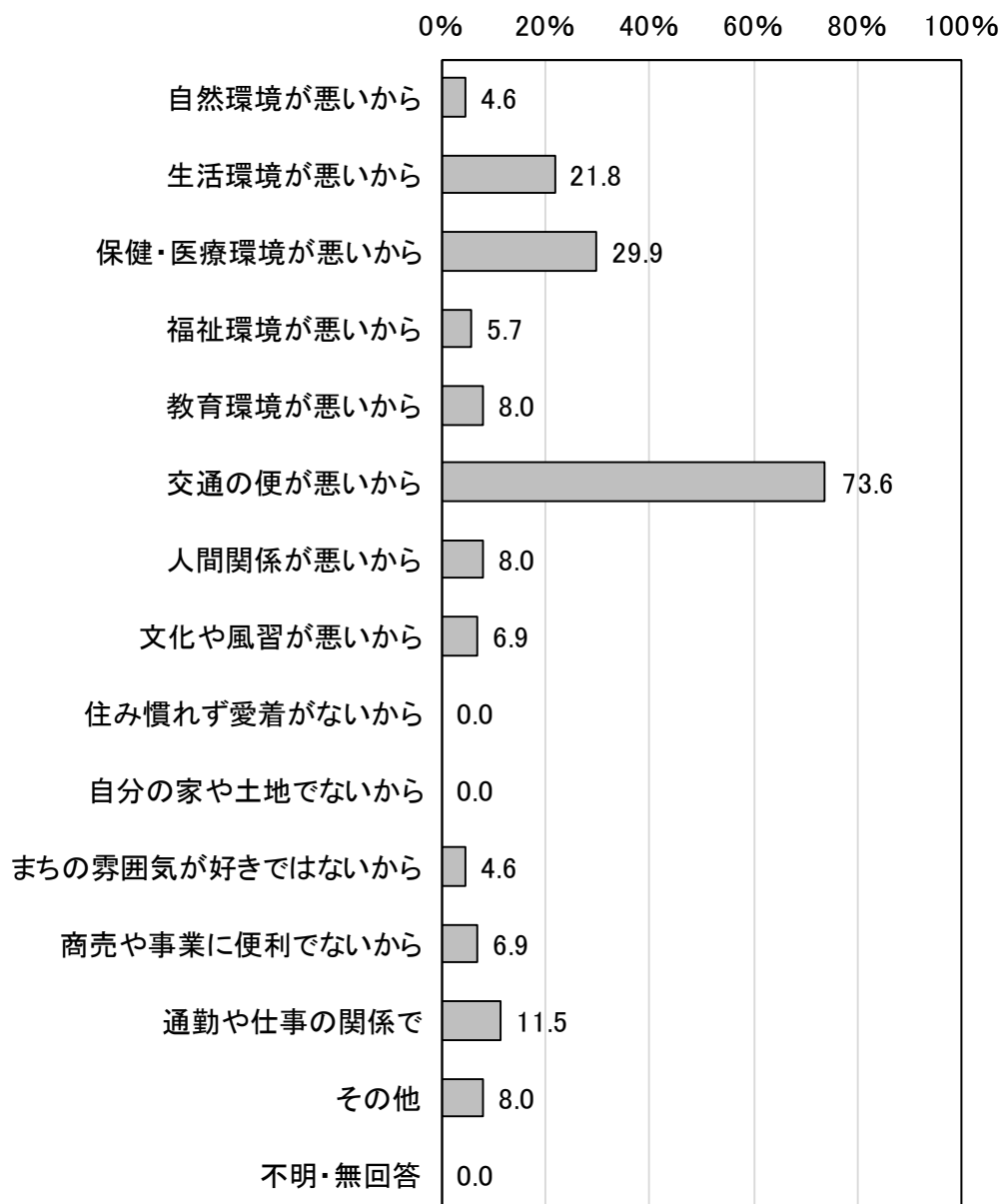


(1) で、「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」を選んだ方

(1-2) 住みにくい理由は何ですか。(2つまで複数回答)

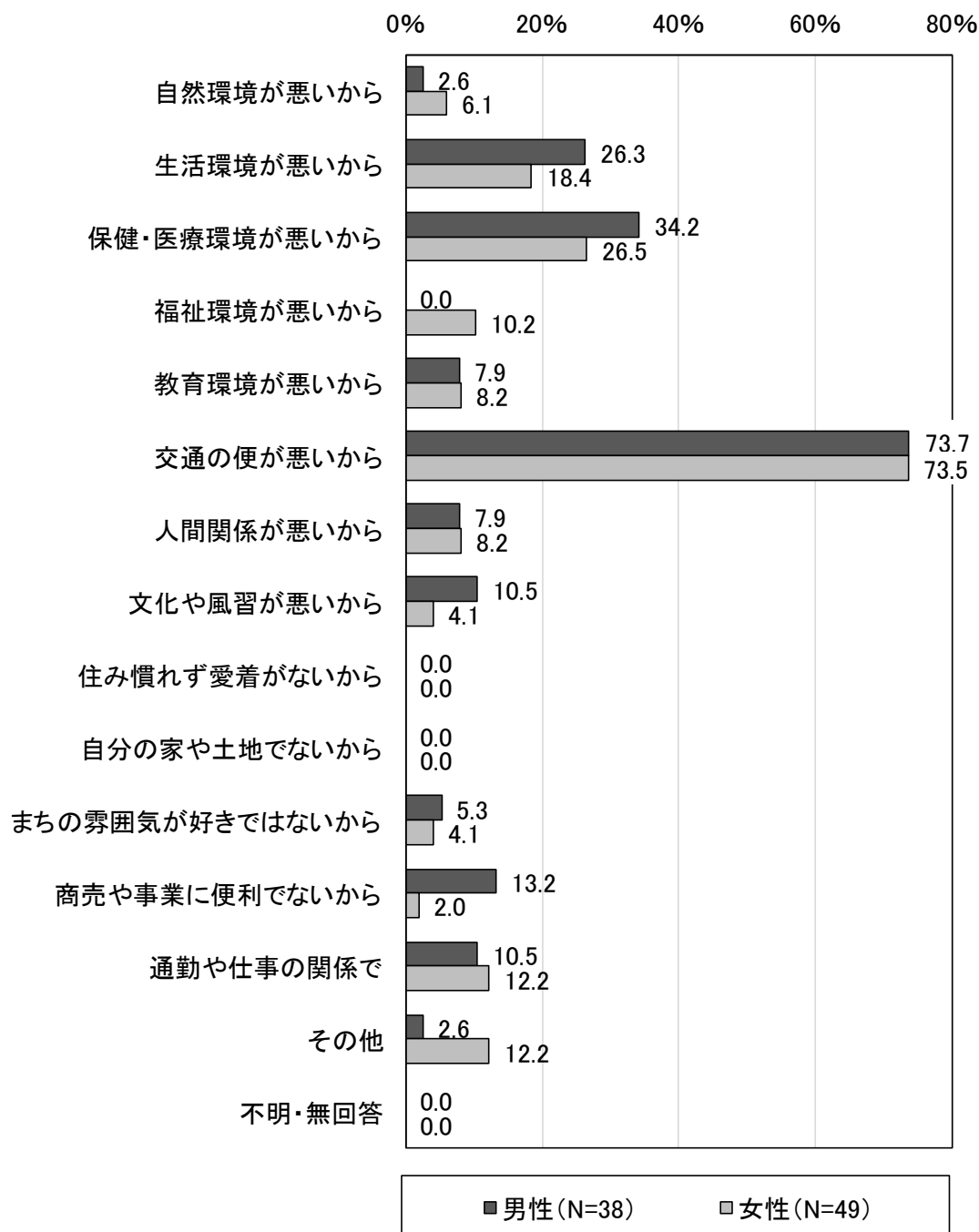
住みにくい理由については、「交通の便が悪いから」が73.6%と最も高く、次いで「保健・医療環境が悪いから」が29.9%、「生活環境が悪いから」が21.8%となっています。

全体(N=87)



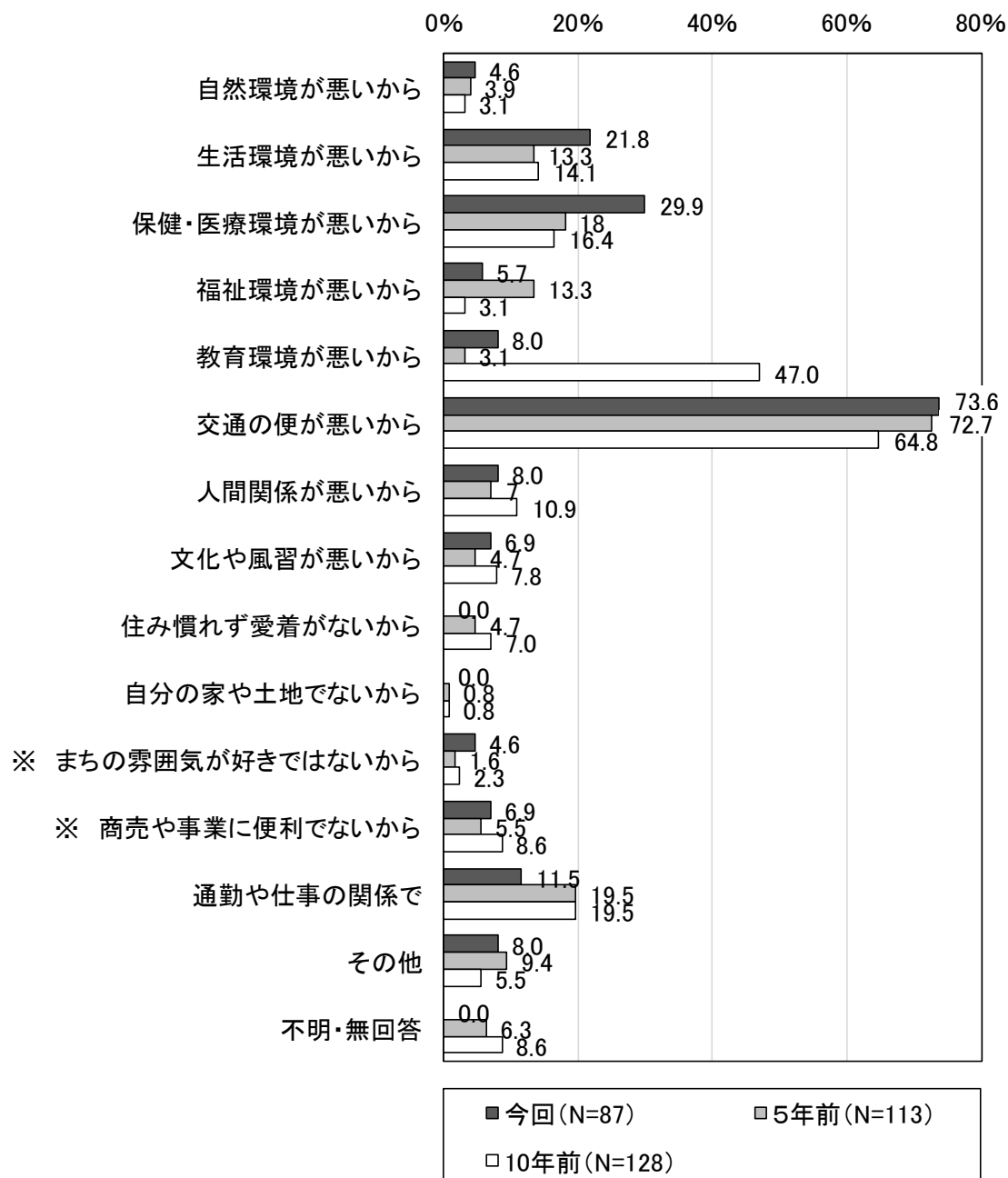
(1-2) ×性別 (2つまで複数回答)

男女別にみると、男女ともに「交通の便が悪いから」が最も高くなっています。



(1-2) ×経年(2つまで複数回答)

経年でみると、今回調査、5年前調査、10年前調査いずれも「交通の便が悪いから」が最も高くなっています。

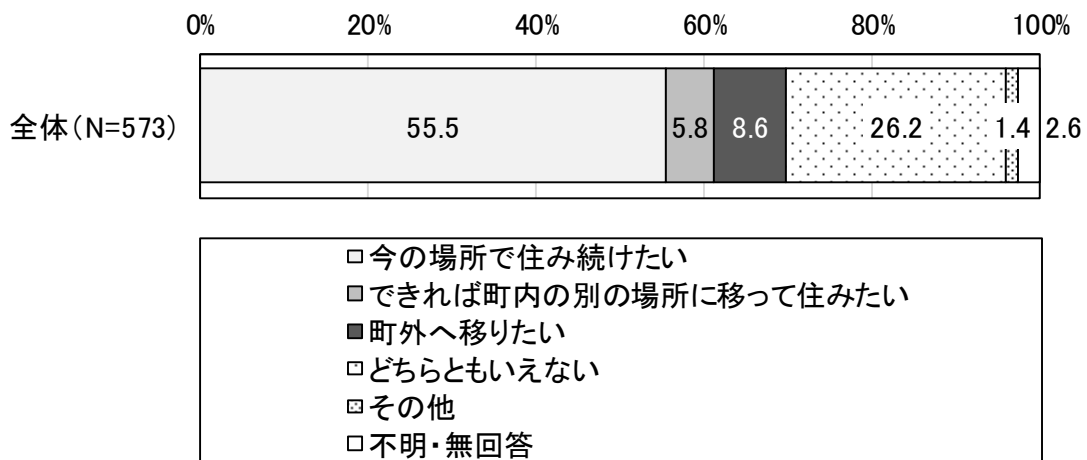


※『まちの雰囲気が好きではないから』は、5年前調査・10年前調査では『まちの雰囲気が嫌いだから』

※『商売や事業に便利でないから』は、5年前調査・10年前調査では『商売や事業に不利だから』

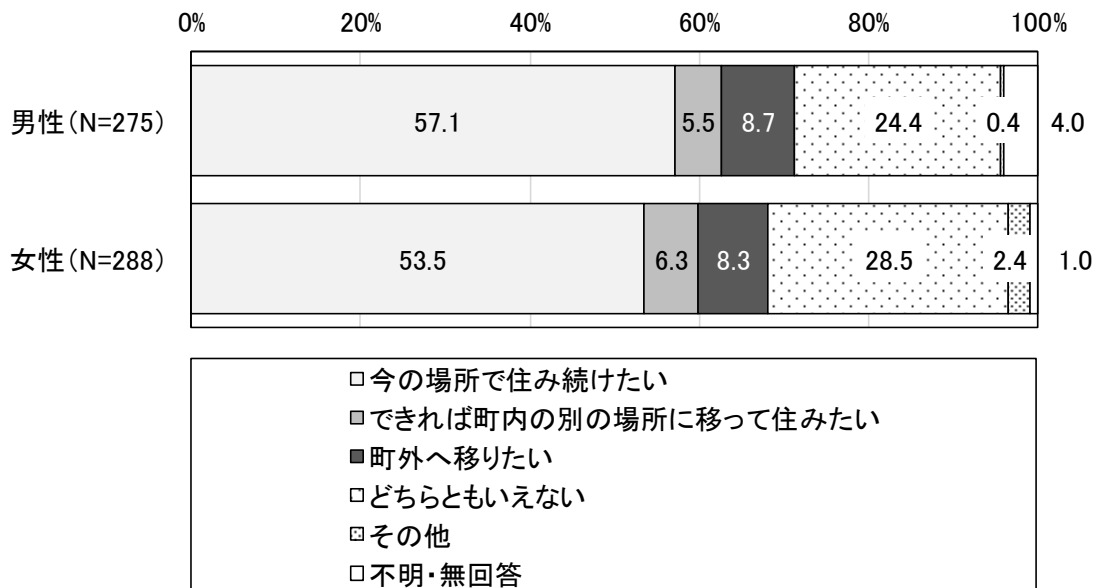
(2) あなたは、これからも度会町に住みたいですか。(単数回答)

これからも度会町に住みたいかについては、「今の場所で住み続けたい」が55.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.2%、「町外へ移りたい」が8.6%となっています。



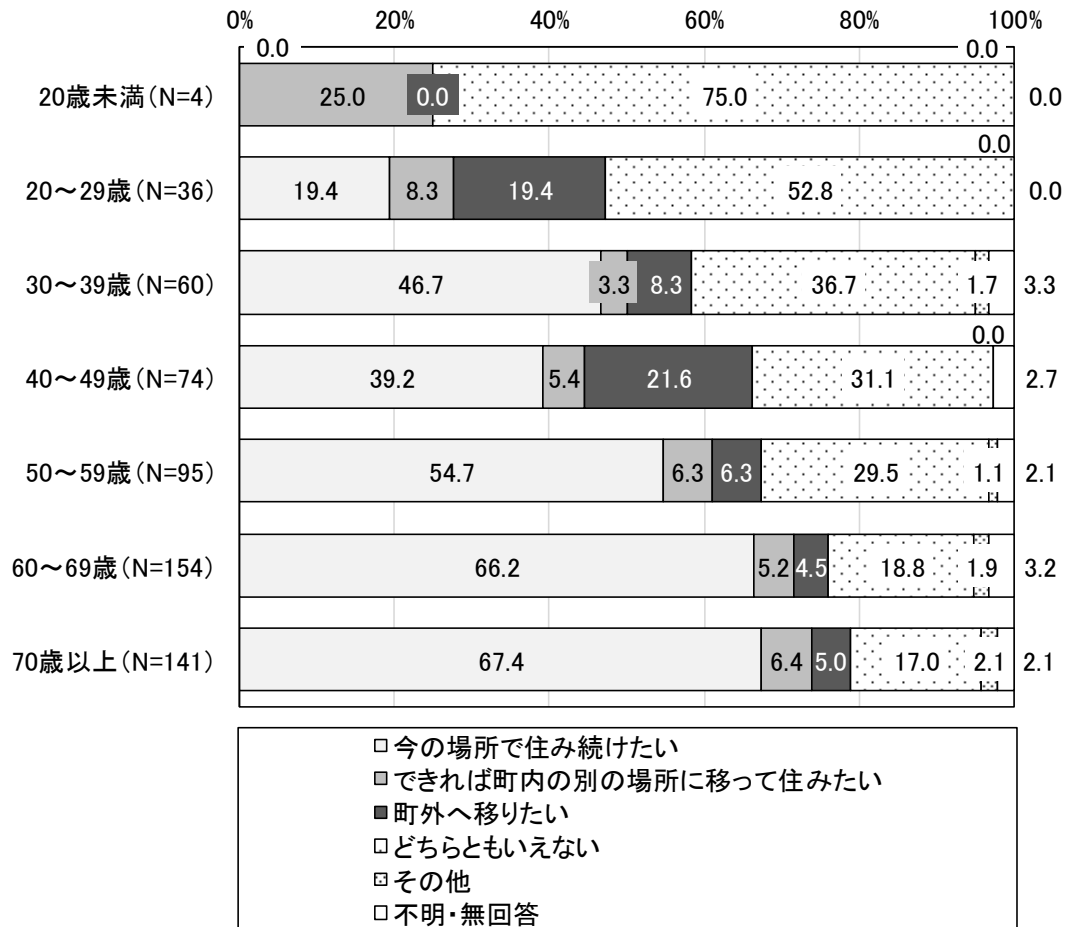
(2) ×性別

男女別にみると、男女ともに「今の場所で住み続けたい」が最も高くなっています。



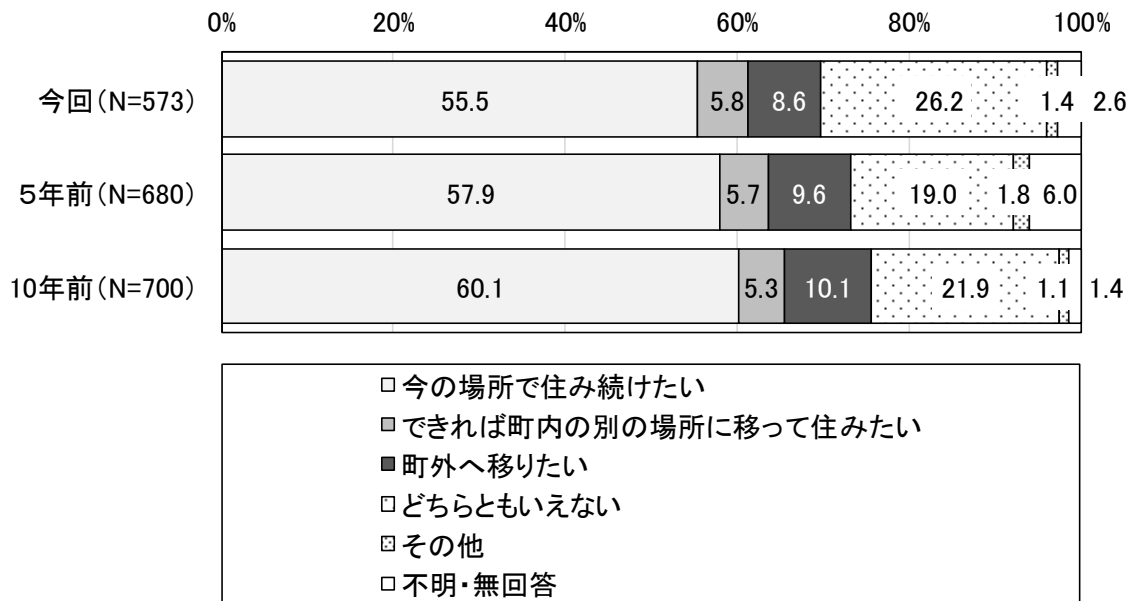
(2) ×年齢

年齢別にみると、29歳以下は「どちらともいえない」、30歳以上は「今の場所で住み続けたい」が最も高くなっています。



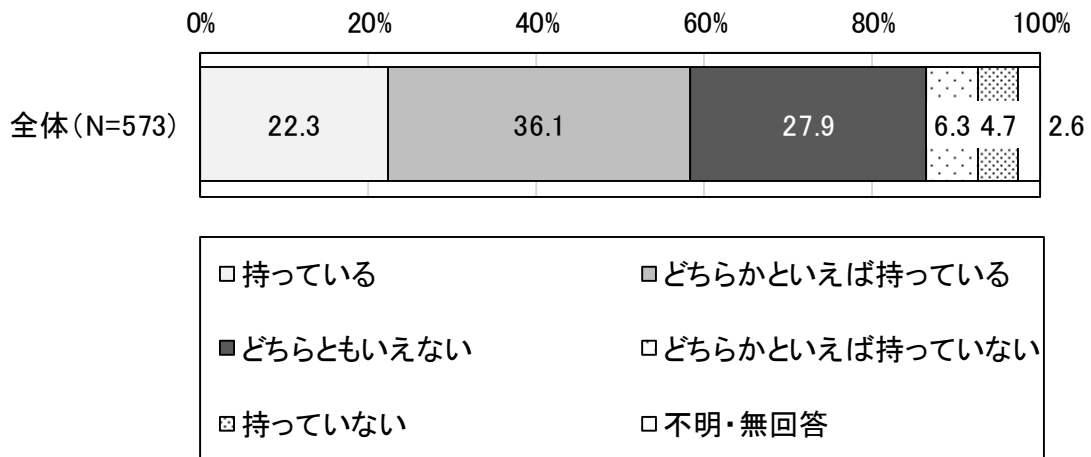
(2) ×経年

経年でみると、今回調査、5年前調査、10年前調査いずれも「今の場所で住み続けたい」が最も高くなっています。



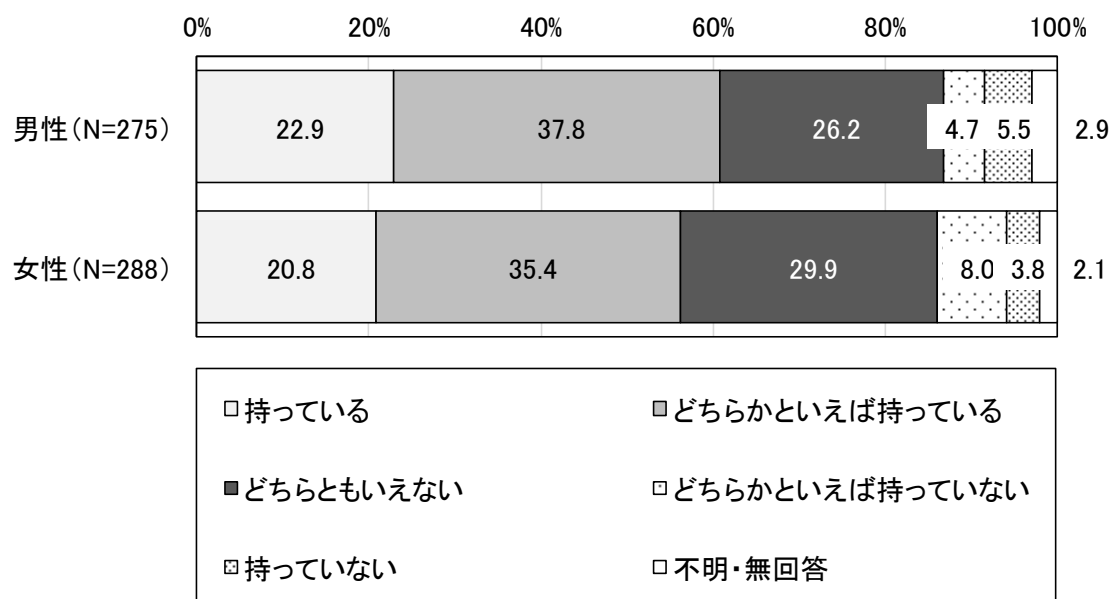
(3) あなたは、度会町に誇りや愛着を持っていますか。(単数回答)

度会町に誇りや愛着を持っているかについては、「どちらかといえば持っている」が36.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.9%、「持っている」が22.3%となっています。



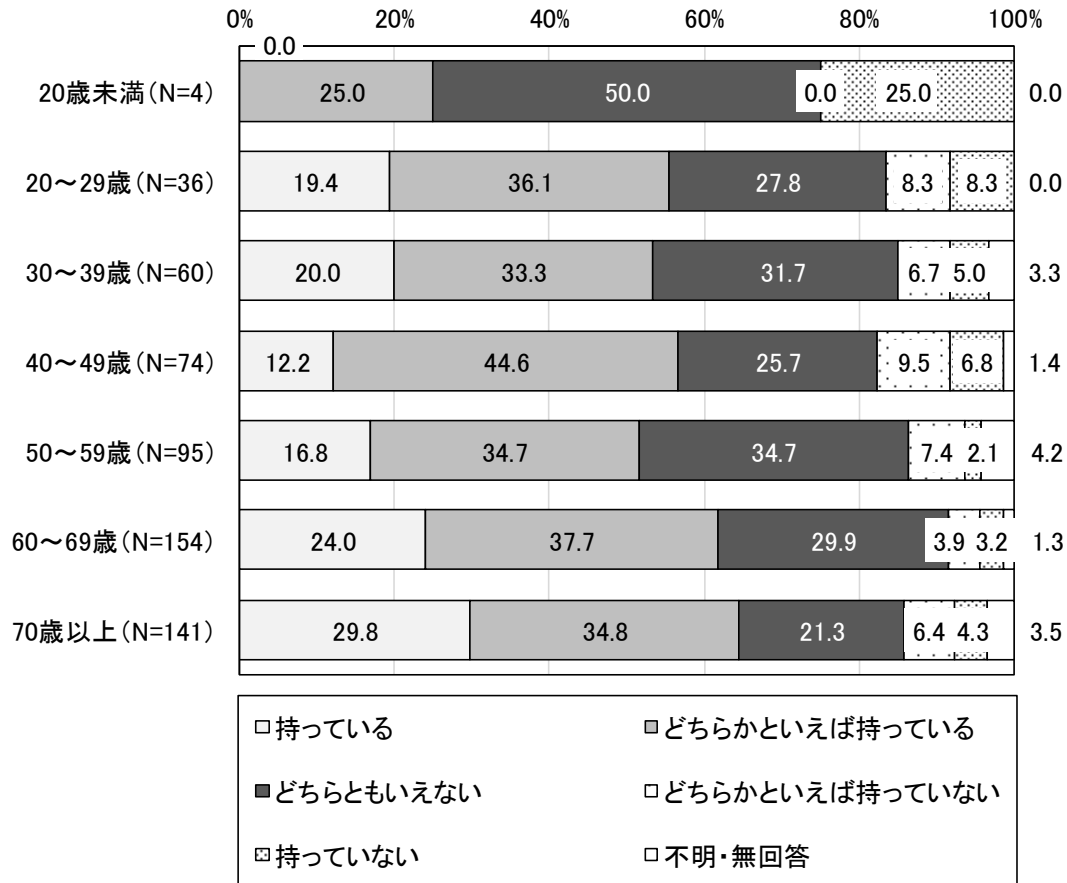
(3) ×性別

男女別にみると、男女ともに「どちらかといえば持っている」が最も高くなっています。



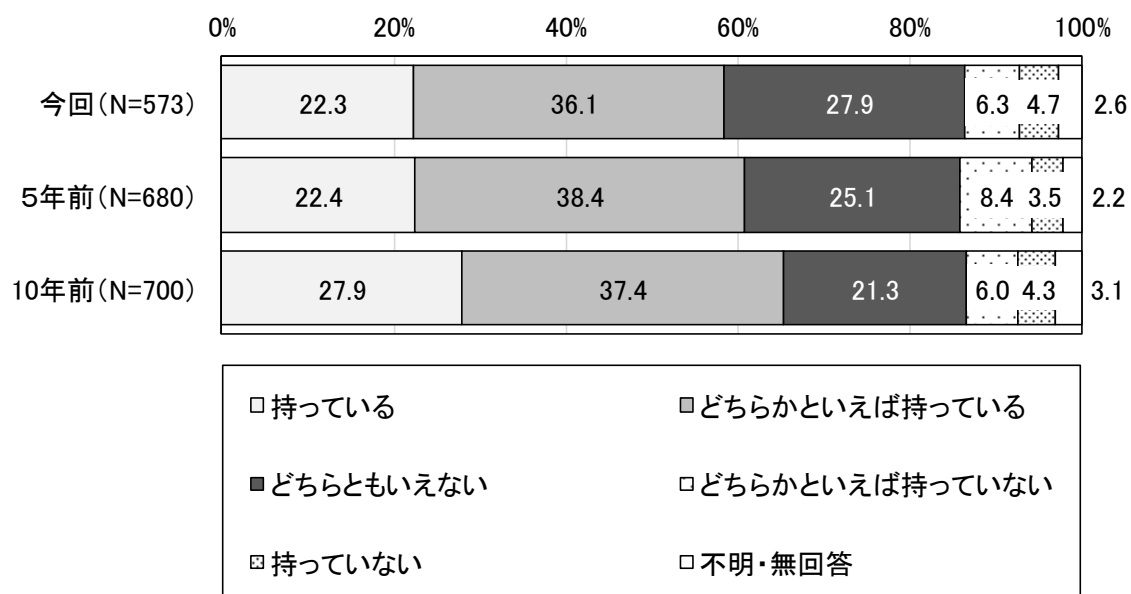
(3) ×年齢

年齢別にみると、20歳から49歳、60歳以上は「どちらかといえば持っている」が最も高くなっています。50歳から59歳は「どちらかといえば持っている」「どちらかといえば持っていない」がともに最も高くなっています。



(3) ×経年

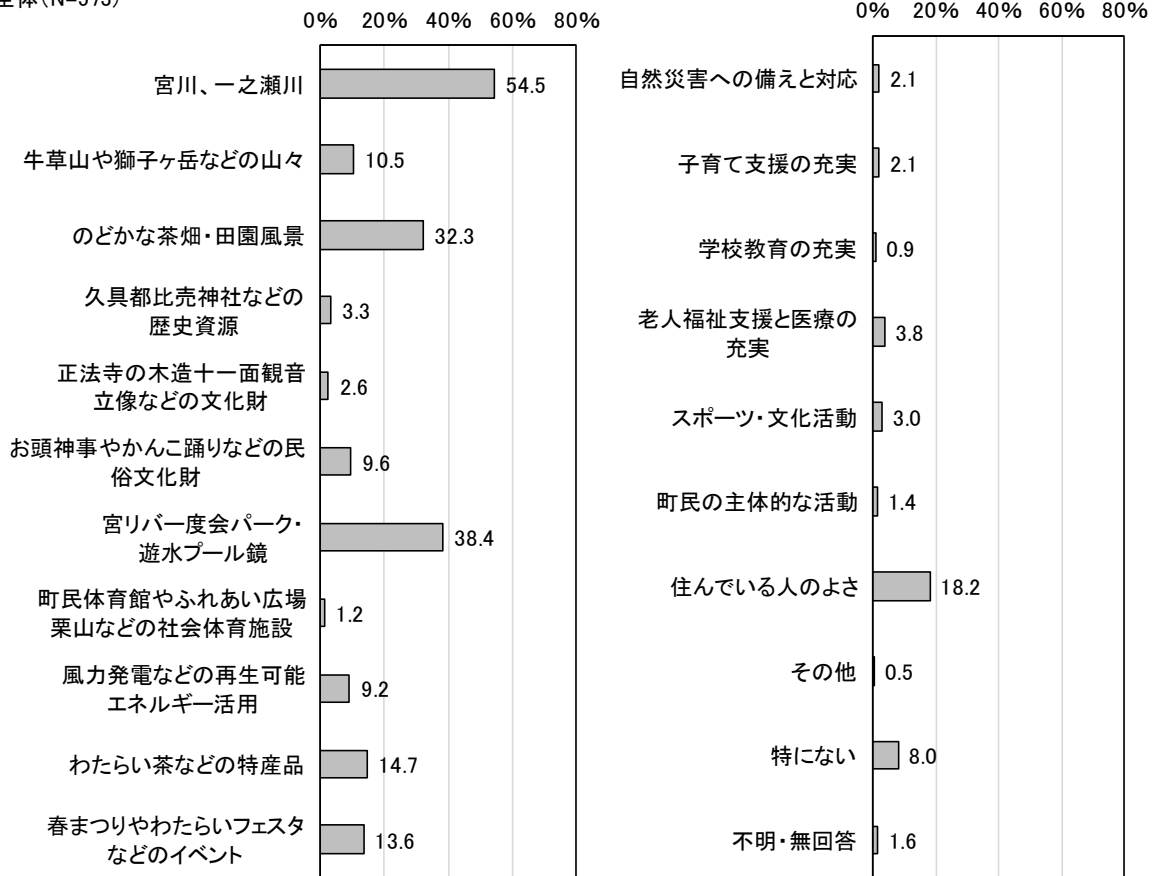
経年でみると、今回調査、5年前調査、10年前調査いずれも「どちらかといえば持っている」が最も高くなっています。



(4) 度会町が誇れるもの、あるいは魅力に何がありますか。(3つまで複数回答)

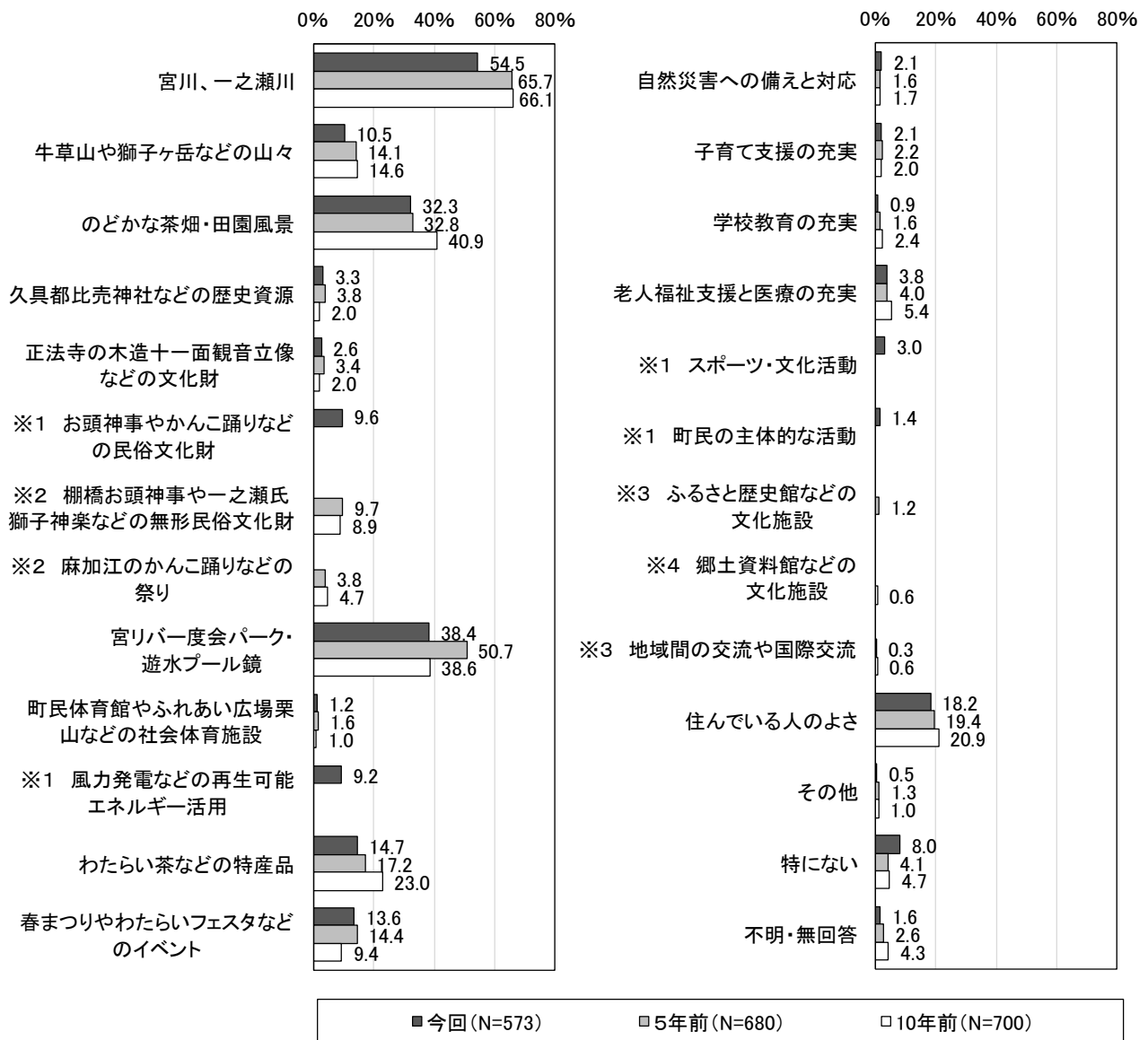
度会町が誇れるもの、あるいは魅力については、「宮川、一之瀬川」が54.5%と最も高く、次いで「宮リバー度会パーク・遊水プール鏡」が38.4%、「のどかな茶畑・田園風景」が32.3%となっています。

全体(N=573)



(4) ×経年

経年でみると、今回調査、5年前調査、10年前調査いずれも「宮川、一之瀬川」が最も高くなっています。



※1 は今回調査のみの選択肢

※2 は今回調査にはない選択肢

※3 は 5 年前調査のみの選択肢

※4 は 10 年前調査のみの選択肢

3 まちづくりにおける分野別の取組について

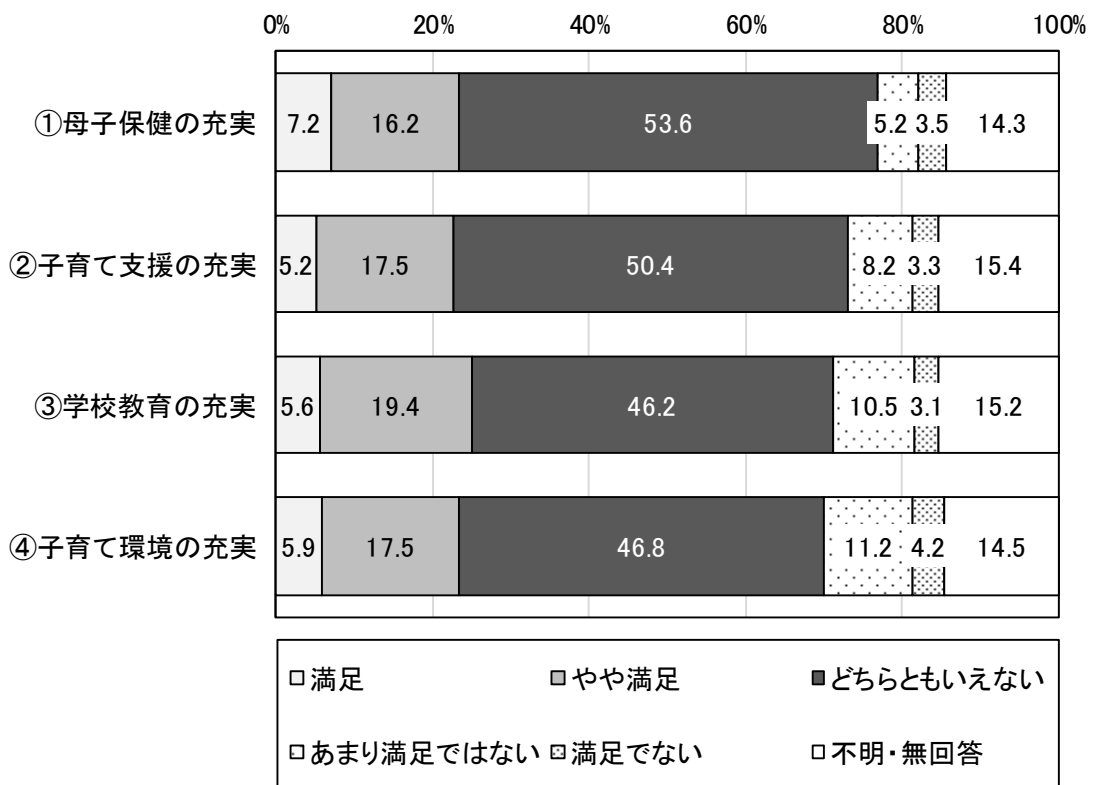
(1) あなたは、度会町が行う分野別の取組について、それぞれの取組の現状をどう感じていますか。また、今後、特に重要なことは何だと思えますか。

A 子育て環境について（満足度と重要度について、それぞれ単数回答）

度会町の子育て環境への取組の満足度について、「満足」と「やや満足」の合計割合では、「学校教育の充実」が25.0%と最も高く、次いで「母子保健の充実」「子育て環境の充実」が23.4%、「子育て支援の充実」が22.7%となっています。

一方、「あまり満足ではない」と「満足でない」の合計割合では、「子育て環境の充実」が15.4%と最も高く、次いで「学校教育の充実」が13.6%、「子育て支援の充実」が11.5%となっています。

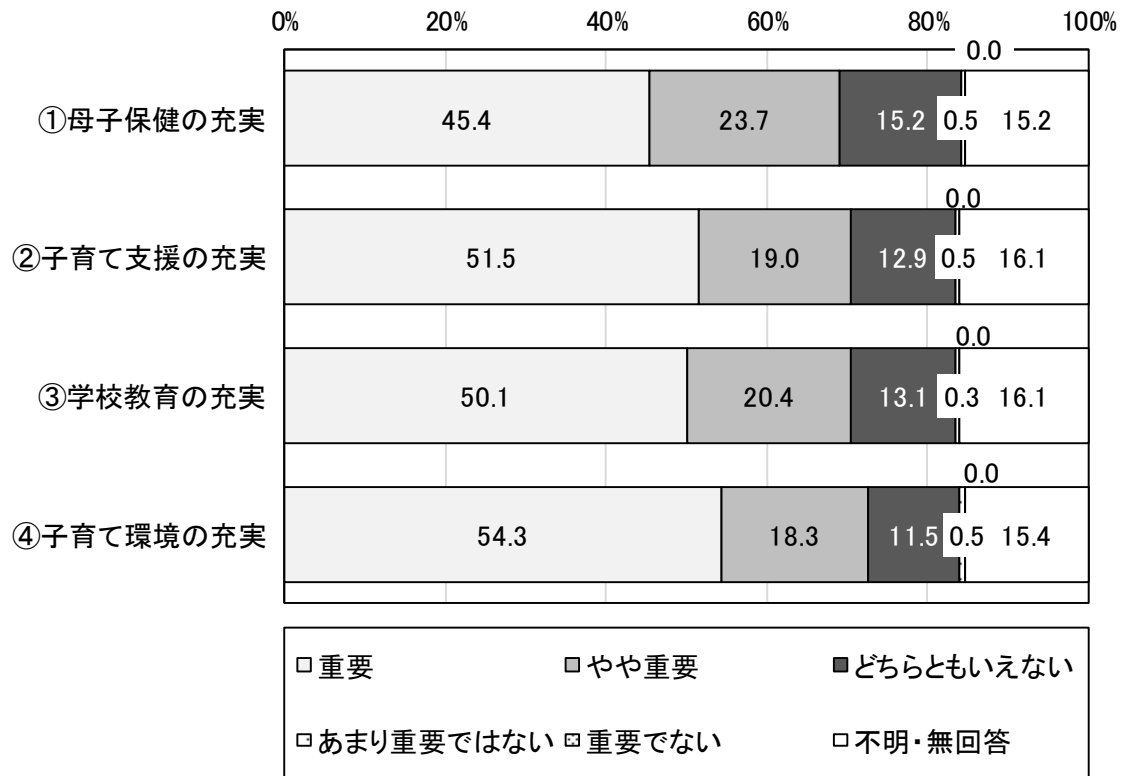
満足度 全体(N=573)



度会町の子育て環境への取組の重要度について、「重要」と「やや重要」の合計割合では、「子育て環境の充実」が72.6%と最も高く、次いで「子育て支援の充実」と「学校教育の充実」が70.5%、「母子保健の充実」が69.1%となっています。

一方、「あまり重要でない」と「重要でない」の合計割合では、「母子保健の充実」と「子育て支援の充実」と「子育て環境の充実」が0.5%と最も高く、次いで「学校教育の充実」が0.3%となっています。

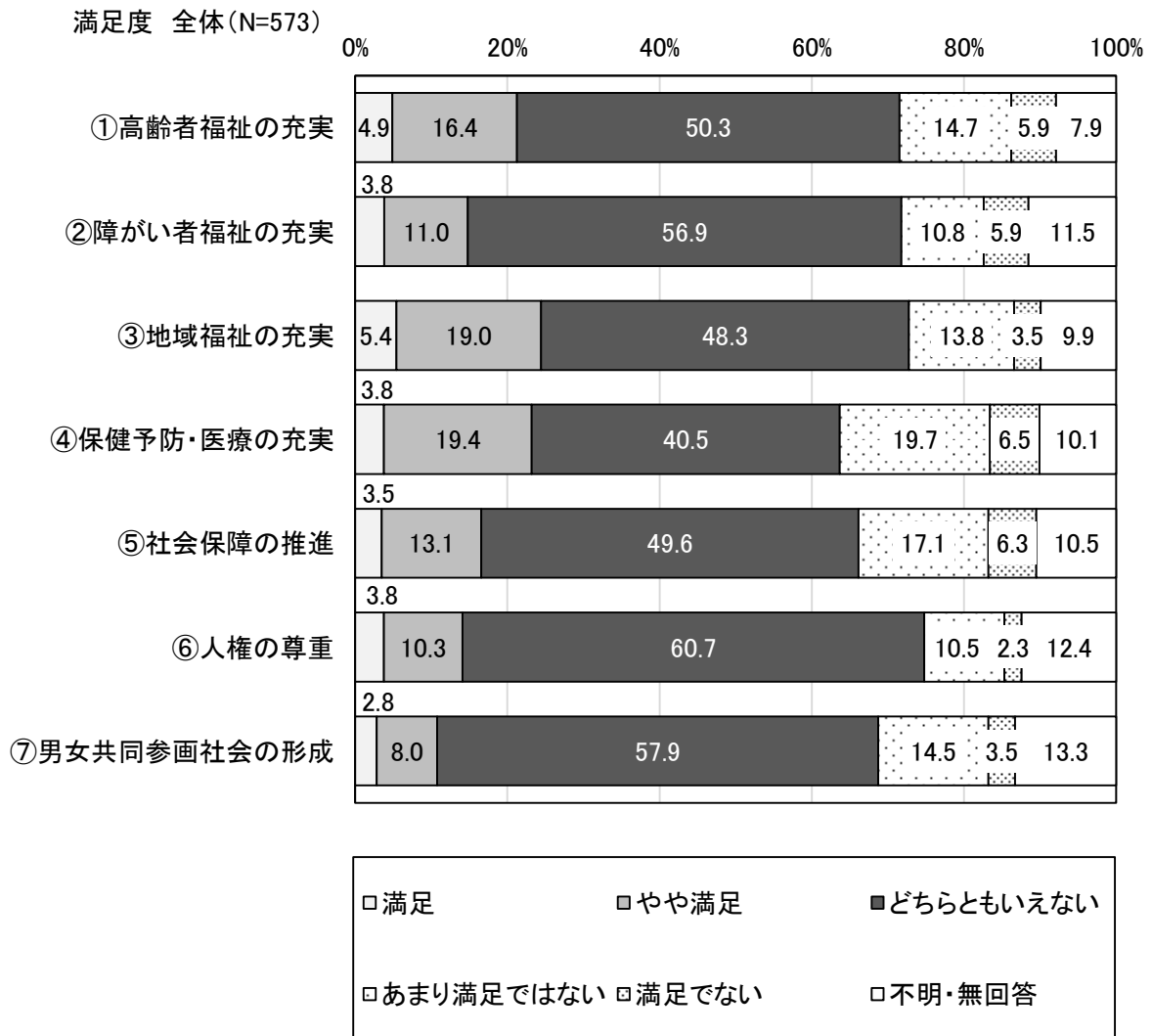
重要度 全体(N=573)



B 保健・福祉について（満足度と重要度について、それぞれ単数回答）

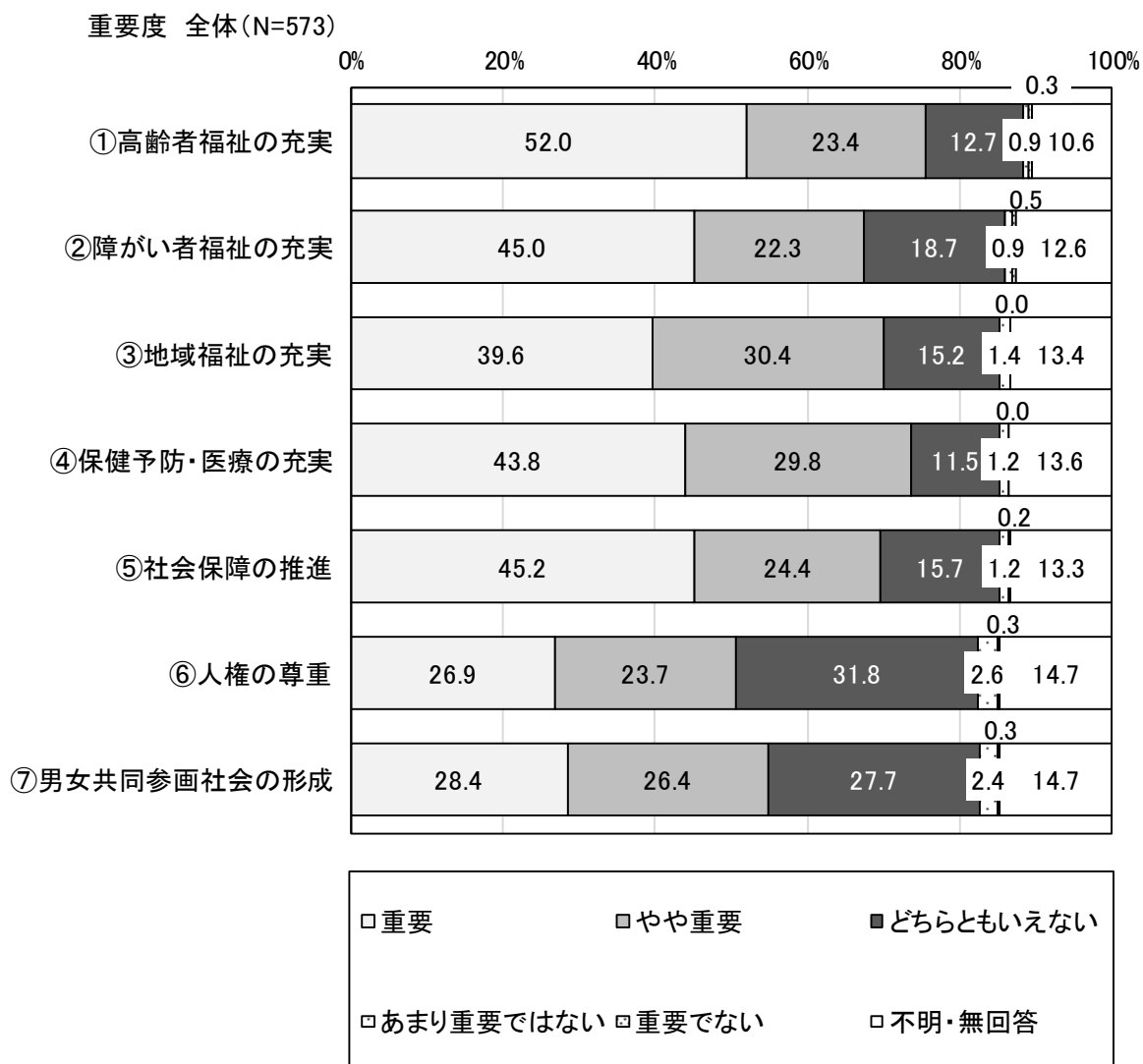
度会町の保健・福祉への取組の満足度について、「満足」と「やや満足」の合計割合では、「地域福祉の充実」が24.4%と最も高く、次いで「保健予防・医療の充実」が23.2%、「高齢者福祉の充実」が21.3%となっています。

一方、「あまり満足ではない」と「満足でない」の合計割合では、「保健予防・医療の充実」が26.2%と最も高く、次いで「社会保障の推進」が23.4%、「高齢者福祉の充実」が20.6%となっています。



度会町の保健・福祉への取組の重要度について、「重要」と「やや重要」の合計割合では、「高齢者福祉の充実」が75.4%と最も高く、次いで「保健予防・医療の充実」が73.6%、「地域福祉の充実」が70.0%となっています。

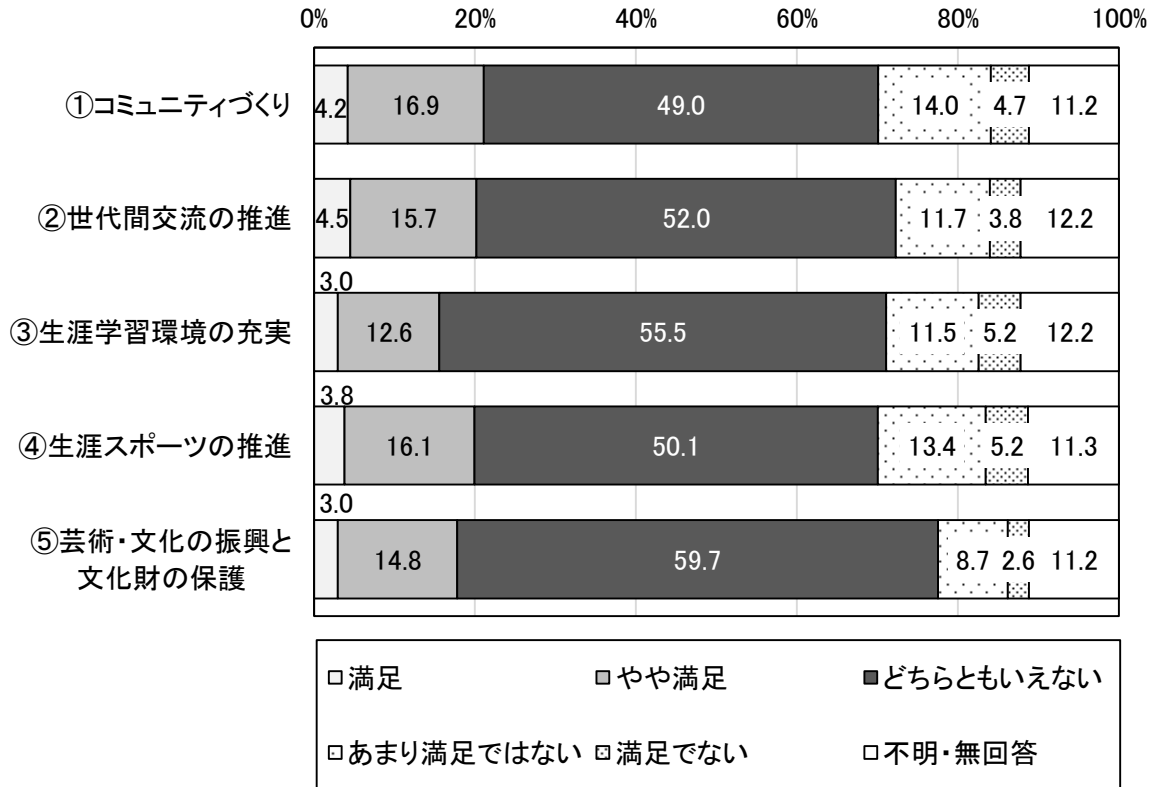
一方、「あまり重要でない」と「重要でない」の合計割合では、「人権の尊重」が2.9%と最も高く、次いで「男女共同参画社会の形成」が2.7%、「障がい者福祉の充実」「地域福祉の充実」「社会保障の推進」が1.4%となっています。



C 交流・ひとづくりについて（満足度と重要度について、それぞれ単数回答）

度会町の交流・ひとづくりへの取組の満足度について、「満足」と「やや満足」の合計割合では、「コミュニティづくり」が21.1%と最も高く、次いで「世代間交流の推進」が20.2%、「生涯スポーツの推進」が19.9%となっています。

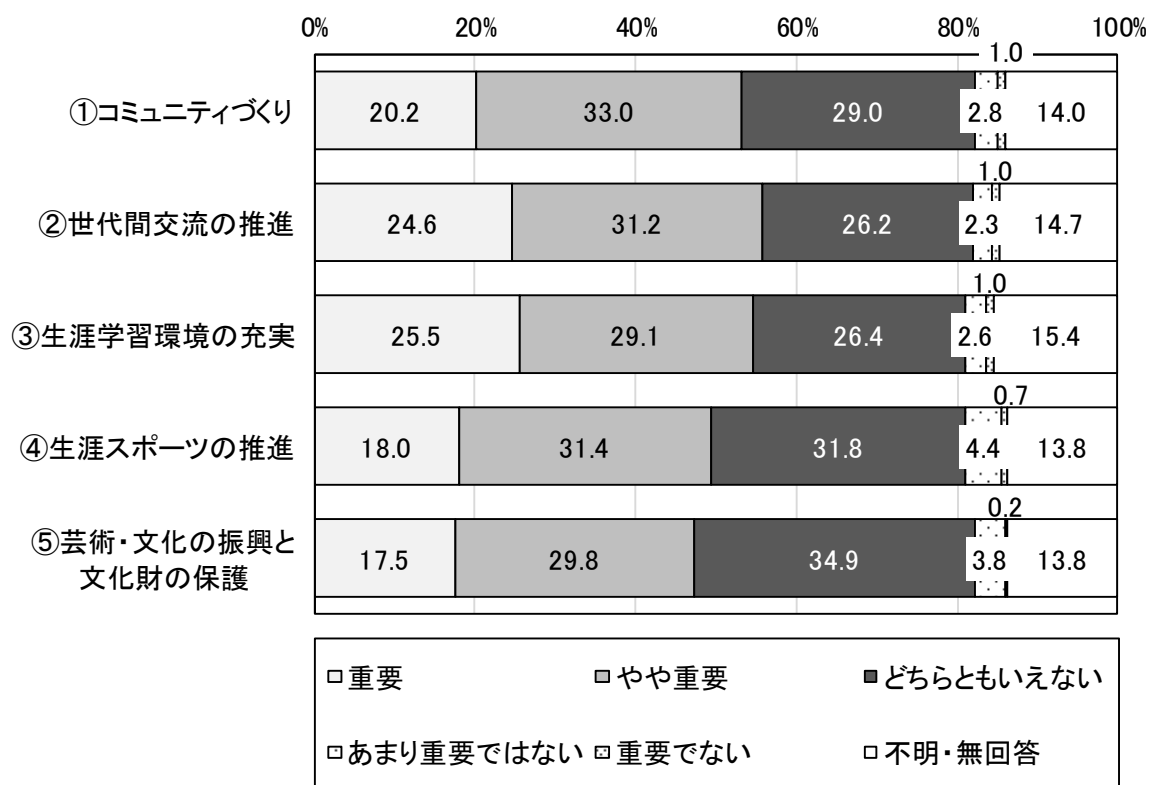
一方、「あまり満足ではない」と「満足でない」の合計割合では、「コミュニティづくり」が18.7%と最も高く、次いで「生涯スポーツの推進」が18.6%、「生涯学習環境の充実」が16.7%となっています。



度会町の交流・ひとづくりへの取組の重要度について、「重要」と「やや重要」の合計割合では、「世代間交流の推進」が55.8%と最も高く、次いで「生涯学習環境の充実」が54.6%、「コミュニティづくり」が53.2%となっています。

一方、「あまり重要でない」と「重要でない」の合計割合では、「生涯スポーツの推進」が5.1%と最も高く、次いで「芸術・文化の振興と文化財の保護」が4.0%、「コミュニティづくり」が3.8%となっています。

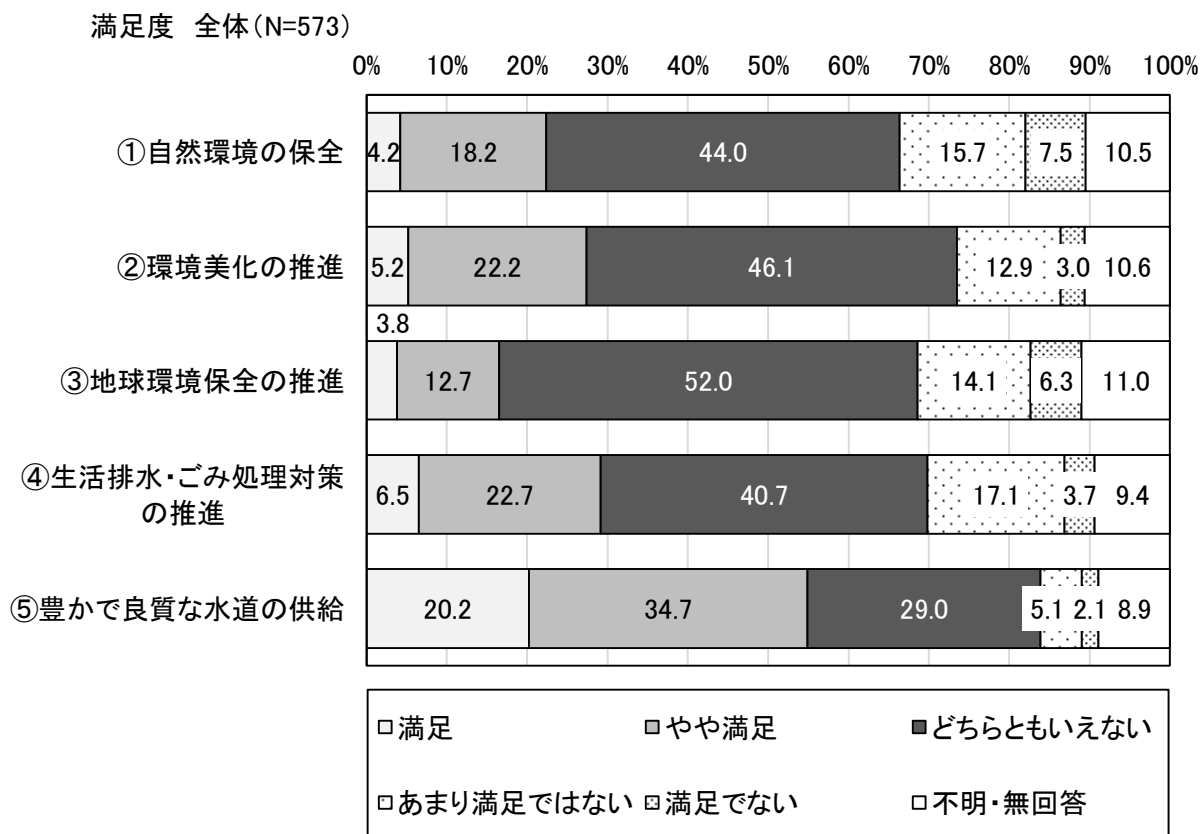
重要度 全体(N=573)



D 環境について（満足度と重要度について、それぞれ単数回答）

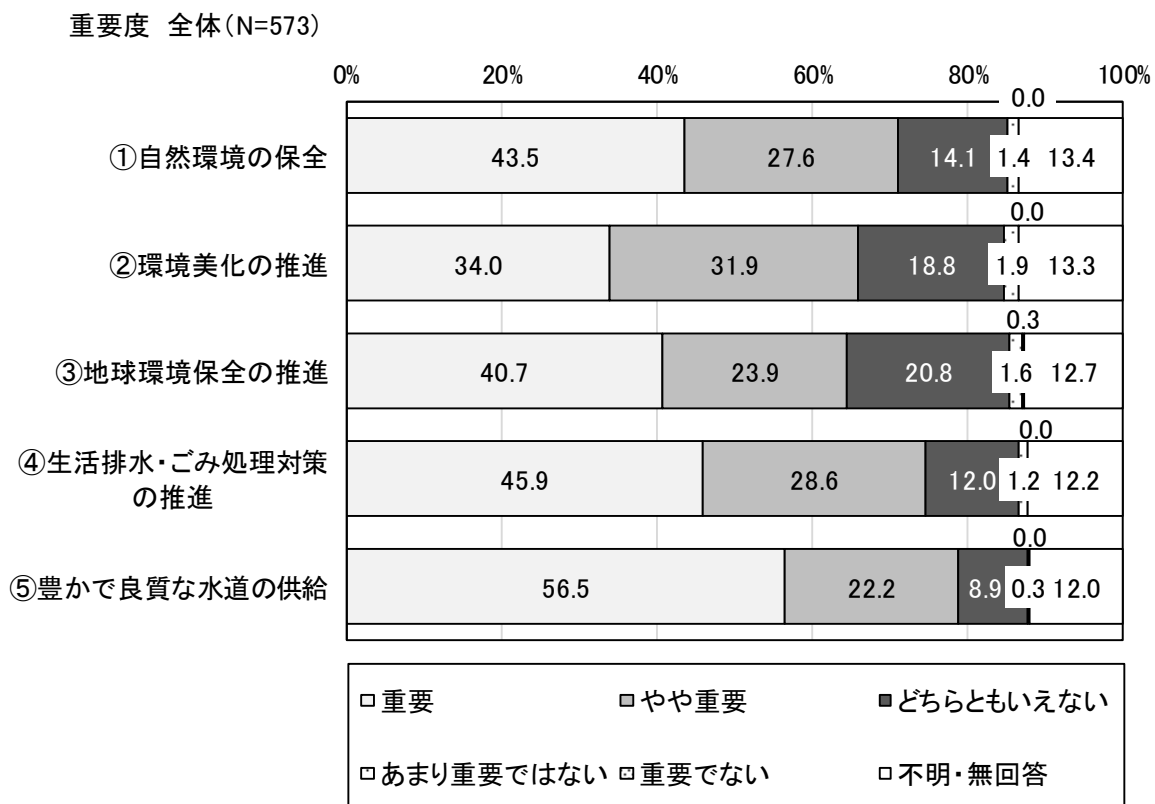
度会町の環境への取組の満足度について、「満足」と「やや満足」の合計割合では、「豊かで良質な水道の供給」が54.9%と最も高く、次いで「生活排水・ごみ処理対策の推進」が29.2%、「環境美化の推進」が27.4%となっています。

一方、「あまり満足ではない」と「満足でない」の合計割合では、「自然環境の保全」が23.2%と最も高く、次いで「生活排水・ごみ処理対策の推進」が20.8%、「地球環境保全の推進」が20.4%となっています。



度会町の環境への取組の重要度について、「重要」と「やや重要」の合計割合では、「豊かで良質な水道の供給」が78.7%と最も高く、次いで「生活排水・ごみ処理対策の推進」が74.5%、「自然環境の保全」が71.1%となっています。

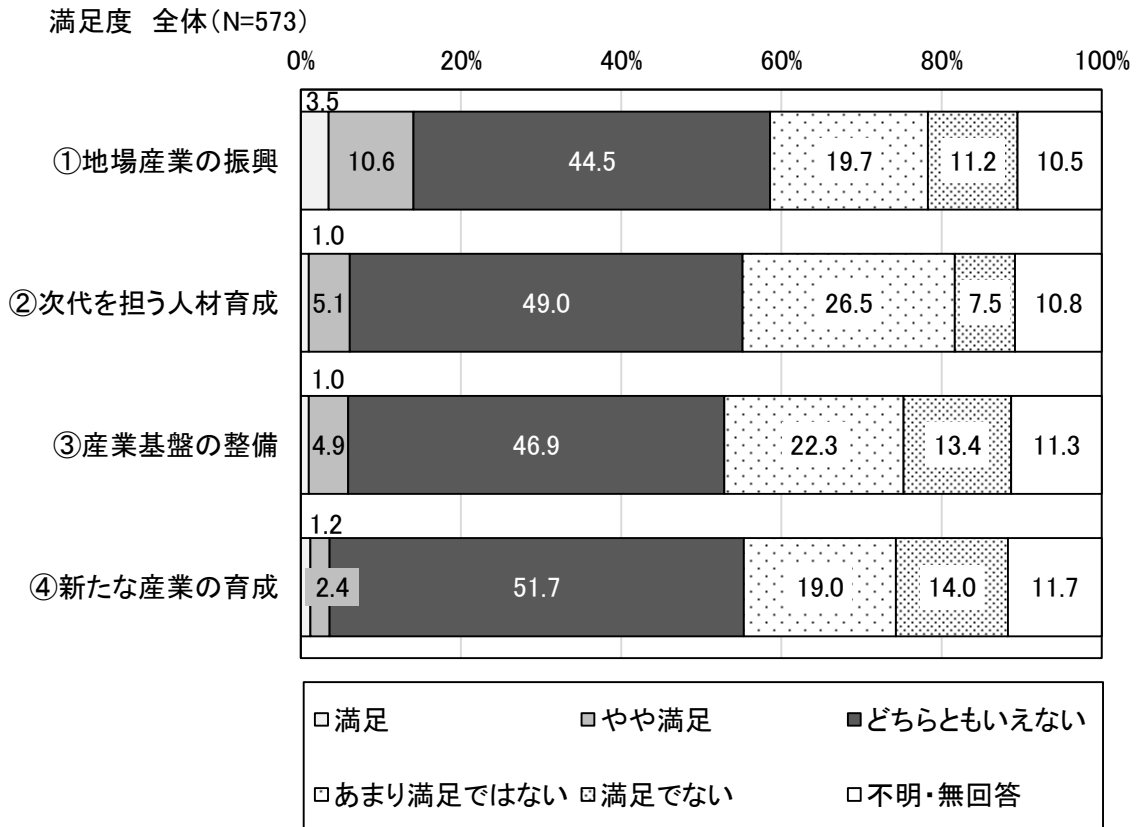
一方、「あまり重要でない」と「重要でない」の合計割合では、「環境美化の推進」「地球環境保全の推進」が1.9%と最も高く、次いで「自然環境の保全」が1.4%、「生活排水・ごみ処理対策の推進」が1.2%となっています。



E 産業について（満足度と重要度について、それぞれ単数回答）

度会町の産業への取組の満足度について、「満足」と「やや満足」の合計割合では、「地場産業の振興」が14.1%と最も高く、次いで「次代を担う人材育成」が6.1%、「産業基盤の整備」が5.9%となっています。

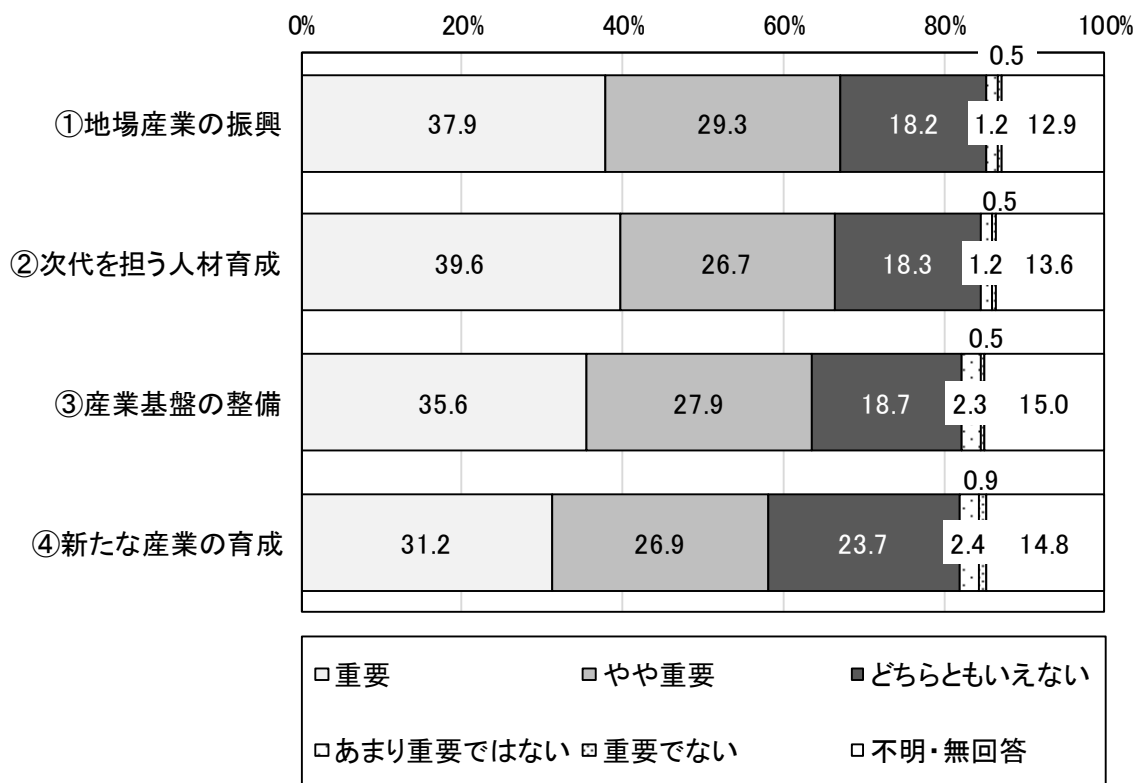
一方、「あまり満足ではない」と「満足でない」の合計割合では、「産業基盤の整備」が35.7%と最も高く、次いで「次代を担う人材育成」が34.0%、「新たな産業の育成」が33.0%となっています。



度会町の産業への取組の重要度について、「重要」と「やや重要」の合計割合では、「地場産業の振興」が67.2%と最も高く、次いで「次代を担う人材育成」が66.3%、「産業基盤の整備」が63.5%となっています。

一方、「あまり重要でない」と「重要でない」の合計割合では、「新たな産業の育成」が3.3%と最も高く、次いで「産業基盤の整備」が2.8%、「地場産業の振興」「次代を担う人材育成」が1.7%となっています。

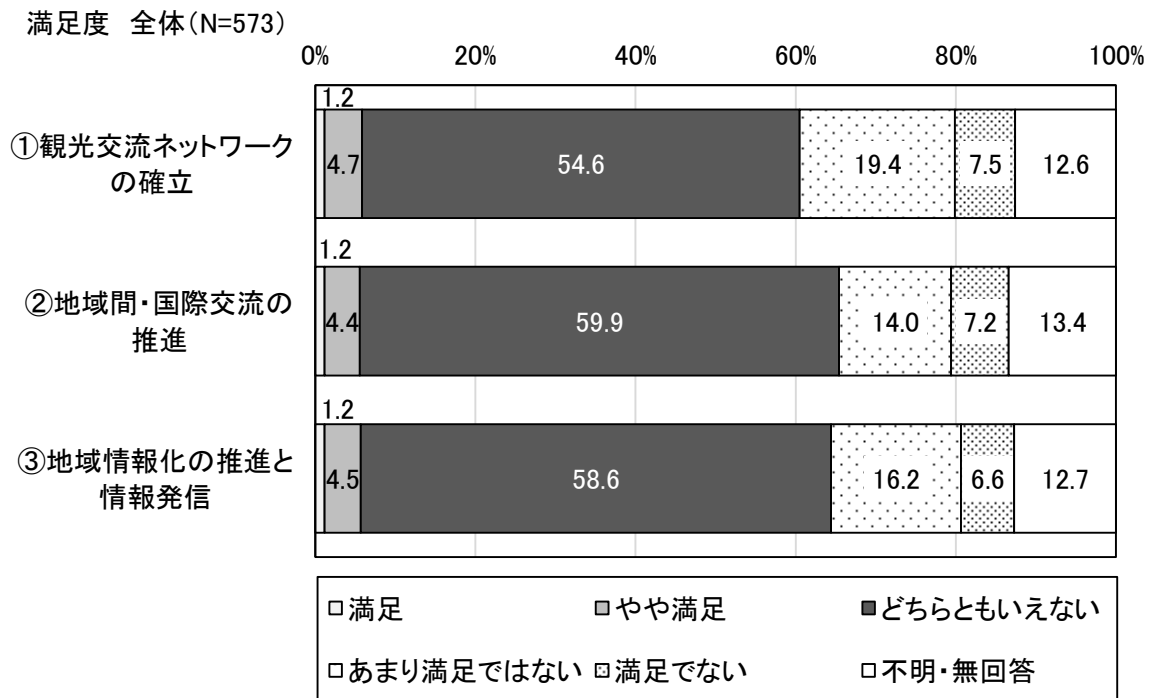
重要度 全体(N=573)



F 情報・連携について（満足度と重要度について、それぞれ単数回答）

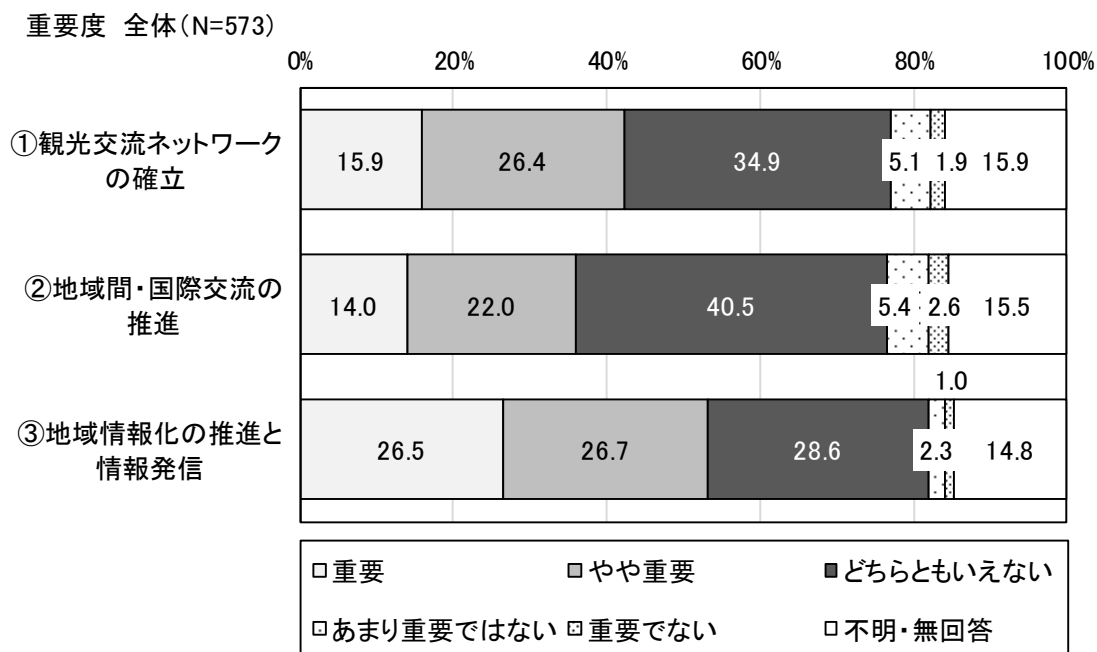
度会町の情報・連携への取組の満足度について、「満足」と「やや満足」の合計割合では、「観光交流ネットワークの確立」が5.9%と最も高く、次いで「地域情報化の推進と情報発信」が5.7%、「地域間・国際交流の推進」が5.6%となっています。

一方、「あまり満足ではない」と「満足でない」の合計割合では、「観光交流ネットワークの確立」が26.9%と最も高く、次いで「地域情報化の推進と情報発信」が22.8%、「地域間・国際交流の推進」が21.2%となっています。



度会町の情報・連携への取組の重要度について、「重要」と「やや重要」の合計割合では、「地域情報化の推進と情報発信」が53.2%と最も高く、次いで「観光交流ネットワークの確立」が42.3%、「地域間・国際交流の推進」が36.0%となっています。

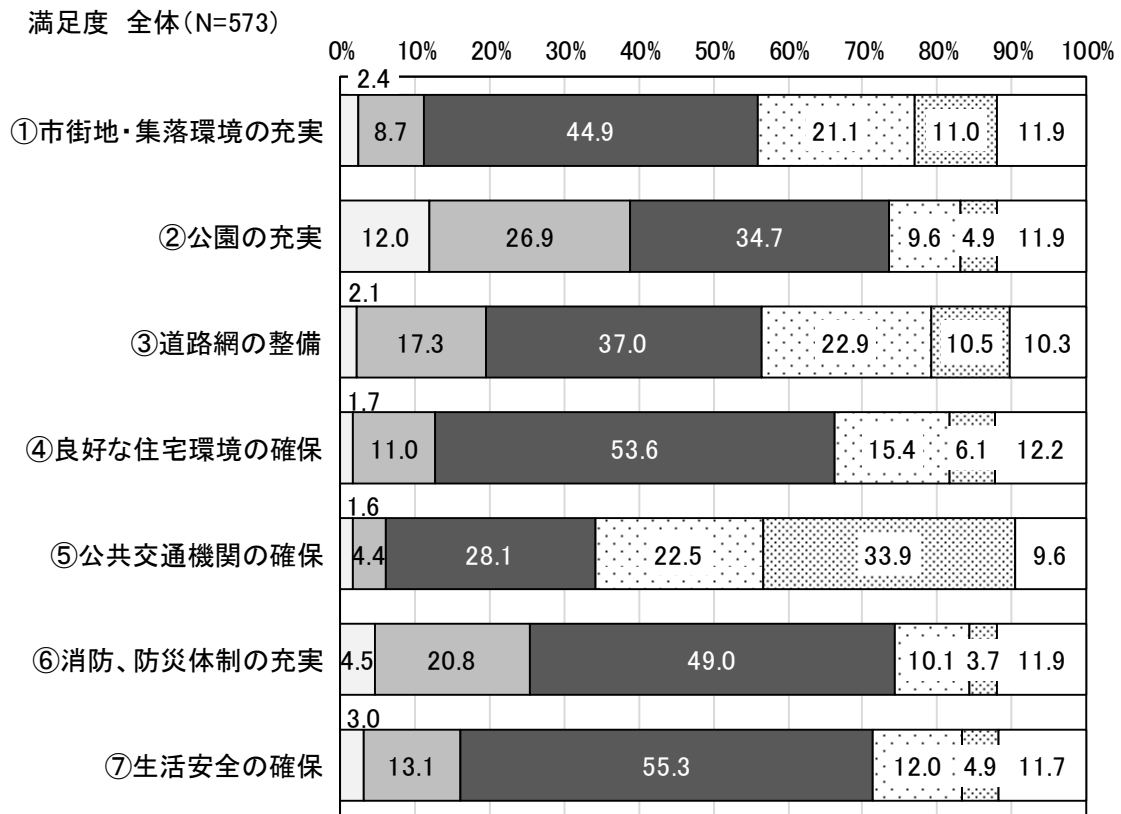
一方、「あまり重要でない」と「重要でない」の合計割合では、「地域間・国際交流の推進」が8.0%と最も高く、次いで「観光交流ネットワークの確立」が7.0%、「地域情報化の推進と情報発信」が3.3%となっています。



G 生活基盤について（満足度と重要度について、それぞれ単数回答）

度会町の生活基盤への取組の満足度について、「満足」と「やや満足」の合計割合では、「公園の充実」が38.9%と最も高く、次いで「消防、防災体制の充実」が25.3%、「道路網の整備」が19.4%となっています。

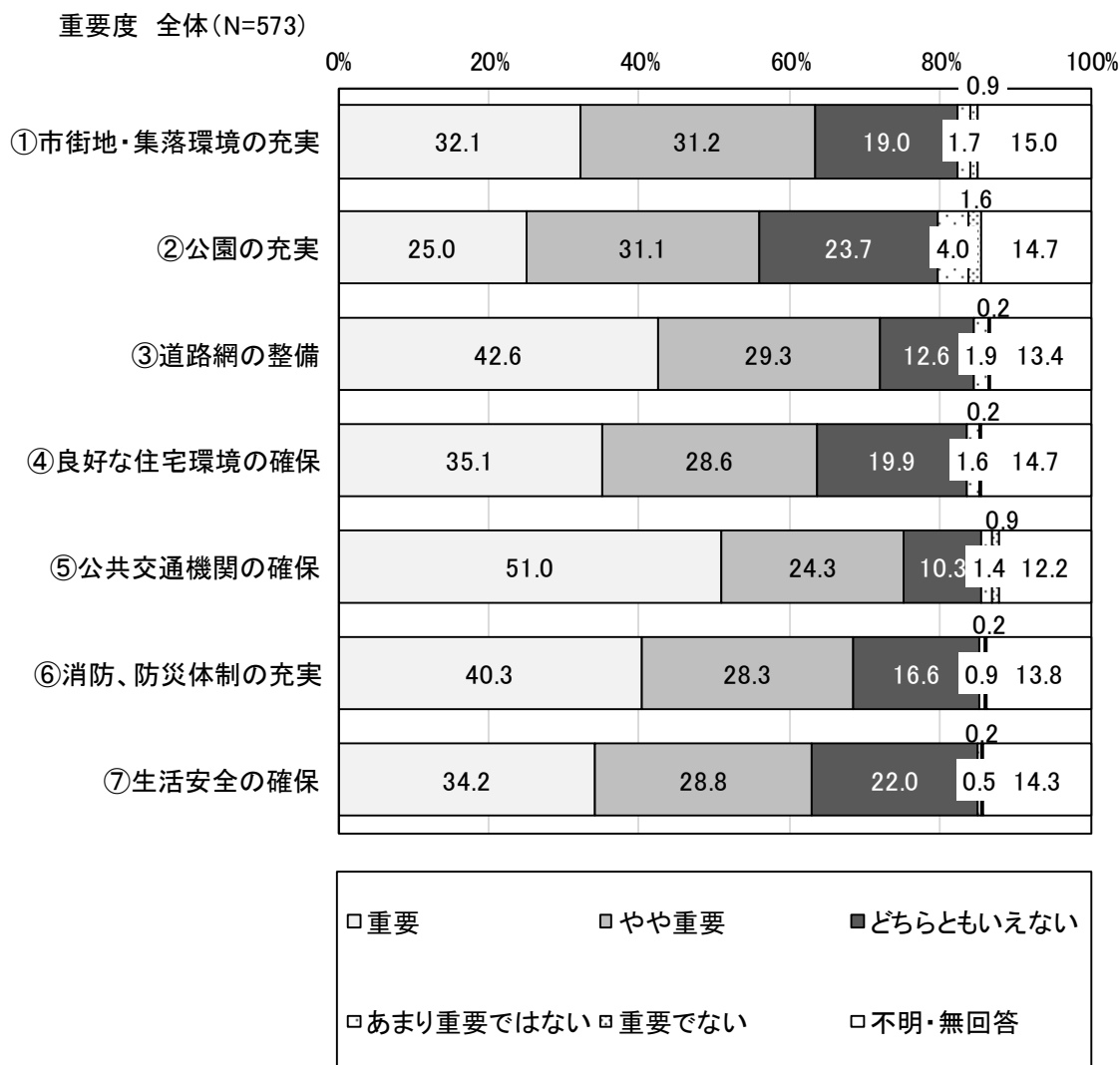
一方、「あまり満足ではない」と「満足でない」の合計割合では、「公共交通機関の確保」が56.4%と最も高く、次いで「道路網の整備」が33.4%、「市街地・集落環境の充実」が32.1%となっています。



満足 やや満足 どちらともいえない
 あまり満足ではない 満足でない 不明・無回答

度会町の生活基盤への取組の重要度について、「重要」と「やや重要」の合計割合では、「公共交通機関の確保」が75.3%と最も高く、次いで「道路網の整備」が71.9%、「消防、防災体制の充実」が68.6%となっています。

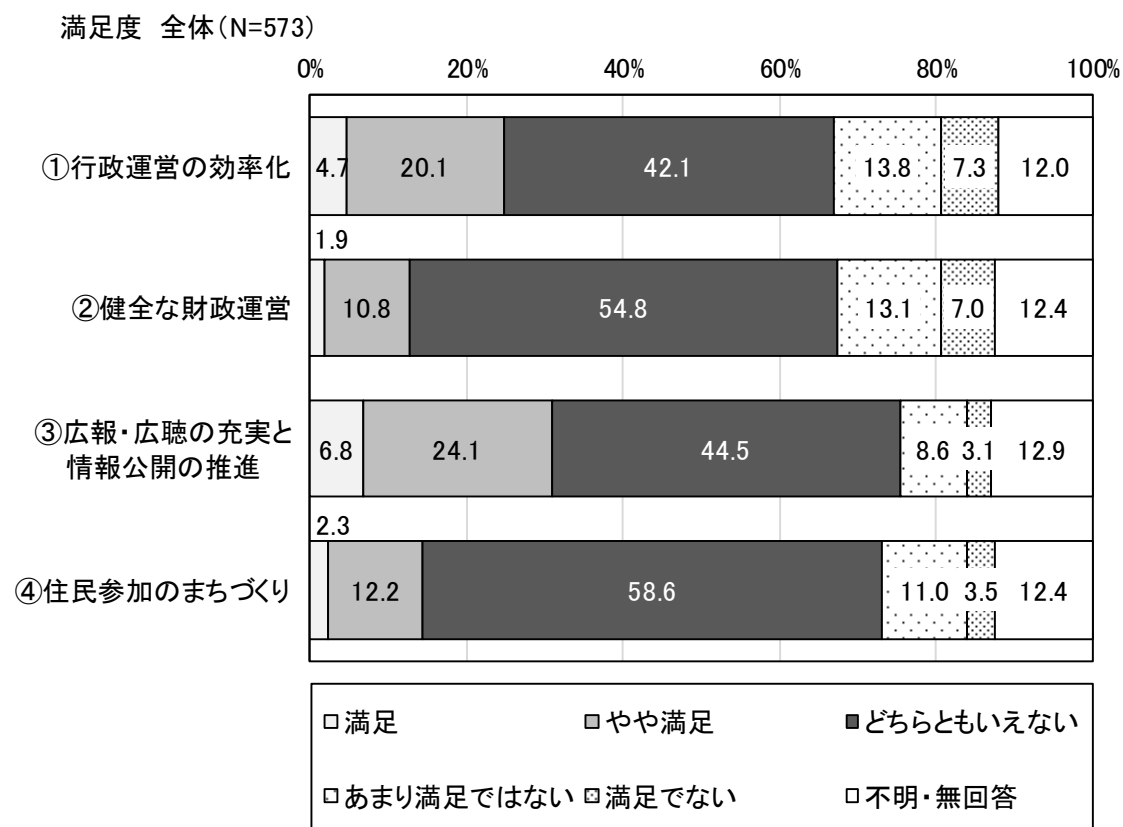
一方、「あまり重要でない」と「重要でない」の合計割合では、「公園の充実」が5.6%と最も高く、次いで「市街地・集落環境の充実」が2.6%、「公共交通機関の確保」が2.3%となっています。



H 行財政運営について（満足度と重要度について、それぞれ単数回答）

度会町の行財政運営への取組の満足度について、「満足」と「やや満足」の合計割合では、「広報・広聴の充実と情報公開の推進」が30.9%と最も高く、次いで「行政運営の効率化」が24.8%、「住民参加のまちづくり」が14.5%となっています。

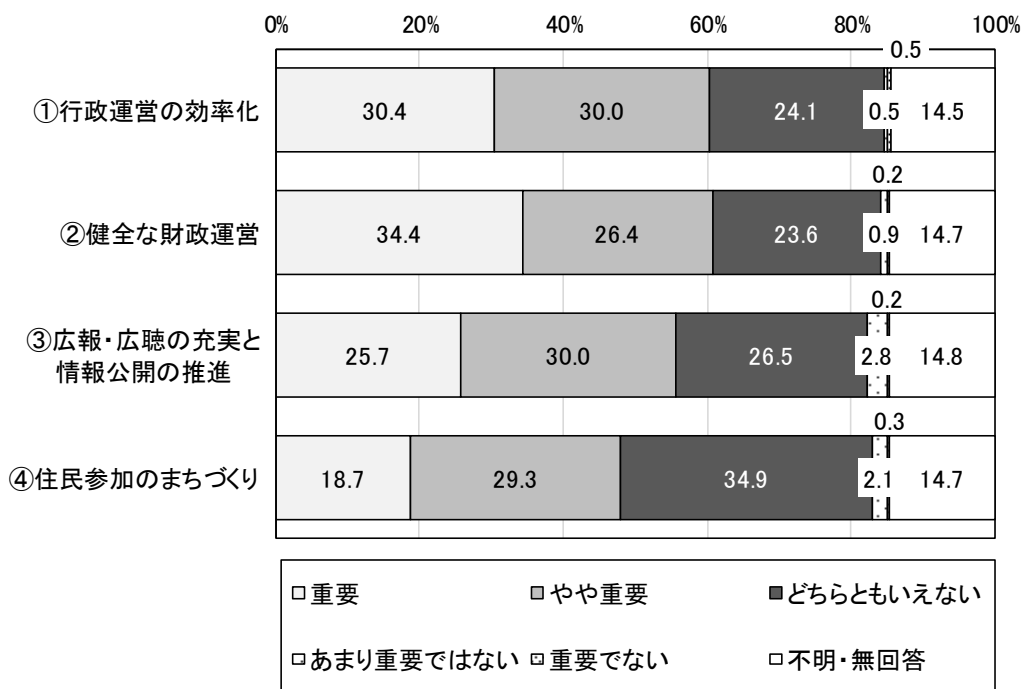
一方、「あまり満足ではない」と「満足でない」の合計割合では、「行政運営の効率化」が21.1%と最も高く、次いで「健全な財政運営」が20.1%、「住民参加のまちづくり」が14.5%となっています。



度会町の行財政運営への取組の重要度について、「重要」と「やや重要」の合計割合では、「健全な財政運営」が60.8%と最も高く、次いで「行政運営の効率化」が60.4%、「広報・広聴の充実と情報公開の推進」が55.7%となっています。

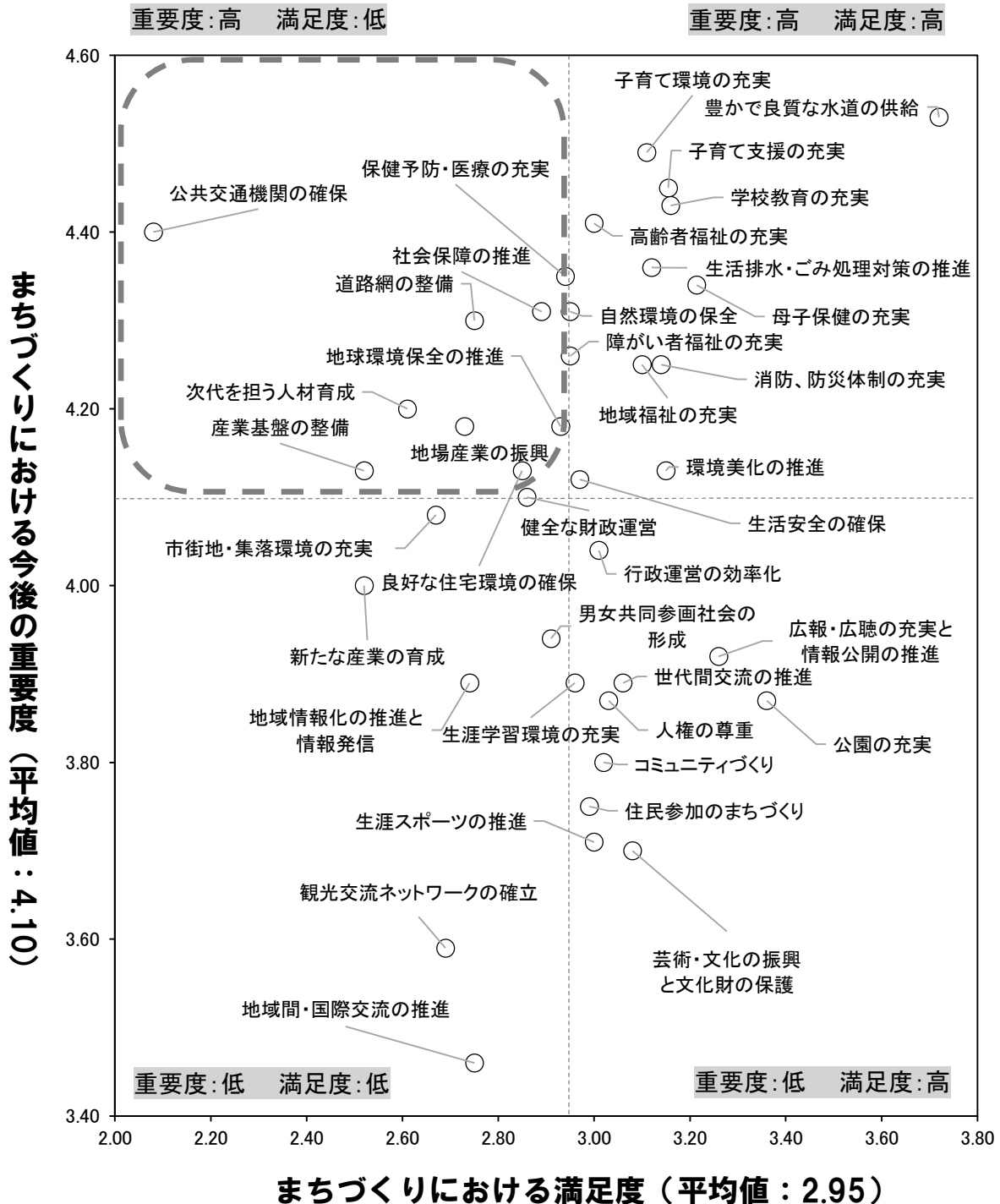
一方、「あまり重要でない」と「重要でない」の合計割合では、「広報・広聴の充実と情報公開の推進」が3.0%と最も高く、次いで「住民参加のまちづくり」が2.4%、「健全な財政運営」が1.1%となっています。

重要度 全体(N=573)



★まちづくりにおける重要度・満足度の分析

まちづくりに関する重要度と満足度の結果を見ると、『重要度が高く、満足度が低い』項目（下記グラフの左上のエリア）として、「公共交通機関の確保」や「産業基盤の整備」、「次代を担う人材育成」や「地場産業の振興」などが挙げられています。

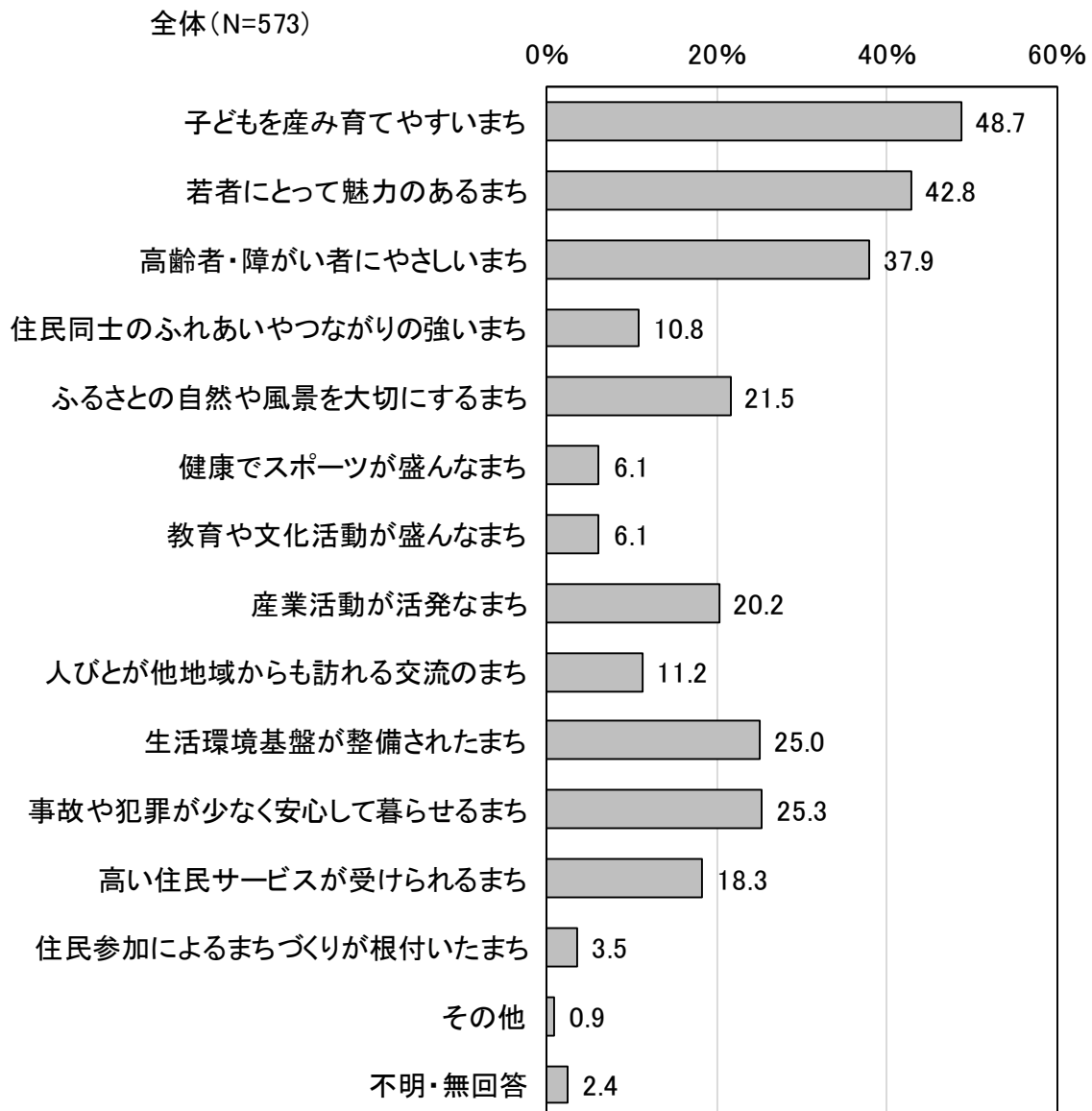


※上のグラフは、調査結果を得点化し、平均値をとって整理した結果を表しています。左上のエリアには今後優先的な対応が求められる項目、右上のエリアにはさらなる拡充が求められる項目、左下のエリアには周知啓発が求められる項目、右下のエリアには継続的な実施が求められる項目が含まれています。

4 今後のまちづくりの方向性について

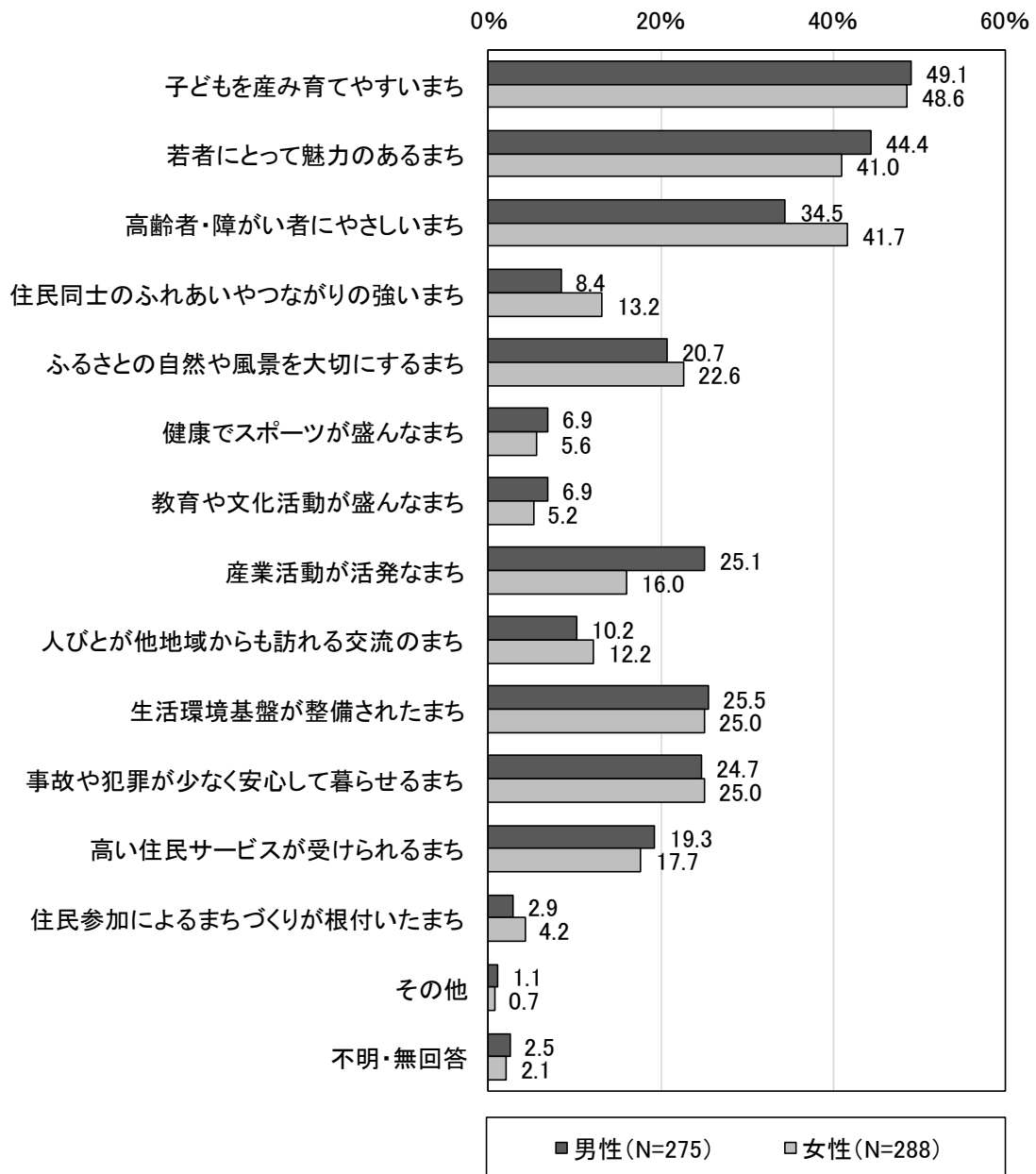
(1) あなたは、度会町がこれからのまちづくりを進めるにあたって、特に力を注いでいくべきことは何だと思えますか。(3つまで複数回答)

度会町がこれからのまちづくりを進めるにあたって、特に力を注いでいくべきことについては、「子どもを産み育てやすいまち」が48.7%と最も高く、次いで「若者にとって魅力のあるまち」が42.8%、「高齢者・障がい者にやさしいまち」が37.9%となっています。



(1) ×性別

男女別にみると、男女ともに「子どもを産み育てやすいまち」が最も高くなっています。



(1) ×年齢

年齢別にみると、69歳以下は「子どもを産み育てやすいまち」、70歳以上は「高齢者・障がい者にやさしいまち」が最も高くなっています。

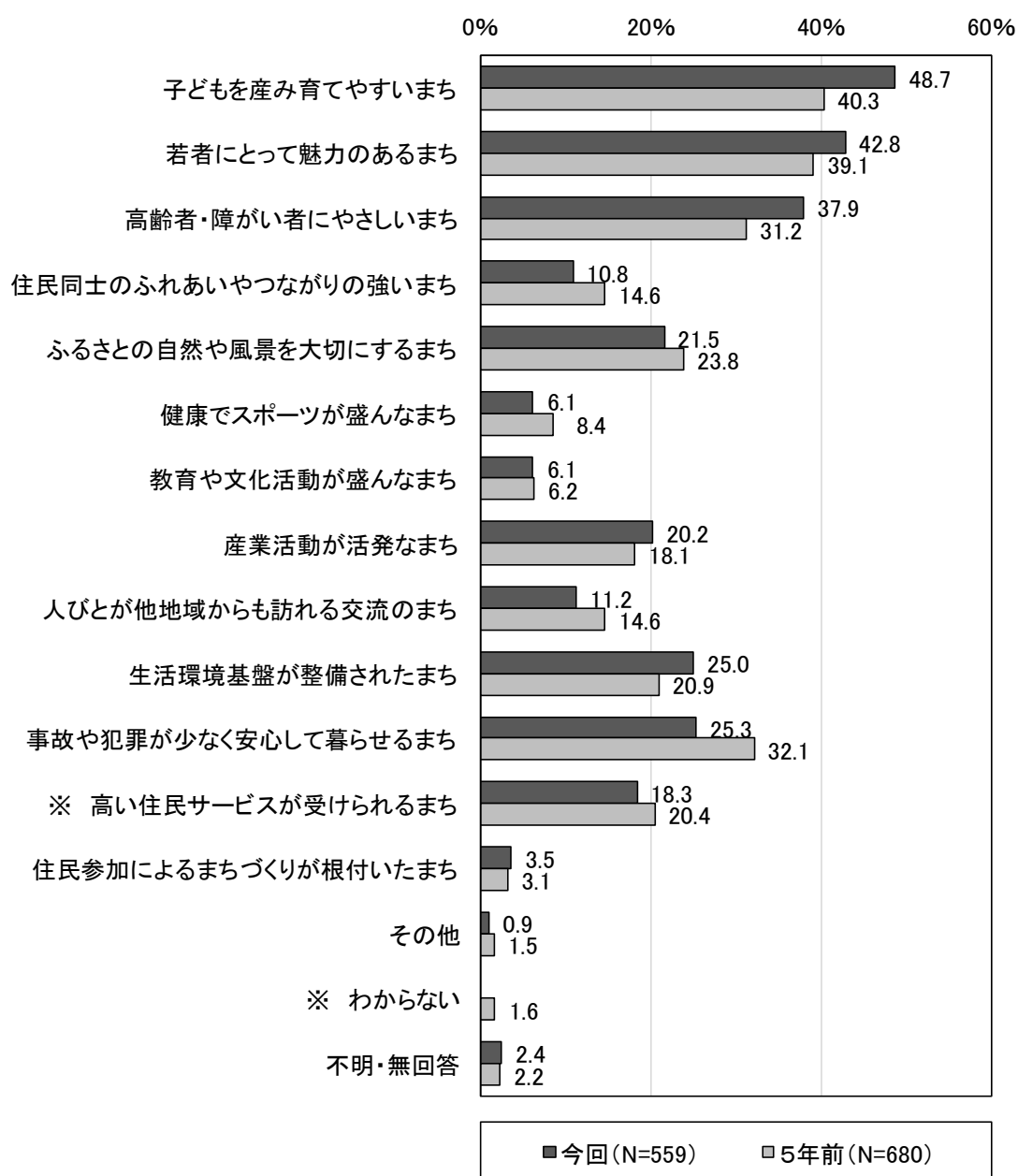
単位 (%)

	20歳未満 (N=4)	20～29歳 (N=36)	30～39歳 (N=60)	40～49歳 (N=74)
子どもを産み育てやすいまち	50.0	61.1	73.3	51.4
若者にとって魅力のあるまち	25.0	58.3	43.3	36.5
高齢者・障がい者にやさしいまち	0.0	22.2	25.0	32.4
住民同士のふれあいやつながりの強いまち	0.0	8.3	15.0	6.8
ふるさとの自然や風景を大切にすまち	0.0	22.2	18.3	20.3
健康でスポーツが盛んなまち	25.0	8.3	5.0	10.8
教育や文化活動が盛んなまち	0.0	8.3	11.7	9.5
産業活動が活発なまち	0.0	11.1	13.3	23.0
人びとが他地域からも訪れる交流のまち	0.0	13.9	11.7	10.8
生活環境基盤が整備されたまち	0.0	22.2	18.3	18.9
事故や犯罪が少なく安心して暮らせるまち	50.0	30.6	21.7	24.3
高い住民サービスが受けられるまち	50.0	19.4	20.0	23.0
住民参加によるまちづくりが根付いたまち	0.0	0.0	1.7	0.0
その他	0.0	0.0	1.7	0.0
不明・無回答	0.0	0.0	1.7	0.0

	50～59歳 (N=95)	60～69歳 (N=154)	70歳以上 (N=141)
子どもを産み育てやすいまち	52.6	47.4	33.3
若者にとって魅力のあるまち	50.5	39.6	39.7
高齢者・障がい者にやさしいまち	45.3	39.6	46.1
住民同士のふれあいやつながりの強いまち	5.3	9.7	16.3
ふるさとの自然や風景を大切にすまち	15.8	24.7	24.1
健康でスポーツが盛んなまち	7.4	2.6	6.4
教育や文化活動が盛んなまち	3.2	3.9	5.7
産業活動が活発なまち	22.1	22.1	22.0
人びとが他地域からも訪れる交流のまち	13.7	8.4	12.1
生活環境基盤が整備されたまち	24.2	38.3	19.1
事故や犯罪が少なく安心して暮らせるまち	25.3	25.3	24.1
高い住民サービスが受けられるまち	17.9	18.2	15.6
住民参加によるまちづくりが根付いたまち	5.3	4.5	5.0
その他	0.0	0.0	2.8
不明・無回答	2.1	2.6	4.3

(1) ×経年

経年でみると、今回調査、5年前調査ともに「子どもを産み育てやすいまち」が最も高くなっています。



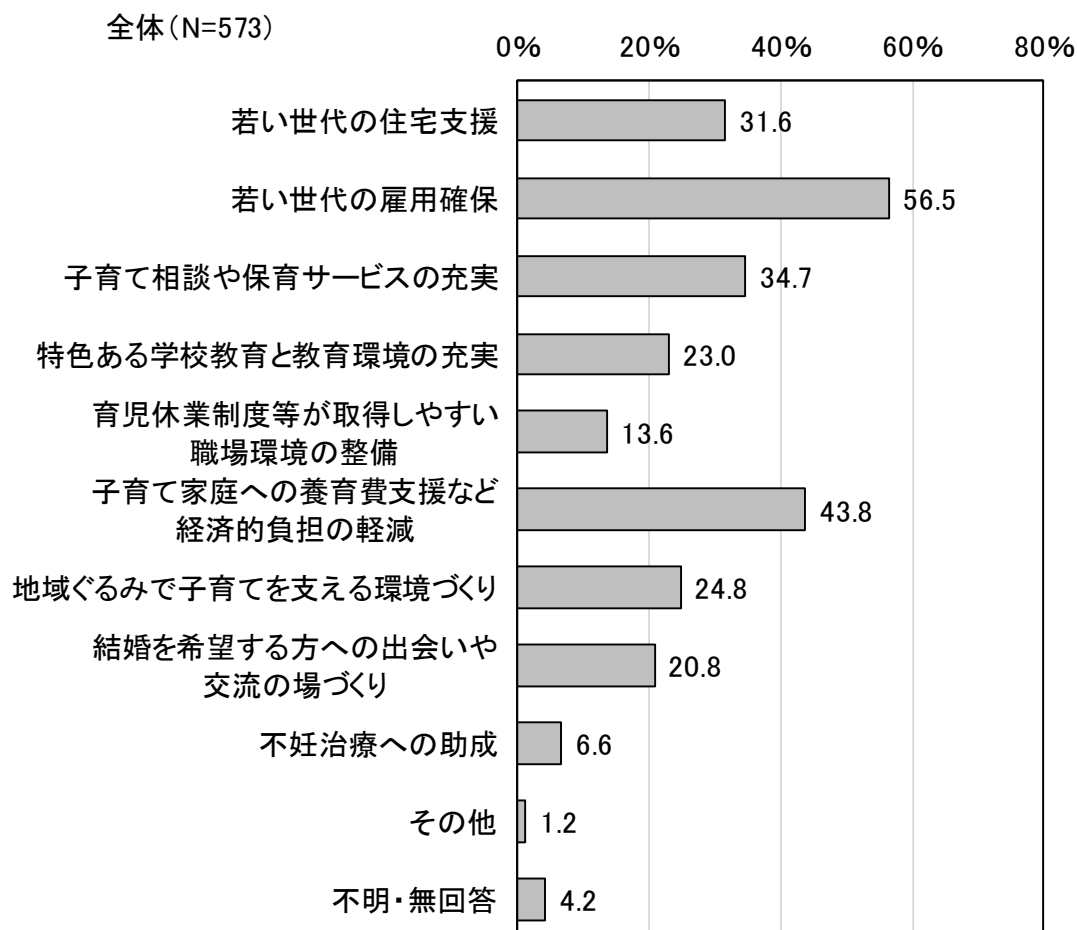
※ 『高い住民サービスが受けられるまち』は、5年前調査では『行政の効率化による高い住民サービスが受けられるまち』

※ 『わからない』は5年前調査のみの選択肢

(2) 少子化対策として、どのようなところに力を入れるべきだと思いますか。

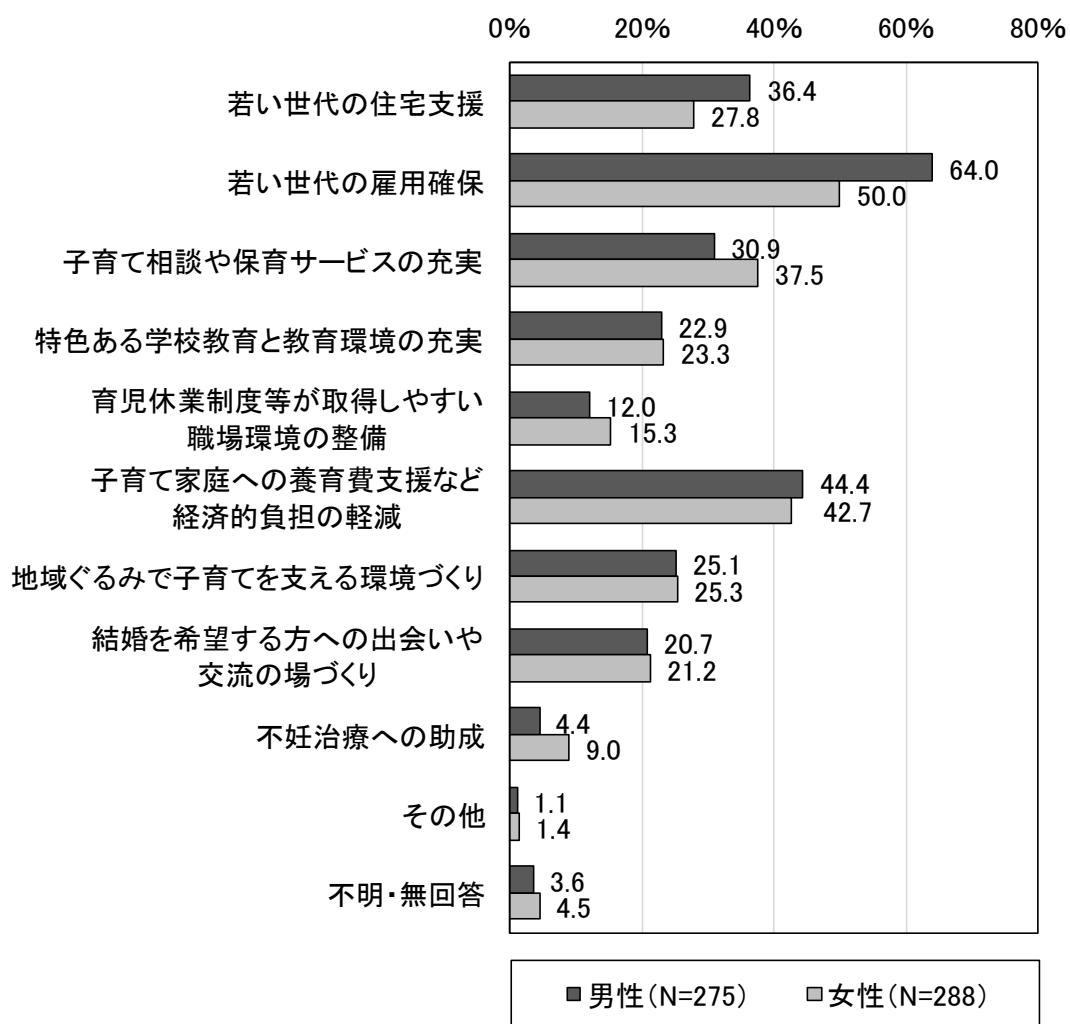
(3つまで複数回答)

少子化対策として、力を入れるべき取組については、「若い世代の雇用確保」が56.5%と最も高く、次いで「子育て家庭への養育費支援など経済的負担の軽減」が43.8%、「子育て相談や保育サービスの充実」が34.7%となっています。



(2) ×性別

男女別にみると、男女ともに「若い世代の雇用確保」が最も高くなっています。



(2) ×年齢

年齢別にみると、20歳から49歳は「子育て家庭への養育費支援など経済的負担の軽減」、50歳以上は「若い世代の雇用確保」が最も高くなっています。

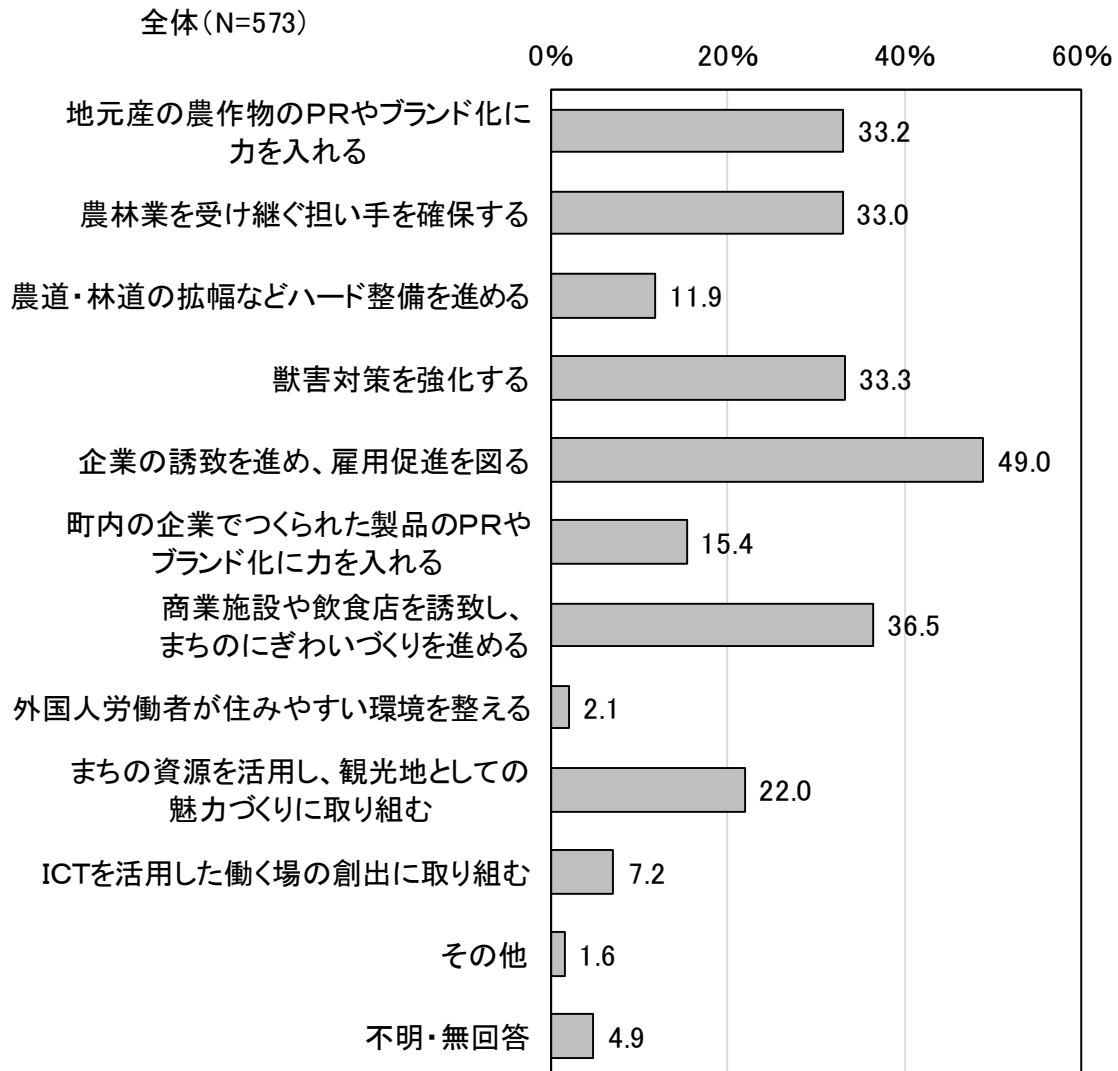
単位 (%)

	20歳未満 (N=4)	20～29歳 (N=36)	30～39歳 (N=60)	40～49歳 (N=74)
若い世代の住宅支援	25.0	55.6	38.3	29.7
若い世代の雇用確保	25.0	36.1	48.3	45.9
子育て相談や保育サービスの充実	50.0	33.3	40.0	36.5
特色ある学校教育と教育環境の充実	0.0	27.8	25.0	39.2
育児休業制度等が取得しやすい職場環境の整備	0.0	11.1	18.3	5.4
子育て家庭への養育費支援など経済的負担の軽減	50.0	55.6	58.3	52.7
地域ぐるみで子育てを支える環境づくり	0.0	22.2	18.3	21.6
結婚を希望する方への出会いや交流の場づくり	25.0	22.2	16.7	6.8
不妊治療への助成	0.0	8.3	13.3	14.9
その他	0.0	0.0	1.7	2.7
不明・無回答	0.0	0.0	1.7	1.4

	50～59歳 (N=95)	60～69歳 (N=154)	70歳以上 (N=141)
若い世代の住宅支援	40.0	27.3	24.8
若い世代の雇用確保	60.0	66.9	59.6
子育て相談や保育サービスの充実	32.6	37.7	28.4
特色ある学校教育と教育環境の充実	23.2	17.5	19.1
育児休業制度等が取得しやすい職場環境の整備	16.8	14.3	14.2
子育て家庭への養育費支援など経済的負担の軽減	43.2	33.8	40.4
地域ぐるみで子育てを支える環境づくり	26.3	31.8	22.7
結婚を希望する方への出会いや交流の場づくり	16.8	24.0	29.1
不妊治療への助成	7.4	5.8	0.0
その他	0.0	1.3	1.4
不明・無回答	2.1	2.6	10.6

(3) 度会町の産業振興に向けて、重要と考える取組は何ですか。(3つまで複数回答)

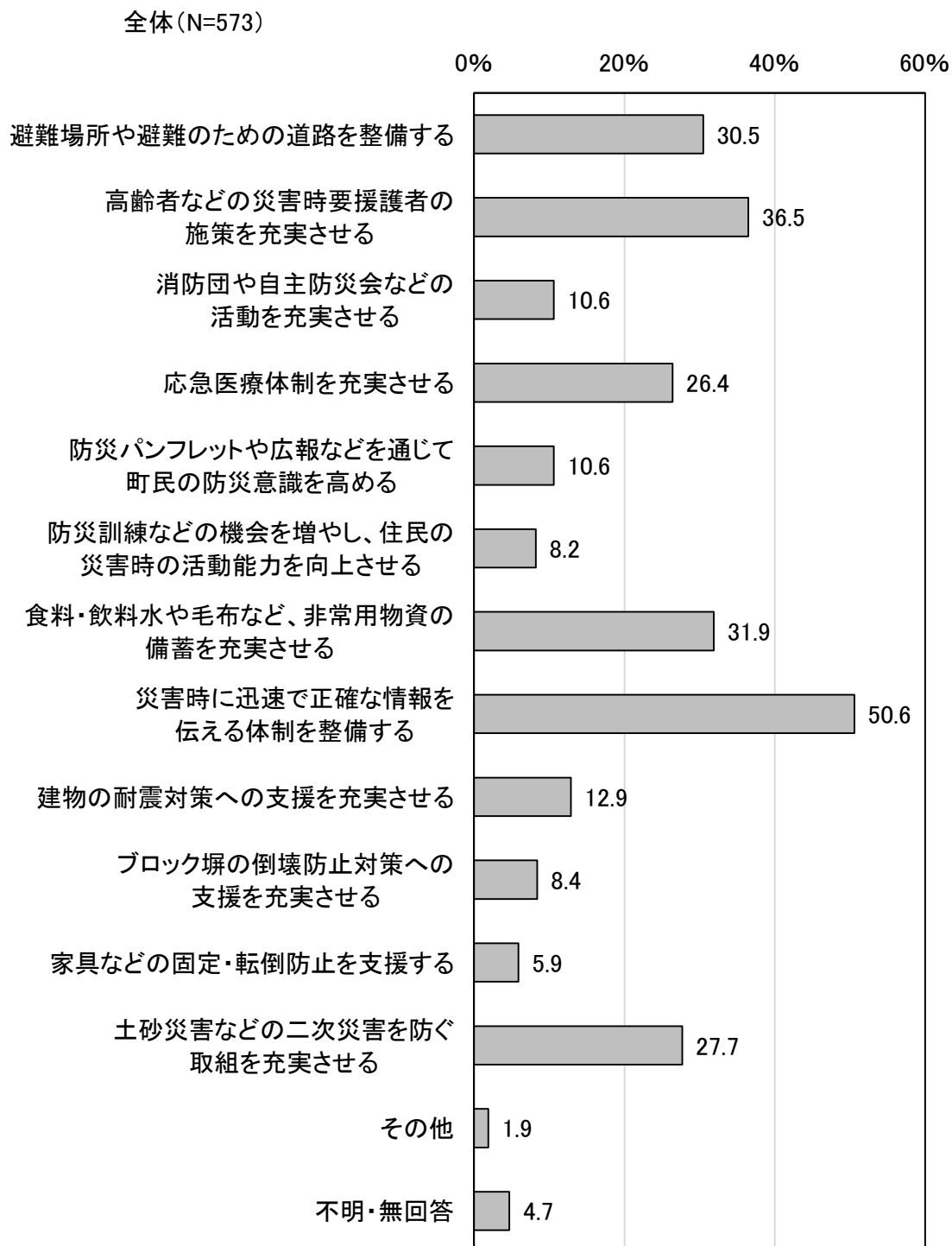
度会町の産業振興に向けて、重要と考える取組については、「企業の誘致を進め、雇用促進を図る」が49.0%と最も高く、次いで「商業施設や飲食店を誘致し、まちのにぎわいづくりを進める」が36.5%、「獣害対策を強化する」が33.3%となっています。



(4) 度会町の災害対策として、今後特に重要と考える取組はどれですか。

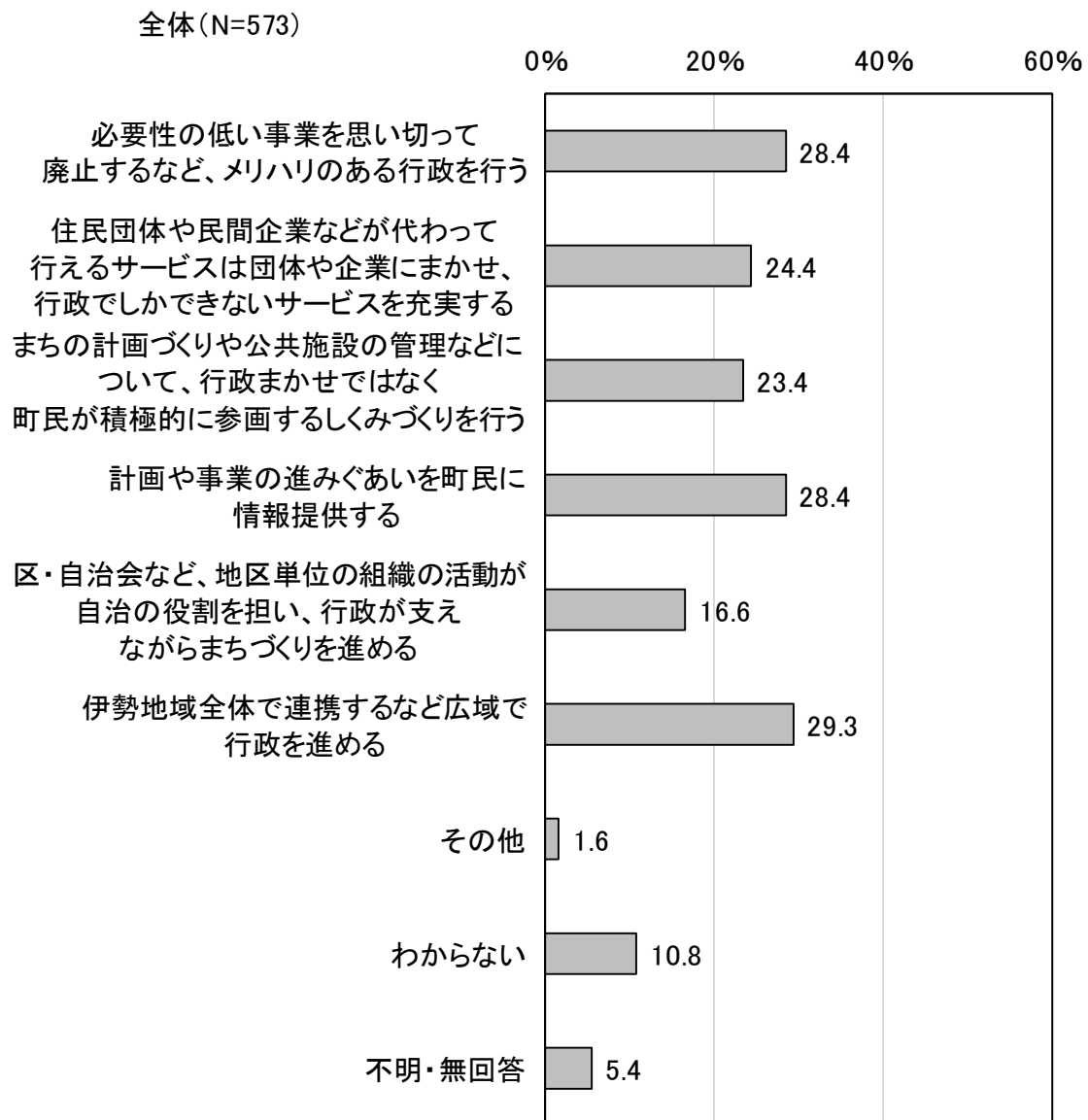
(3 つまで複数回答)

度会町の災害対策として、今後特に重要と考える取組については、「災害時に迅速で正確な情報を伝える体制を整備する」が 50.6%と最も高く、次いで「高齢者などの災害時要援護者の施策を充実させる」が 36.5%、「食料・飲料水や毛布など、非常用物資の備蓄を充実させる」が 31.9%となっています。



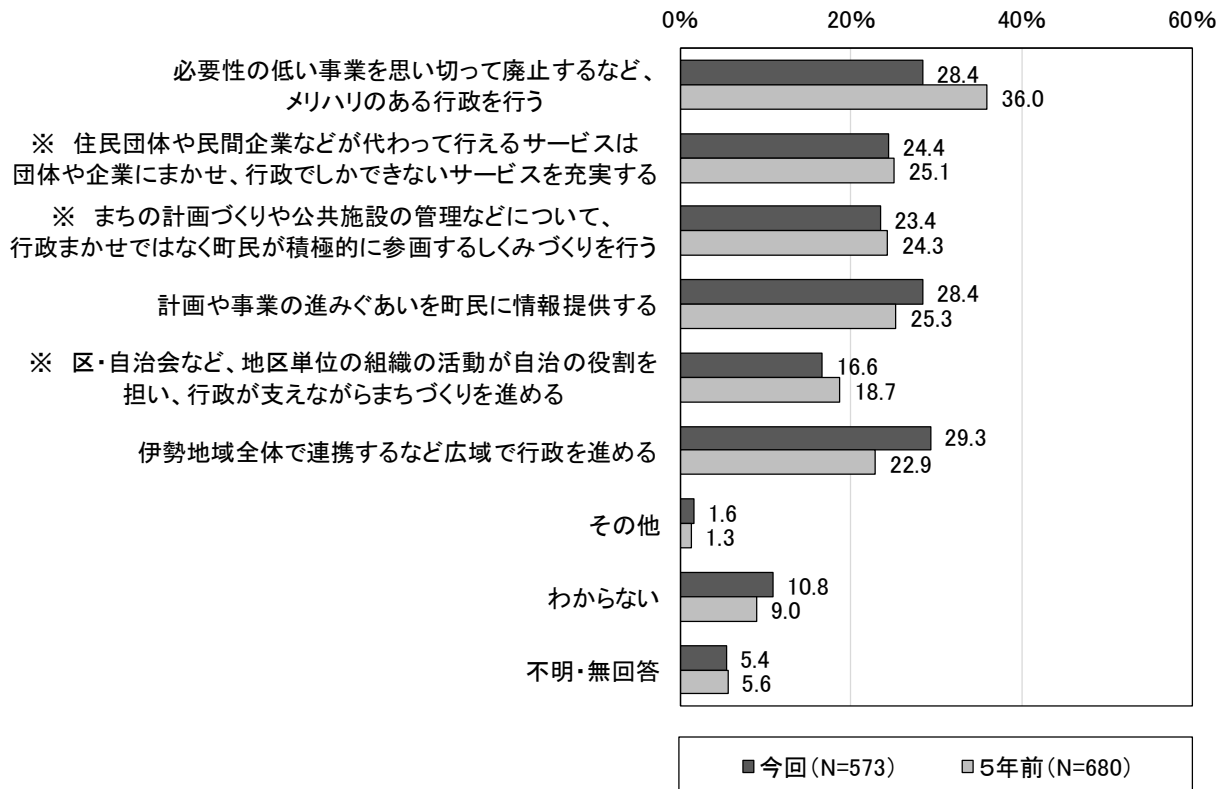
(5) これからの時代においては、行政のあり方が大きく変わっていくことも考えられます。そのようななか、度会町は何を重視すべきだと思いますか。(2つまで複数回答)

度会町が今後重視すべき取組については、「伊勢地域全体で連携するなど広域で行政を進める」が29.3%と最も高く、次いで「必要性の低い事業を思い切って廃止するなど、メリハリのある行政を行う」と「計画や事業の進みぐあいを町民に情報提供する」が28.4%、「住民団体や民間企業などが代わって行えるサービスは団体や企業にまかせ、行政でしかできないサービスを充実する」が24.4%となっています。



(5) ×経年

経年でみると、今回調査は「伊勢地域全体で連携するなど広域で行政を進める」、5年前調査は「必要性の低い事業を思い切って廃止するなど、メリハリのある行政を行う」が最も高くなっています。

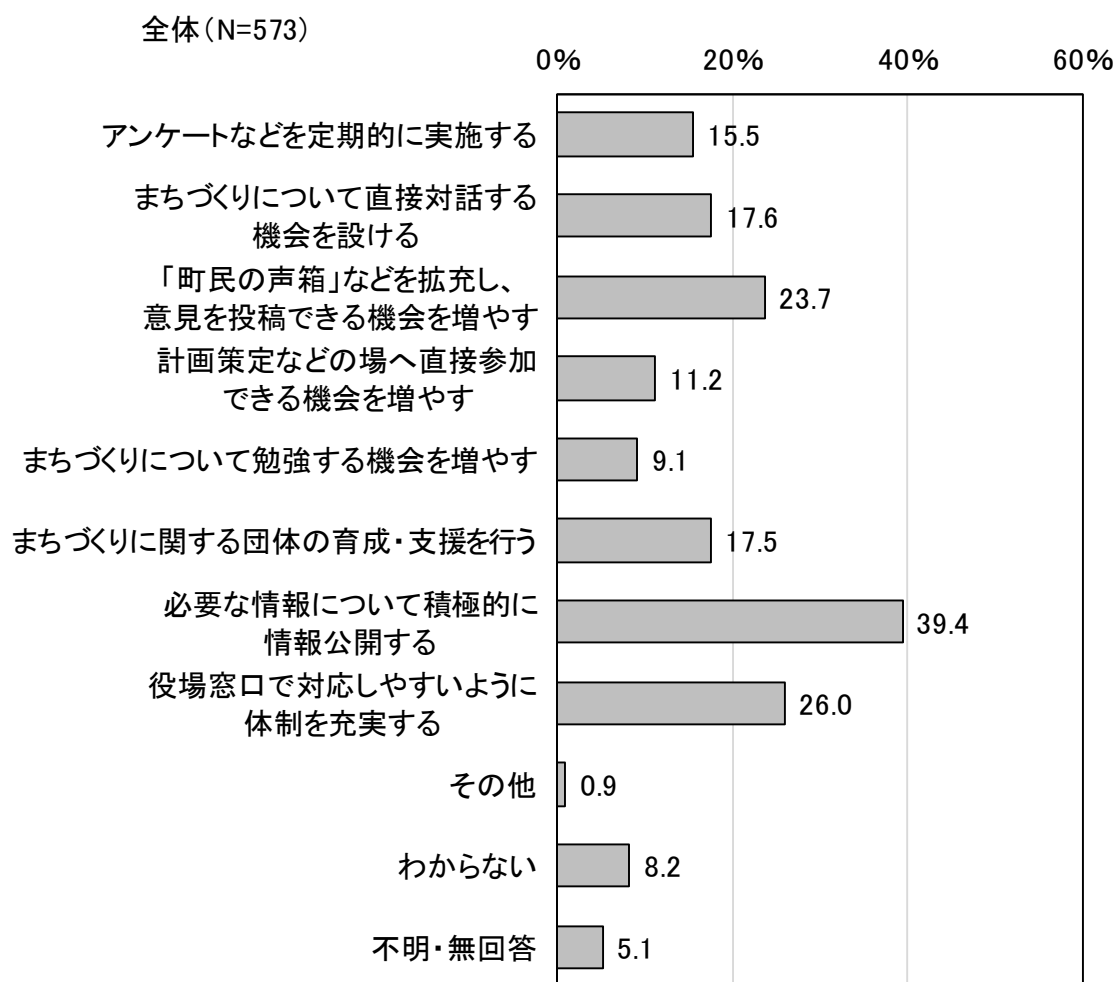


- ※ 『住民団体や民間企業などが代わって行えるサービスは団体や企業にまかせ、行政でしかできないサービスを充実する』は5年前調査では『市民団体や民間企業などが代わって行えるサービスは団体や企業にまかせ、行政でしかできないサービスを充実する』
- ※ 『まちの計画づくりや公共施設の管理などについて、行政まかせではなく町民が積極的に参画するしくみづくりを行う』は5年前調査では『まちの計画づくりや公共施設の管理などについて、行政まかせではなく住民が積極的に参画するしくみづくりを行う』
- ※ 『区・自治会など、地区単位の組織の活動が自治の役割を担い、行政が支えながらまちづくりを進める』は5年前調査では『自治会やコミュニティなど、地区単位の組織の活動が自治の役割を担い、行政が支えながらまちづくりを進める』

5 共生・協働のまちづくりについて

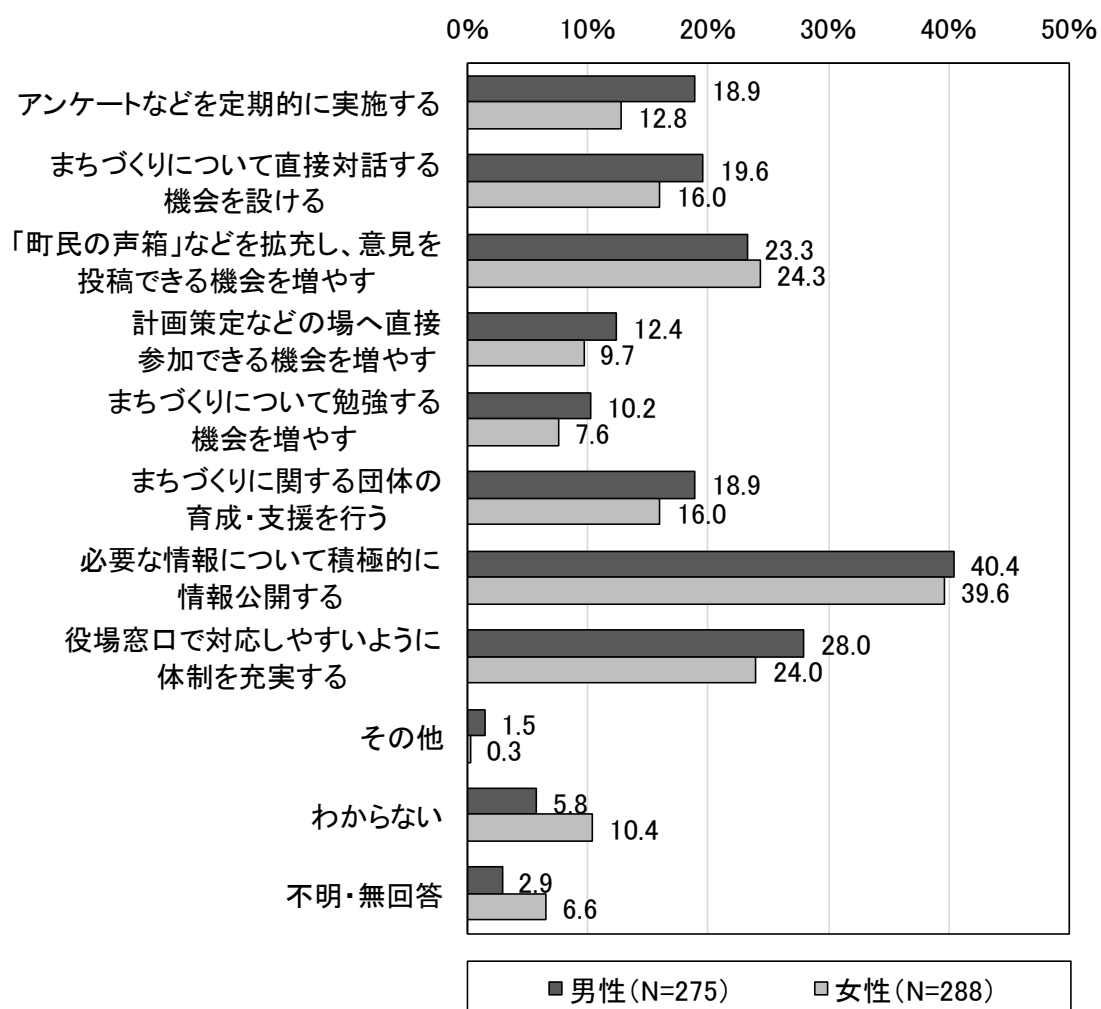
(1) あなたは、町政への住民参加を積極的に進めるためには、どのような方法がよいと思いますか。(2つまで複数回答)

町政への住民参加を積極的に進めるために、よいと思う方法については、「必要な情報について積極的に情報公開する」が39.4%と最も高く、次いで「役場窓口で対応しやすいように体制を充実する」が26.0%、「町民の声箱」などを拡充し、意見を投稿できる機会を増やす」が23.7%となっています。



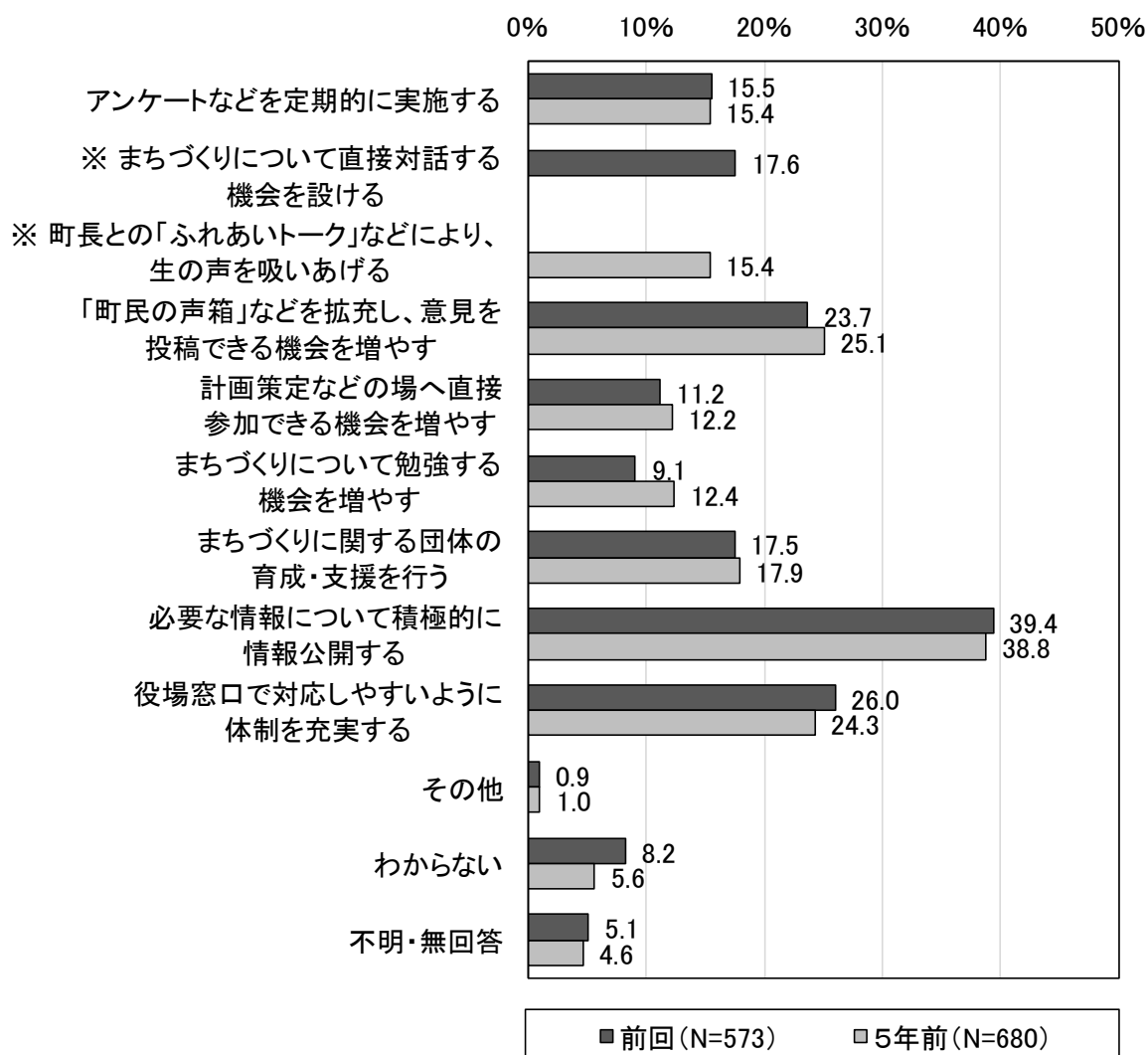
(1) ×性別

男女別にみると、男女ともに「必要な情報について積極的に情報公開する」が最も高くなっています。



(1) ×経年

経年でみると、今回調査、5年前調査ともに「必要な情報について積極的に情報公開する」が最も高くなっています。



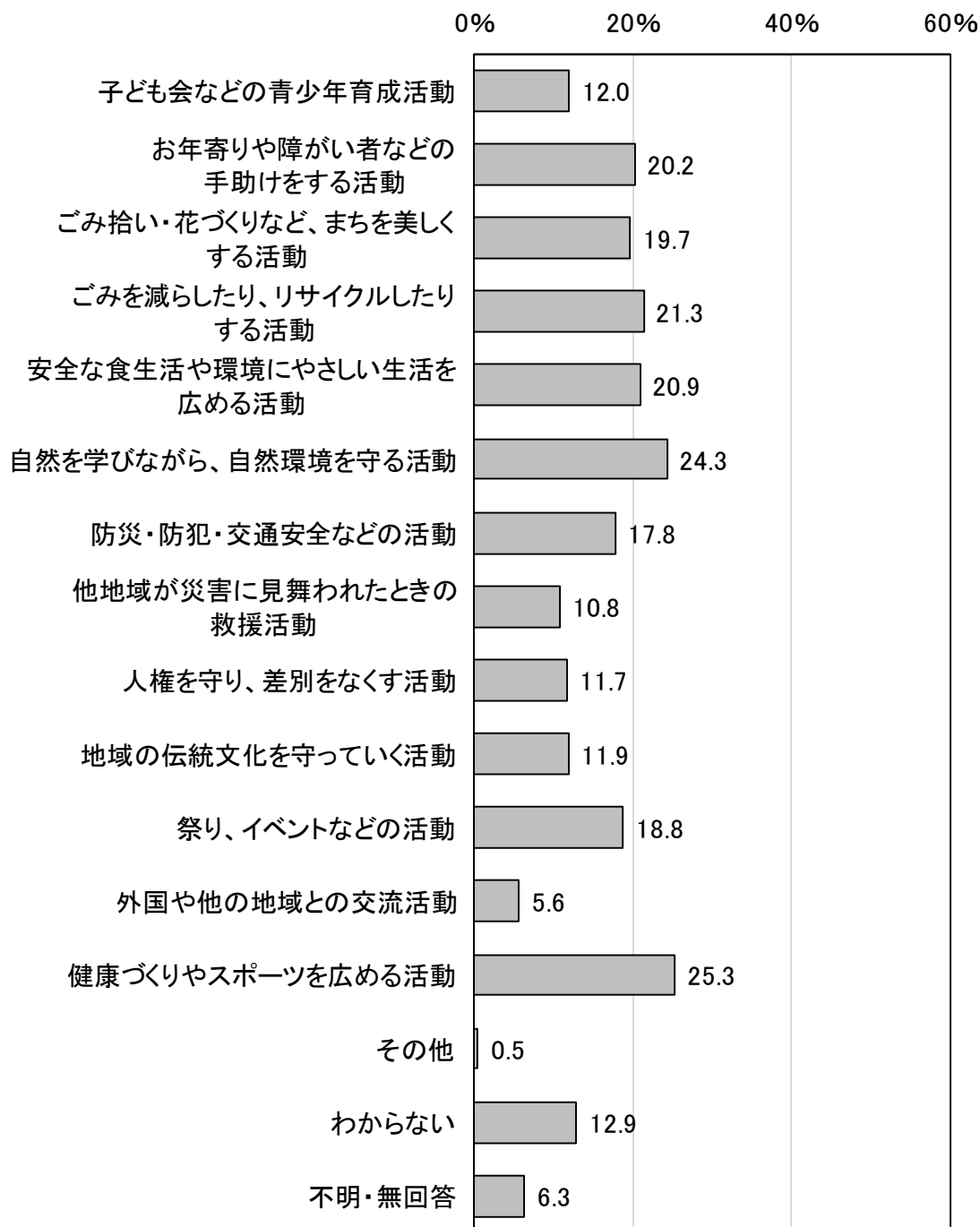
※『まちづくりについて直接対話する機会を設ける』は今回調査のみの選択肢

※『町長との「ふれあいトーク」などにより、生の声を吸いあげる』は5年前調査のみの選択肢

(2) あなたは、地域における社会活動について、どのような活動なら今後参加してみたいと思いますか。(複数回答)

どのような社会活動なら今後参加してみたいかについては、「健康づくりやスポーツを広める活動」が25.3%と最も高く、次いで「自然を学びながら、自然環境を守る活動」が24.3%、「ごみを減らしたり、リサイクルしたりする活動」が21.3%となっています。

全体(N=573)



(2) ×年齢

年齢別にみると、39歳以下は「祭り、イベントなどの活動」、40歳から59歳は「自然を学びながら、自然環境を守る活動」、60歳から69歳は「健康づくりやスポーツを広める活動」、70歳以上は「ごみを減らしたり、リサイクルしたりする活動」が最も高くなっています。

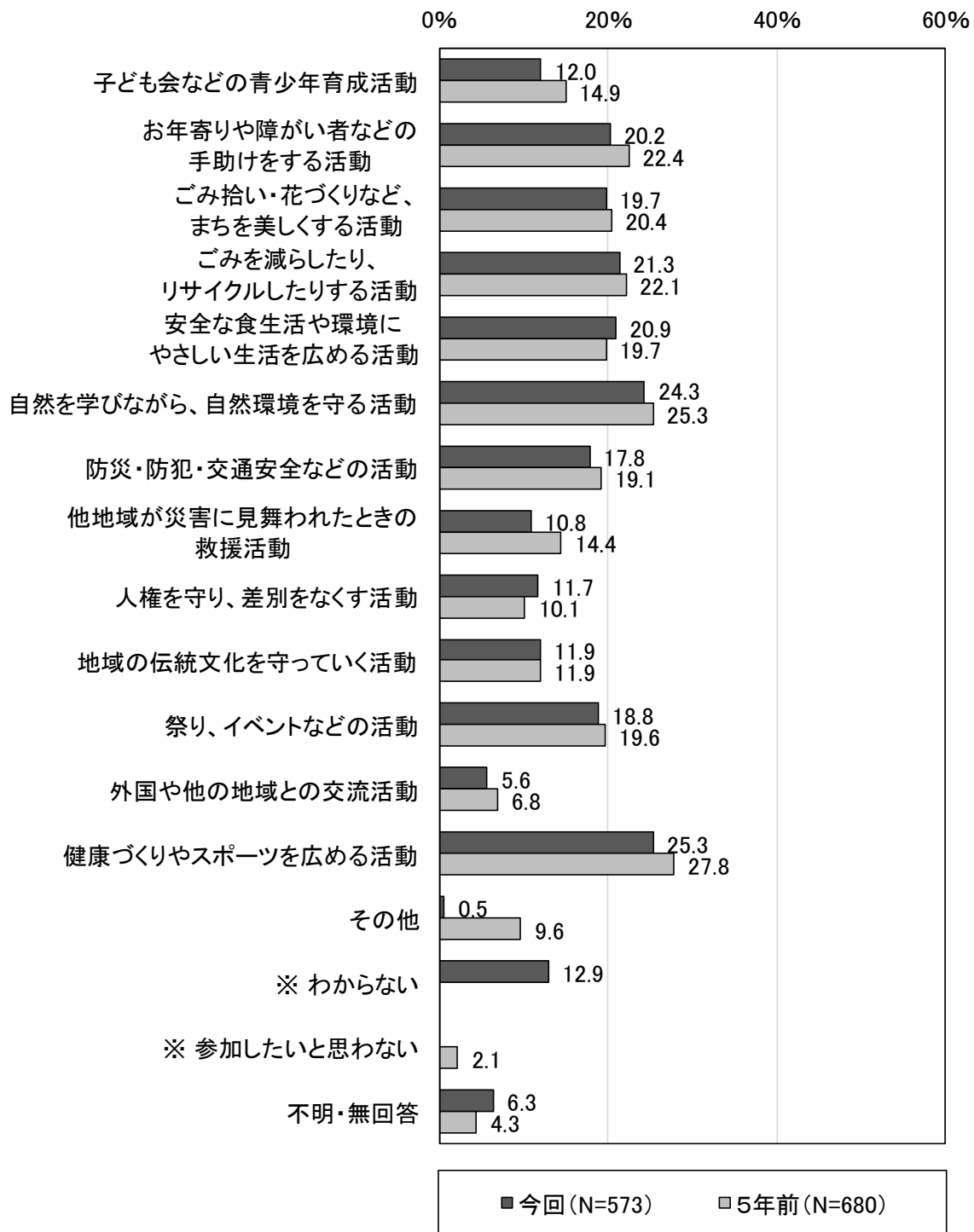
単位 (%)

	20歳未満 (N=4)	20～29歳 (N=36)	30～39歳 (N=60)	40～49歳 (N=74)
子ども会などの青少年育成活動	0.0	13.9	23.3	20.3
お年寄りや障がい者などの手助けをする活動	0.0	16.7	21.7	20.3
ごみ拾い・花づくりなど、まちを美しくする活動	25.0	19.4	18.3	14.9
ごみを減らしたり、リサイクルしたりする活動	25.0	22.2	18.3	17.6
安全な食生活や環境にやさしい生活を広める活動	0.0	11.1	20.0	16.2
自然を学びながら、自然環境を守る活動	50.0	13.9	21.7	27.0
防災・防犯・交通安全などの活動	25.0	11.1	25.0	18.9
他地域が災害に見舞われたときの救援活動	0.0	8.3	6.7	13.5
人権を守り、差別をなくす活動	0.0	13.9	15.0	9.5
地域の伝統文化を守っていく活動	0.0	8.3	15.0	12.2
祭り、イベントなどの活動	75.0	33.3	38.3	21.6
外国や他の地域との交流活動	0.0	5.6	13.3	13.5
健康づくりやスポーツを広める活動	25.0	22.2	20.0	24.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	25.0	22.2	15.0	12.2
不明・無回答	0.0	8.3	3.3	5.4

	50～59歳 (N=95)	60～69歳 (N=154)	70歳以上 (N=141)
子ども会などの青少年育成活動	9.5	11.0	6.4
お年寄りや障がい者などの手助けをする活動	18.9	24.0	18.4
ごみ拾い・花づくりなど、まちを美しくする活動	15.8	23.4	21.3
ごみを減らしたり、リサイクルしたりする活動	12.6	26.0	25.5
安全な食生活や環境にやさしい生活を広める活動	26.3	25.3	18.4
自然を学びながら、自然環境を守る活動	31.6	26.0	19.1
防災・防犯・交通安全などの活動	17.9	20.8	12.8
他地域が災害に見舞われたときの救援活動	15.8	10.4	9.9
人権を守り、差別をなくす活動	9.5	13.0	11.3
地域の伝統文化を守っていく活動	12.6	12.3	9.9
祭り、イベントなどの活動	12.6	11.7	14.9
外国や他の地域との交流活動	0.0	5.2	2.8
健康づくりやスポーツを広める活動	29.5	28.6	22.7
その他	0.0	1.3	0.7
わからない	12.6	10.4	13.5
不明・無回答	3.2	2.6	12.1

(2) ×経年

経年でみると、今回調査、5年前調査ともに「健康づくりやスポーツを広める活動」が最も高くなっています。

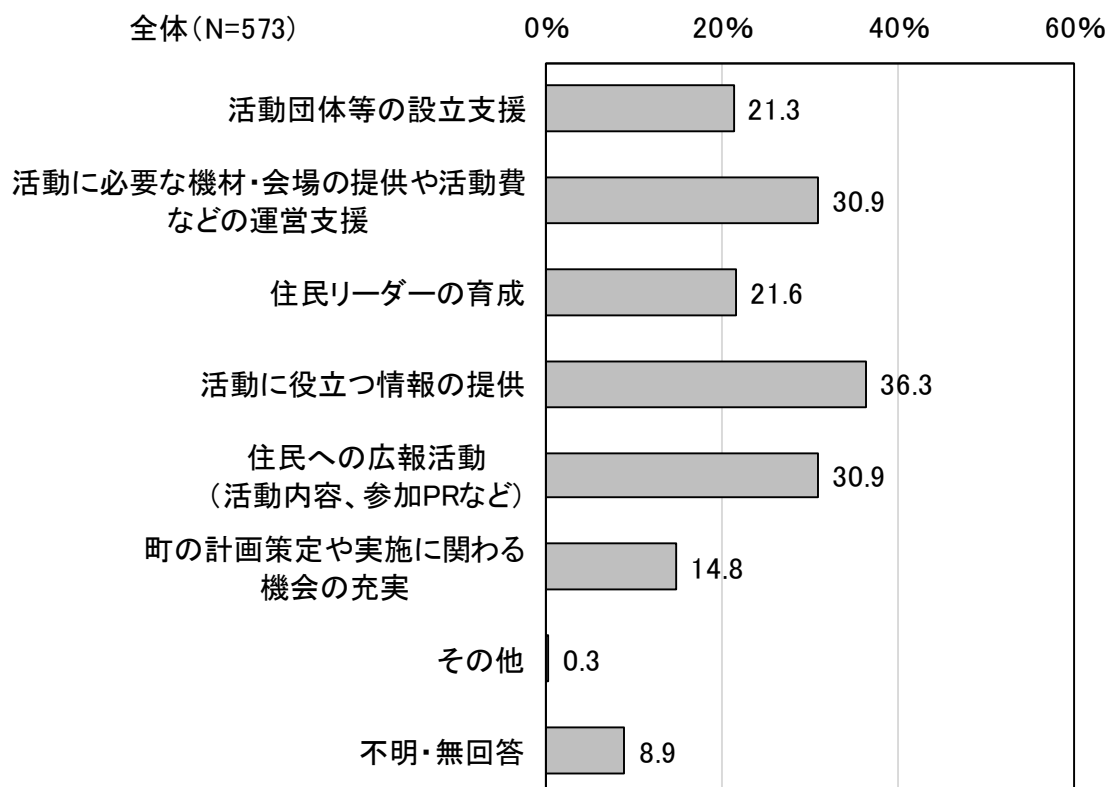


※ 『わからない』は今回調査のみの選択肢

※ 『参加したいと思わない』は5年前調査のみの選択肢

(3) 地域における社会活動がより活発になるために、町はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(2つまで複数回答)

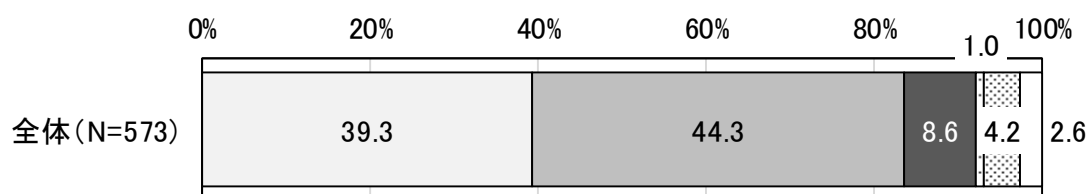
地域における社会活動がより活発になるために、町が力を入れるべき取組については、「活動に役立つ情報の提供」が36.3%と最も高く、次いで「活動に必要な機材・会場の提供や活動費などの運営支援」と「住民への広報活動（活動内容、参加PRなど）」が30.9%、「住民リーダーの育成」が21.6%となっています。



6 人口減少について

(1) 少子高齢化の進行と人口減少が全国的な課題となっており、度会町でも平成 12 年をピークに人口は減少に転じています。あなたは、人口減少が進むことに対して、まちの将来に不安はありますか。(単数回答)

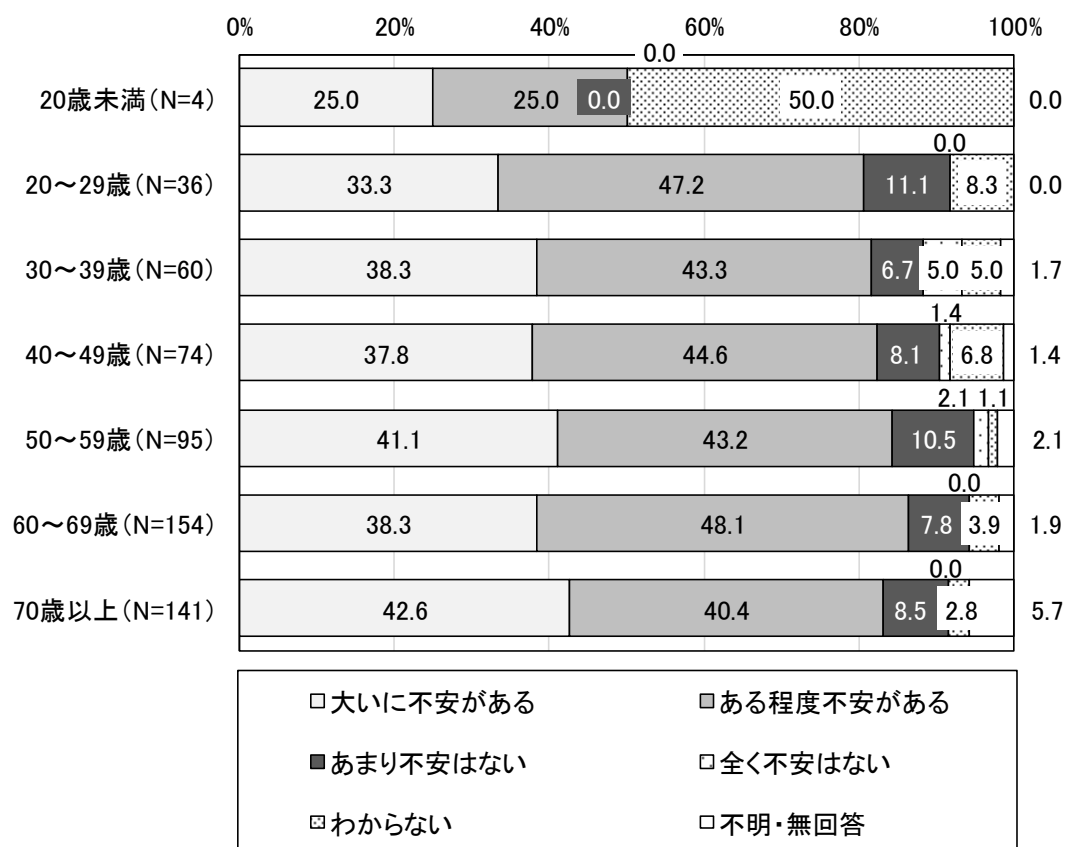
人口減少が進むことに対して、まちの将来に不安はあるかについては、「ある程度不安がある」が 44.3%と最も高く、次いで「大いに不安がある」が 39.3%、「あまり不安はない」が 8.6%となっています。



- 大いに不安がある ある程度不安がある あまり不安はない
- 全く不安はない わからない 不明・無回答

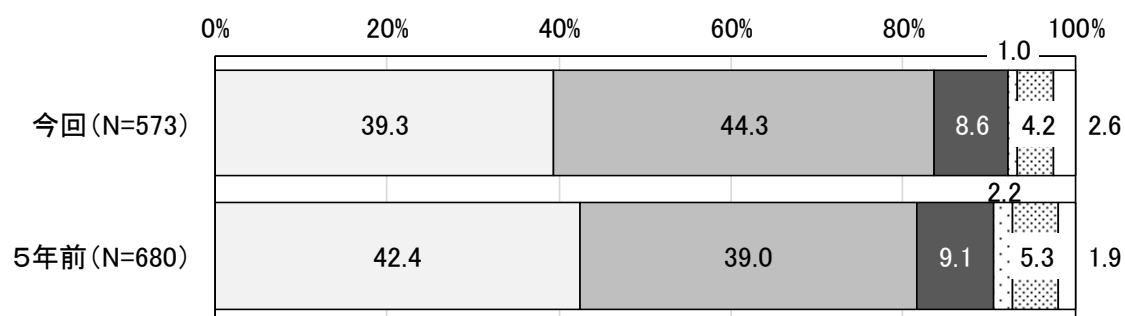
(1) ×年齢

年齢別にみると、20歳以上は「ある程度不安がある」が最も高くなっています。



(1) ×経年

経年でみると、今回調査は「ある程度不安がある」、5年前調査は「大いに不安がある」が最も高くなっています。

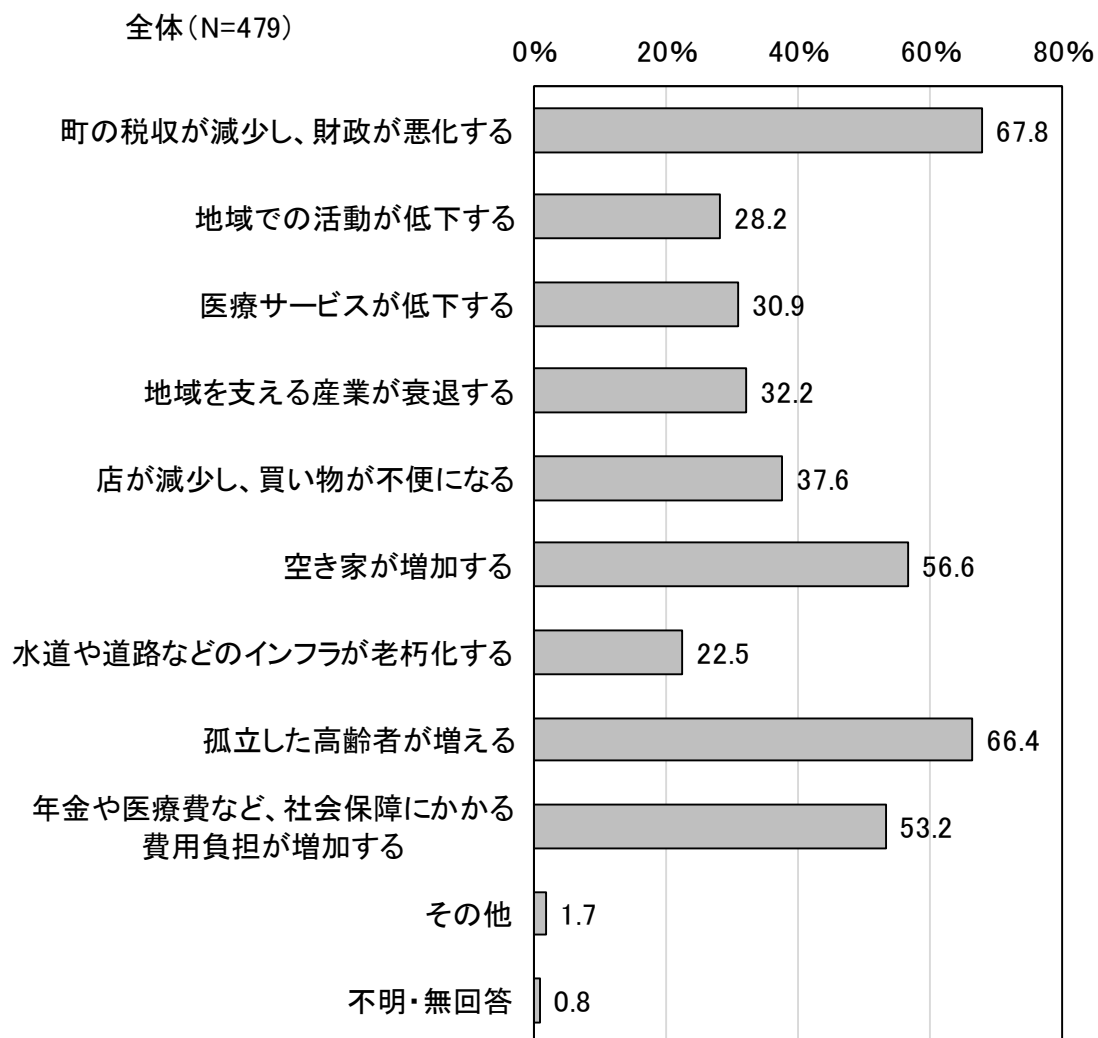


- | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大いに不安がある | <input type="checkbox"/> ある程度不安がある | <input type="checkbox"/> あまり不安はない |
| <input type="checkbox"/> 全く不安はない | <input type="checkbox"/> わからない | <input type="checkbox"/> 不明・無回答 |

(1) で「大いに不安がある」「ある程度不安がある」を選んだ方

(1-1) 不安の具体的な内容について教えてください。(複数回答)

人口減少が進むことに対して、不安の具体的な内容については、「町の税収が減少し、財政が悪化する」が67.8%と最も高く、次いで「孤立した高齢者が増える」が66.4%、「空き家が増加する」が56.6%となっています。



(1-1) ×年齢

年齢別にみると、20歳から69歳は「町の税収が減少し、財政が悪化する」、70歳以上は「孤立した高齢者が増える」が最も高くなっています。

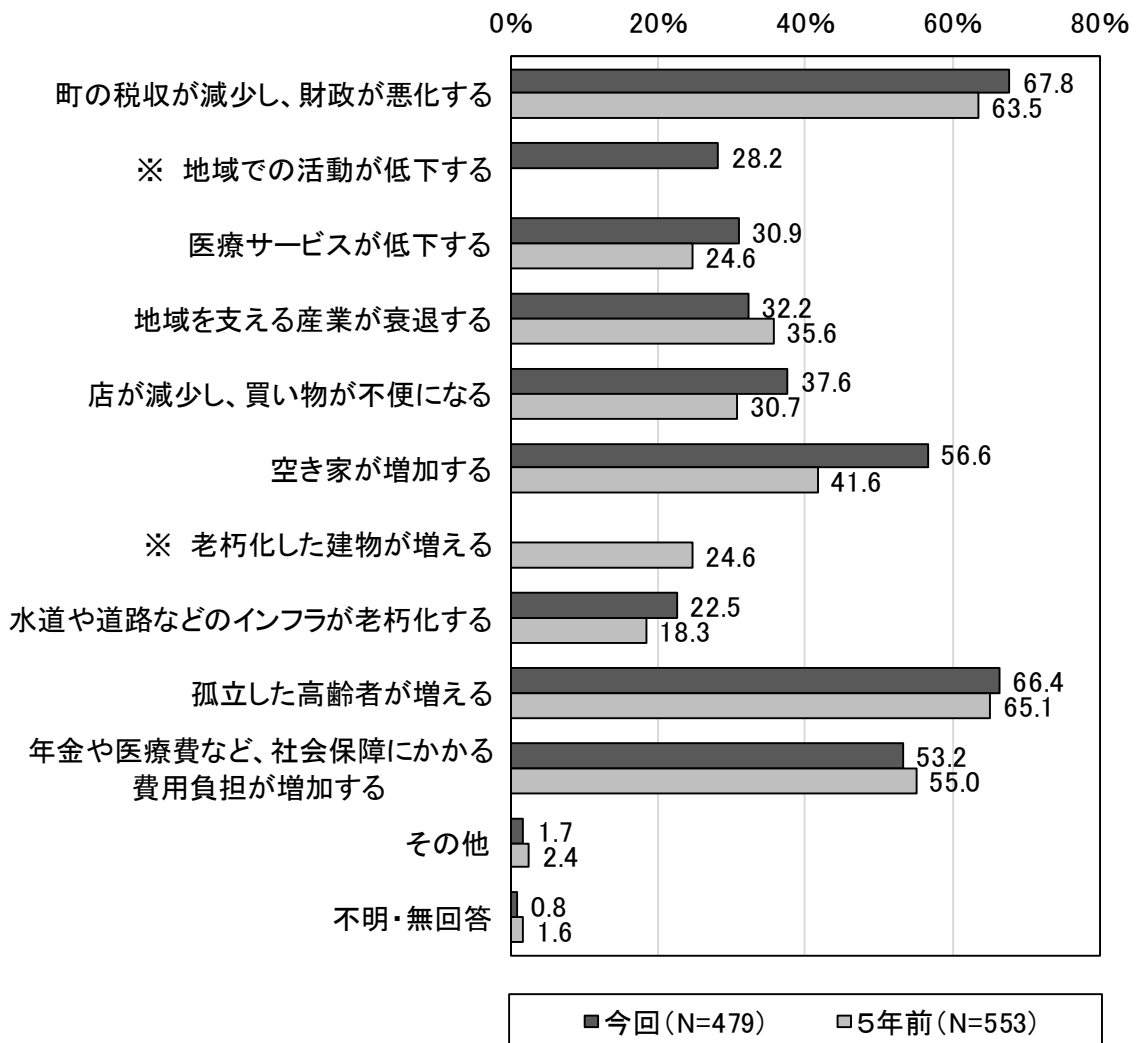
単位 (%)

	20歳未満 (N=2)	20~29歳 (N=29)	30~39歳 (N=49)	40~49歳 (N=61)
町の税収が減少し、財政が悪化する	50.0	72.4	75.5	80.3
地域での活動が低下する	50.0	10.3	26.5	31.1
医療サービスが低下する	0.0	27.6	20.4	36.1
地域を支える産業が衰退する	0.0	27.6	34.7	37.7
店が減少し、買い物が不便になる	0.0	34.5	30.6	41.0
空き家が増加する	50.0	51.7	40.8	44.3
水道や道路などのインフラが老朽化する	50.0	17.2	24.5	34.4
孤立した高齢者が増える	50.0	65.5	65.3	62.3
年金や医療費など、社会保障にかかる費用負担が増加する	100.0	55.2	46.9	55.7
その他	0.0	0.0	0.0	1.6
不明・無回答	0.0	0.0	2.0	0.0

	50~59歳 (N=80)	60~69歳 (N=133)	70歳以上 (N=117)
町の税収が減少し、財政が悪化する	68.8	68.4	57.3
地域での活動が低下する	27.5	30.1	30.8
医療サービスが低下する	20.0	39.8	31.6
地域を支える産業が衰退する	31.3	33.1	29.9
店が減少し、買い物が不便になる	45.0	42.1	30.8
空き家が増加する	58.8	66.2	59.0
水道や道路などのインフラが老朽化する	16.3	29.3	13.7
孤立した高齢者が増える	67.5	66.2	69.2
年金や医療費など、社会保障にかかる費用負担が増加する	46.3	59.4	51.3
その他	1.3	3.0	1.7
不明・無回答	1.3	0.0	1.7

(1-1) ×経年

経年でみると、今回調査は「町の税収が減少し、財政が悪化する」、5年前調査は「孤立した高齢者が増える」が最も高くなっています。

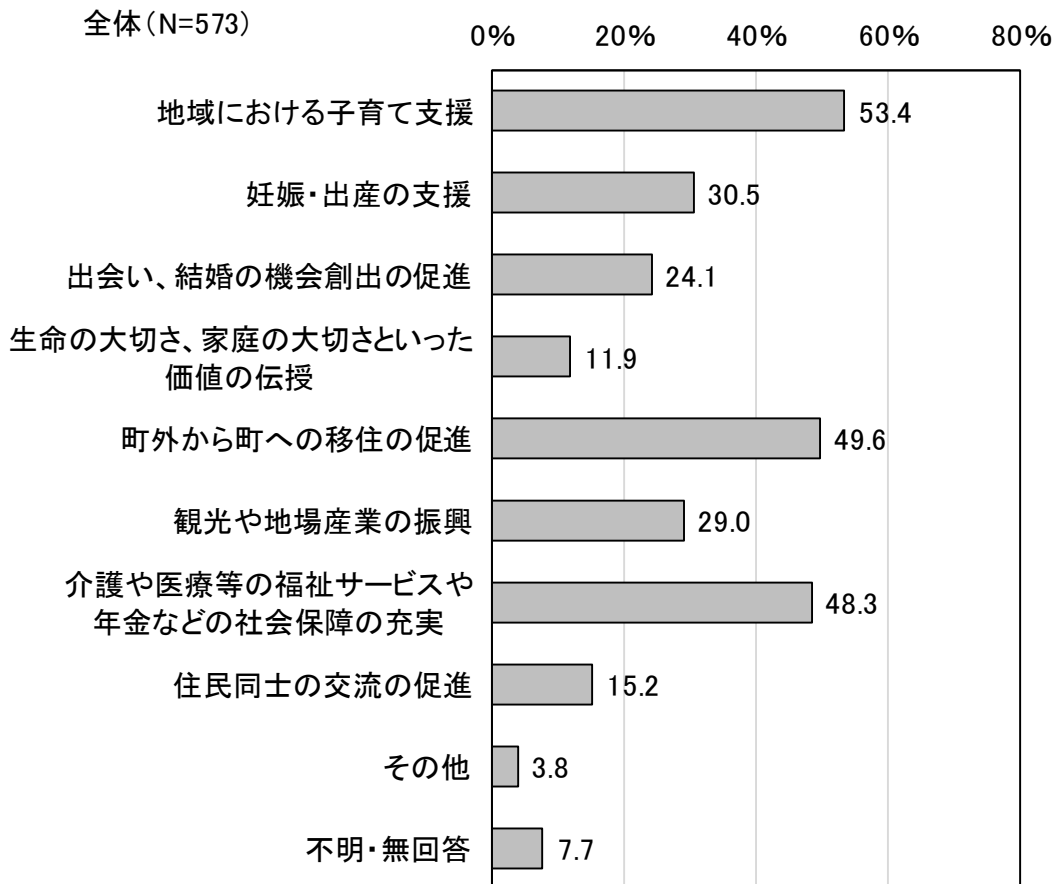


※『地域での活動が低下する』は今回調査のみの選択肢

※『老朽化した建物が増える』は5年前調査のみの選択肢

(2) あなたは、人口減少問題への対策として町が重点的に取り組むべきことは何だと思いますか。(複数回答)

人口減少問題への対策として町が重点的に取り組むべきことについては、「地域における子育て支援」が53.4%と最も高く、次いで「町外から町への移住の促進」が49.6%、「介護や医療等の福祉サービスや年金などの社会保障の充実」が48.3%となっています。



(2) ×年齢

年齢別にみると、49歳以下と70歳以上は「地域における子育て支援」、50歳から59歳は「町外から町への移住の促進」が最も高くなっています。60歳から69歳は「地域における子育て支援」「介護や医療等の福祉サービスや年金などの社会保障の充実」がともに最も高くなっています。

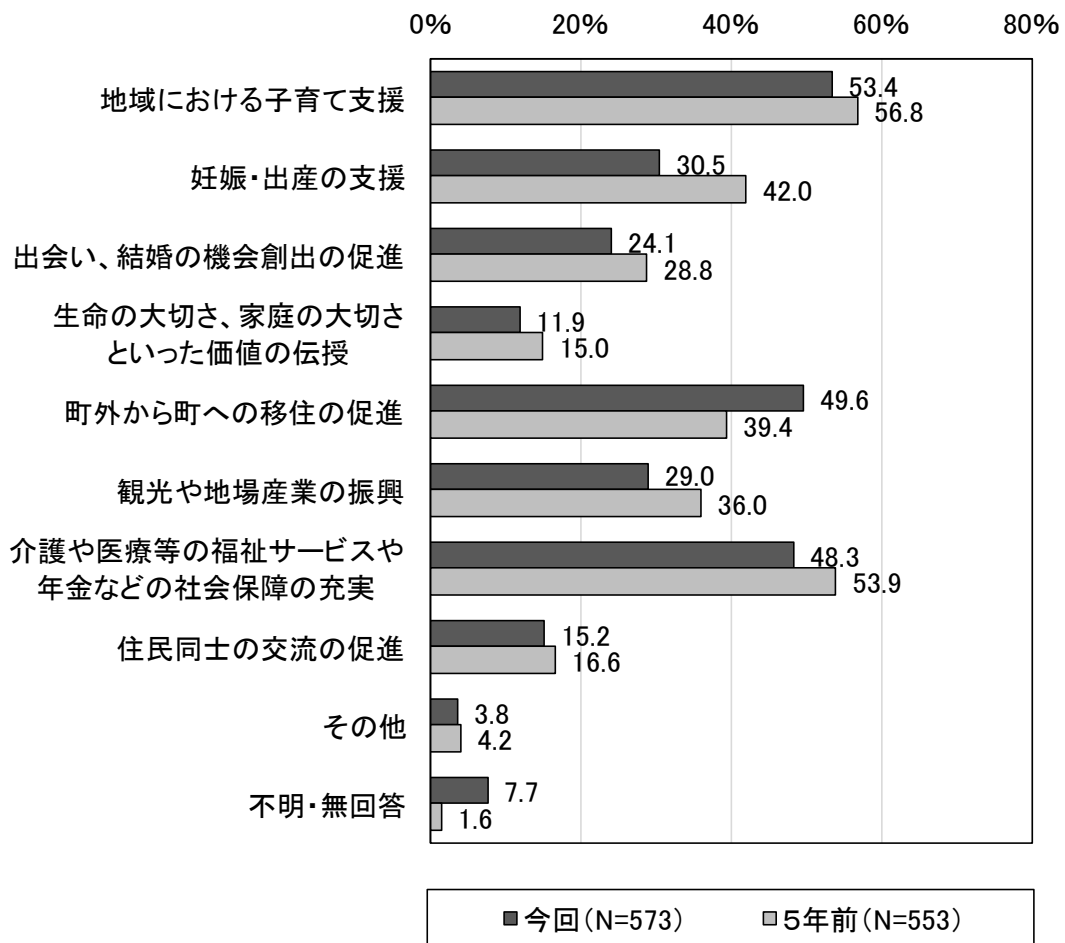
単位 (%)

	20歳未満 (N=4)	20～29歳 (N=36)	30～39歳 (N=60)	40～49歳 (N=74)
地域における子育て支援	75.0	69.4	66.7	58.1
妊娠・出産の支援	50.0	50.0	41.7	35.1
出会い、結婚の機会創出の促進	25.0	13.9	21.7	14.9
生命の大切さ、家庭の大切さといった価値の伝授	25.0	8.3	5.0	9.5
町外から町への移住の促進	25.0	50.0	43.3	52.7
観光や地場産業の振興	0.0	22.2	36.7	31.1
介護や医療等の福祉サービスや年金などの社会保障の充実	50.0	55.6	31.7	45.9
住民同士の交流の促進	0.0	11.1	10.0	9.5
その他	0.0	0.0	5.0	5.4
不明・無回答	0.0	5.6	6.7	5.4

	50～59歳 (N=95)	60～69歳 (N=154)	70歳以上 (N=141)
地域における子育て支援	56.8	57.1	34.8
妊娠・出産の支援	29.5	30.5	19.9
出会い、結婚の機会創出の促進	23.2	27.9	27.7
生命の大切さ、家庭の大切さといった価値の伝授	5.3	10.4	23.4
町外から町への移住の促進	61.1	51.9	43.3
観光や地場産業の振興	30.5	31.2	24.1
介護や医療等の福祉サービスや年金などの社会保障の充実	47.4	57.1	46.1
住民同士の交流の促進	5.3	21.4	22.0
その他	4.2	4.5	2.8
不明・無回答	3.2	5.2	14.9

(2) ×経年

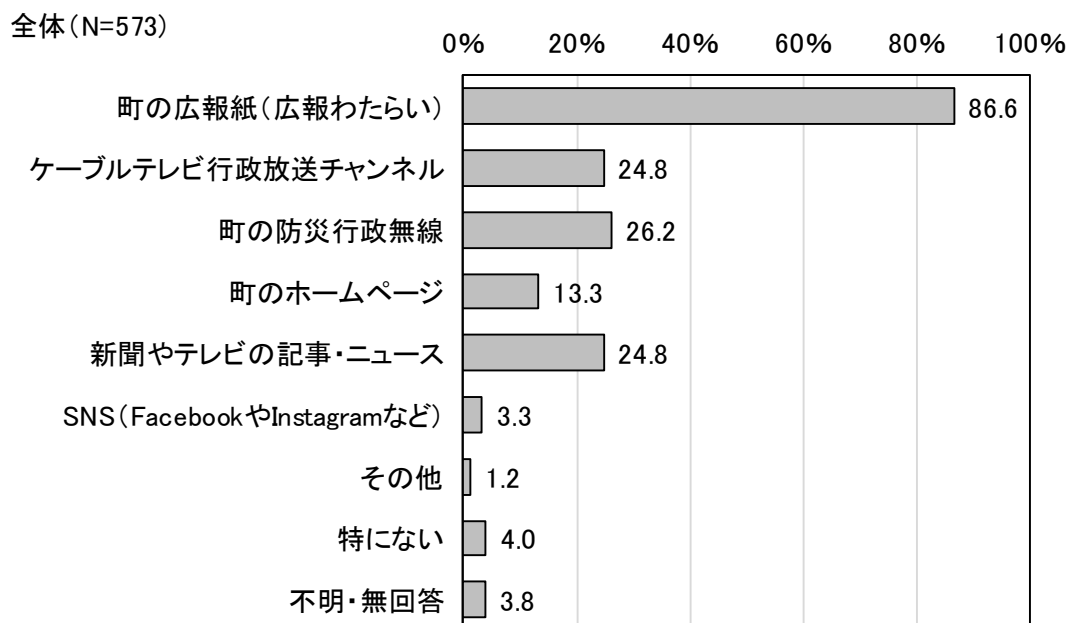
経年でみると、今回調査、5年前調査ともに「地域における子育て支援」が最も高くなっています。



7 行政情報の発信について

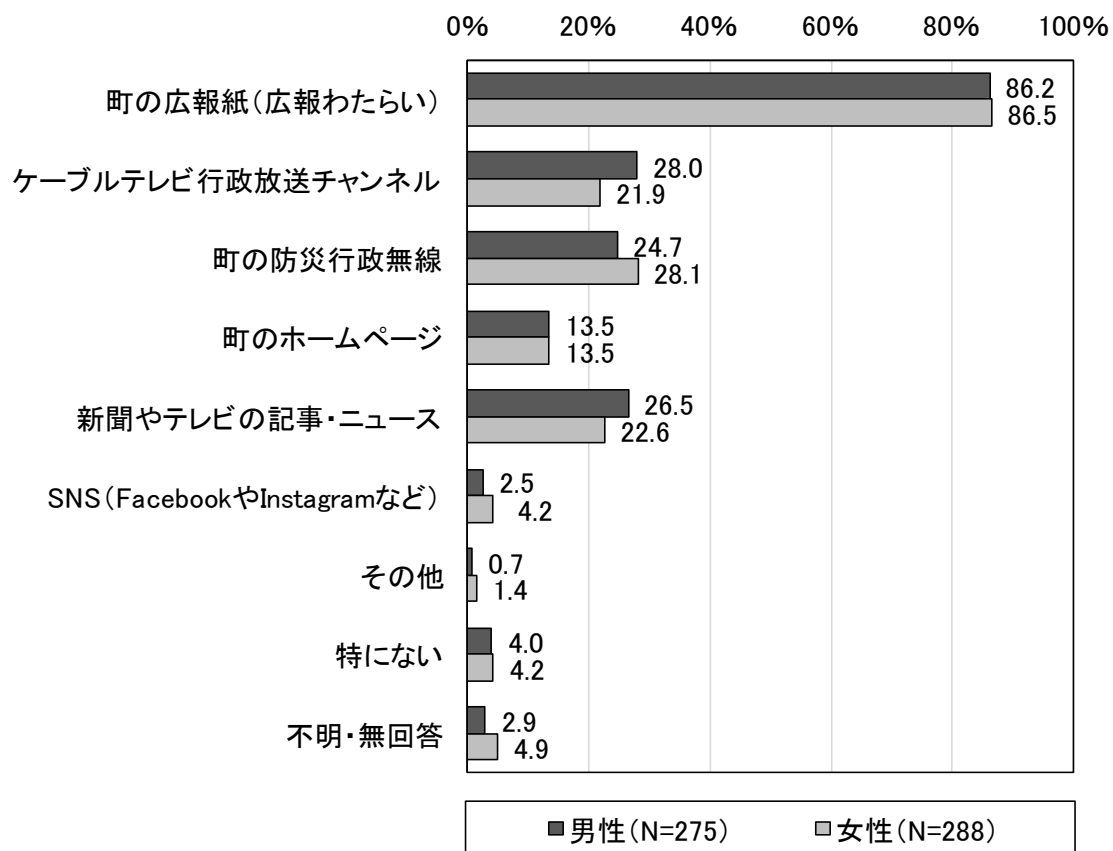
(1)あなたが、度会町の行政情報を入手する手段として、よく利用するものは何ですか。
(複数回答)

度会町の行政情報を入手する手段として、よく利用するものについては、「町の広報紙(広報わたらい)」が86.6%と最も高く、次いで「町の防災行政無線」が26.2%、「ケーブルテレビ行政放送チャンネル」と「新聞やテレビの記事・ニュース」がともに24.8%となっています。



(1) ×性別

男女別でみると、男女ともに「町の広報紙（広報わたらい）」が最も高くなっています。



(1) ×年齢

年齢別でみると、20歳以上は「町の広報紙（広報わたらい）」が最も高くなっています。

単位 (%)

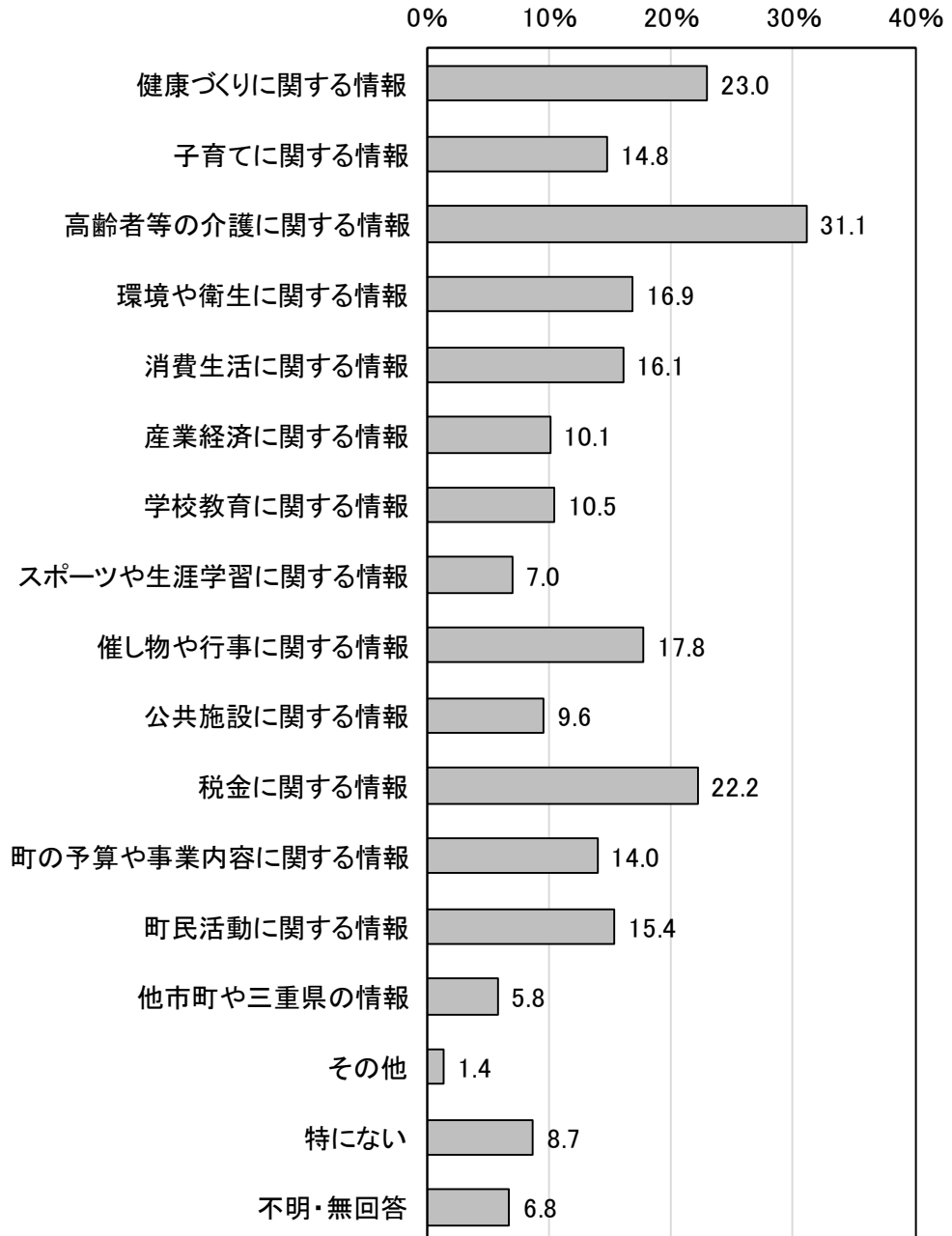
	20歳未満 (N=4)	20～29歳 (N=36)	30～39歳 (N=60)	40～49歳 (N=74)
町の広報紙(広報わたらい)	50.0	83.3	85.0	83.8
ケーブルテレビ行政放送チャンネル	0.0	11.1	21.7	14.9
町の防災行政無線	25.0	25.0	15.0	18.9
町のホームページ	0.0	8.3	25.0	9.5
新聞やテレビの記事・ニュース	25.0	13.9	15.0	9.5
SNS(FacebookやInstagramなど)	0.0	5.6	10.0	2.7
その他	0.0	0.0	1.7	2.7
特にない	50.0	8.3	5.0	6.8
不明・無回答	0.0	2.8	1.7	4.1

	50～59歳 (N=95)	60～69歳 (N=154)	70歳以上 (N=141)
町の広報紙(広報わたらい)	92.6	92.2	80.1
ケーブルテレビ行政放送チャンネル	23.2	28.6	33.3
町の防災行政無線	31.6	29.2	29.1
町のホームページ	20.0	13.0	8.5
新聞やテレビの記事・ニュース	17.9	31.2	35.5
SNS(FacebookやInstagramなど)	3.2	2.6	1.4
その他	1.1	0.0	2.1
特にない	1.1	3.2	2.8
不明・無回答	2.1	1.3	9.2

(2)あなたが、行政からの各種情報提供について、特に充実してほしい内容は何ですか。
(3つまで複数回答)

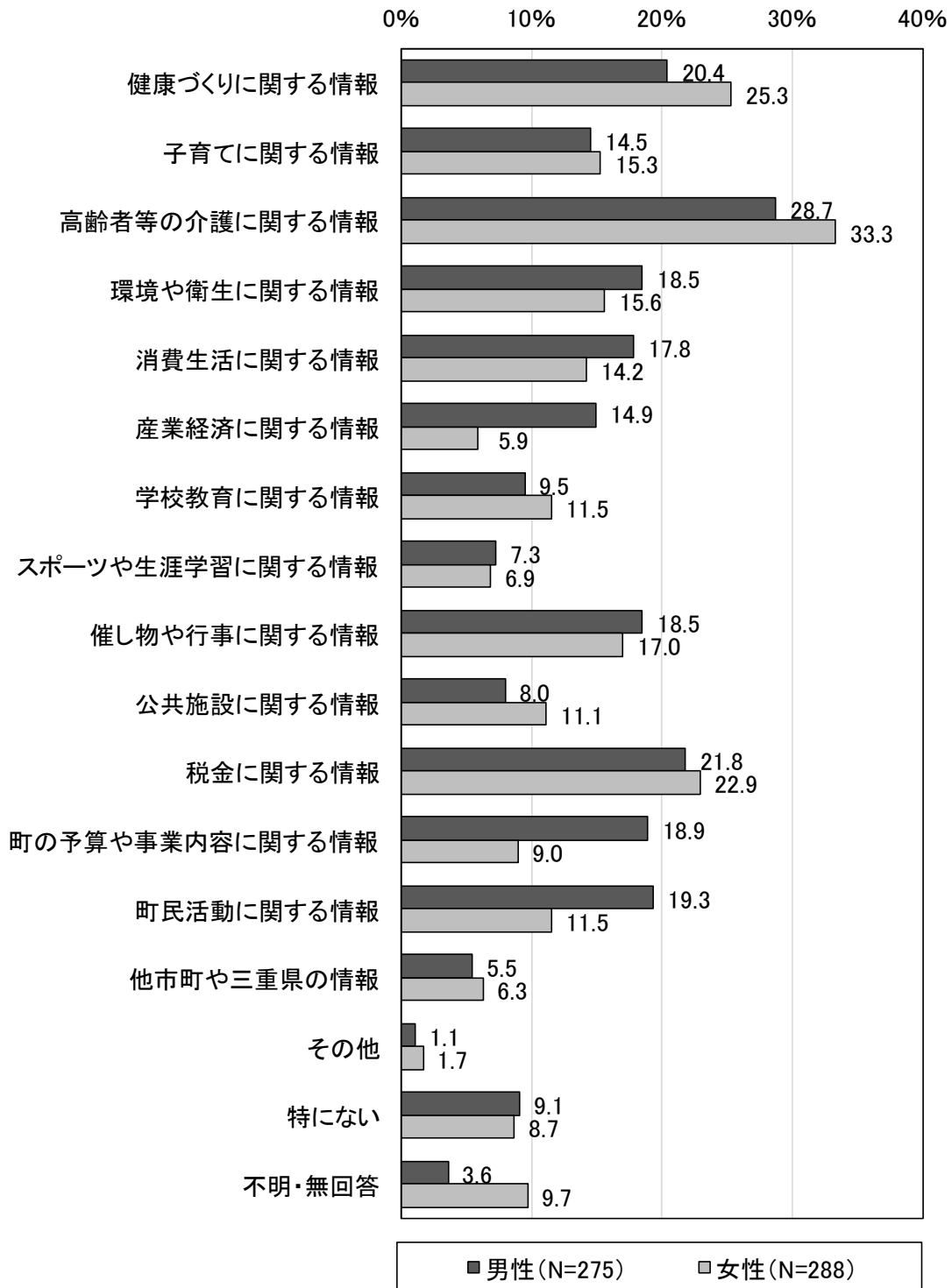
行政からの各種情報提供について、特に充実してほしい内容については、「高齢者等の介護に関する情報」が31.1%と最も高く、次いで「健康づくりに関する情報」が23.0%、「税金に関する情報」が22.2%となっています。

全体(N=573)



(2) ×性別

男女別にみると、男女ともに「高齢者等の介護に関する情報」が最も高くなっています。



(2) ×年齢

年齢別にみると、20歳から29歳では「子育てに関する情報」、40歳から49歳では「税金に関する情報」、50歳以上では「高齢者等の介護に関する情報」が最も高くなっています。30歳から39歳は「子育てに関する情報」「税金に関する情報」がともに最も高くなっています。

単位 (%)

	20歳未満 (N=4)	20～29歳 (N=36)	30～39歳 (N=60)	40～49歳 (N=74)
健康づくりに関する情報	25.0	22.2	13.3	10.8
子育てに関する情報	25.0	33.3	30.0	23.0
高齢者等の介護に関する情報	0.0	19.4	15.0	20.3
環境や衛生に関する情報	25.0	30.6	10.0	8.1
消費生活に関する情報	25.0	8.3	21.7	6.8
産業経済に関する情報	0.0	5.6	8.3	12.2
学校教育に関する情報	0.0	25.0	26.7	23.0
スポーツや生涯学習に関する情報	0.0	2.8	6.7	16.2
催し物や行事に関する情報	0.0	22.2	23.3	16.2
公共施設に関する情報	0.0	5.6	8.3	5.4
税金に関する情報	75.0	16.7	30.0	24.3
町の予算や事業内容に関する情報	0.0	8.3	8.3	6.8
町民活動に関する情報	25.0	8.3	6.7	9.5
他市町や三重県の情報	0.0	5.6	1.7	10.8
その他	0.0	0.0	0.0	1.4
特にない	0.0	13.9	13.3	12.2
不明・無回答	0.0	2.8	5.0	4.1

	50～59歳 (N=95)	60～69歳 (N=154)	70歳以上 (N=141)
健康づくりに関する情報	29.5	27.9	23.4
子育てに関する情報	10.5	9.7	7.8
高齢者等の介護に関する情報	31.6	31.8	46.8
環境や衛生に関する情報	17.9	24.0	12.8
消費生活に関する情報	22.1	16.9	14.9
産業経済に関する情報	13.7	11.0	8.5
学校教育に関する情報	2.1	3.9	6.4
スポーツや生涯学習に関する情報	11.6	4.5	3.5
催し物や行事に関する情報	18.9	15.6	17.7
公共施設に関する情報	11.6	13.6	7.8
税金に関する情報	23.2	22.1	18.4
町の予算や事業内容に関する情報	17.9	20.1	11.3
町民活動に関する情報	11.6	25.3	14.9
他市町や三重県の情報	5.3	3.9	7.8
その他	4.2	1.3	0.7
特にない	5.3	10.4	5.0
不明・無回答	3.2	3.9	15.6